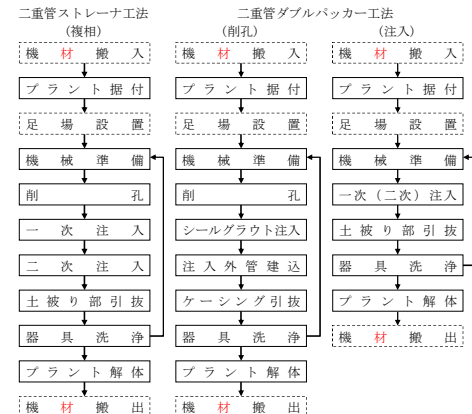
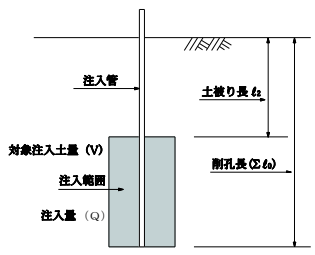
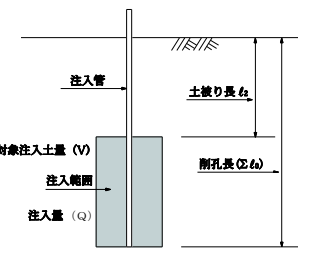
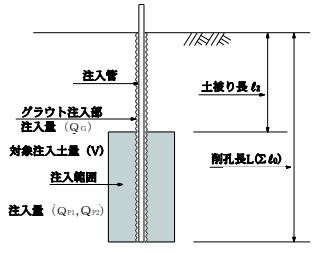
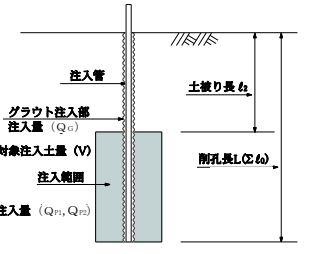


土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																																														
薬液注入工	<p>⑯ 薬液注入工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、粘土、シルト及び砂質土等の地盤に薬液を注入し、「地盤の透水性を減少」又は、「地盤の強度（固結度）を増加」させる薬液注入工法のうち、二重管ストレーナ工法（単相方式及び複相方式）及び二重管ダブルバックカー工法を対象とし、鉛直方向施工にのみ適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. プラントとは、グラウトミキサ、薬液ミキサ、送水ポンプ、送液ポンプ、グラウトポンプ、薬液注入ポンプ、貯水槽、貯液槽、グラウト流量・圧力測定装置、水ガラス積算流量計、ボーリングマシン等注入工に要する設備全般を示す。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種を選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 二重管ストレーナ工法の機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="459 1141 1108 1284"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">単 相 方 式</th> <th colspan="2">複 相 方 式</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>2セット</th> <th>4セット</th> <th>2セット</th> <th>4セット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボーリングマシン</td> <td>油圧式 5.5kW級</td> <td>台</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>薬液注入ポンプ</td> <td>吐出量5~20ℓ/min×2 圧力9.8MPa</td> <td>〃</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水ガラス積算流量計</td> <td>0~50ℓ/min</td> <td>〃</td> <td>(1)</td> <td>(1)</td> <td>(1)</td> <td>(1)</td> <td>(注)2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工本数が100本未満の場合は2セット、100本以上の場合は4セットを標準とする。 2. 水ガラス積算流量計は、総注入量500kℓ以上の場合に計上する。</p>	機 械 名	規 格	単 位	単 相 方 式		複 相 方 式		摘 要	2セット	4セット	2セット	4セット	ボーリングマシン	油圧式 5.5kW級	台	2	4	2	4		薬液注入ポンプ	吐出量5~20ℓ/min×2 圧力9.8MPa	〃	2	4	2	4		水ガラス積算流量計	0~50ℓ/min	〃	(1)	(1)	(1)	(1)	(注)2	<p>⑯ 薬液注入工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、河川・道路及び共同溝工事等を対象とし、粘土、シルト及び砂質土等の地盤に薬液を注入し、「地盤の透水性を減少」又は、「地盤の強度（固結度）を増加」させる薬液注入工法のうち、二重管ストレーナ工法（複相方式）及び二重管ダブルバックカー工法を対象とし、鉛直方向施工にのみ適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. プラントとは、グラウトミキサ、薬液ミキサ、送水ポンプ、送液ポンプ、グラウトポンプ、薬液注入ポンプ、貯水槽、グラウト流量・圧力測定装置、水ガラス積算流量計、ボーリングマシン等注入工に要する設備全般を示す。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種を選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 二重管ストレーナ工法の機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="1142 1141 1825 1284"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">複 相 方 式</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>2セット</th> <th>4セット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボーリングマシン</td> <td>油圧式 5.5kW級</td> <td>台</td> <td>2</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>薬液注入ポンプ</td> <td>吐出量5~20ℓ/min×2 圧力9.8MPa</td> <td>〃</td> <td>2</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水ガラス積算流量計</td> <td>0~50ℓ/min</td> <td>〃</td> <td>(1)</td> <td>(1)</td> <td>(注)2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工本数が100本未満の場合は2セット、100本以上の場合は4セットを標準とする。 2. 水ガラス積算流量計は、総注入量500kℓ以上の場合に計上する。</p>	機 械 名	規 格	単 位	複 相 方 式		摘 要	2セット	4セット	ボーリングマシン	油圧式 5.5kW級	台	2	4		薬液注入ポンプ	吐出量5~20ℓ/min×2 圧力9.8MPa	〃	2	4		水ガラス積算流量計	0~50ℓ/min	〃	(1)	(1)	(注)2	
機 械 名	規 格				単 位	単 相 方 式		複 相 方 式		摘 要																																																							
		2セット	4セット	2セット		4セット																																																											
ボーリングマシン	油圧式 5.5kW級	台	2	4	2	4																																																											
薬液注入ポンプ	吐出量5~20ℓ/min×2 圧力9.8MPa	〃	2	4	2	4																																																											
水ガラス積算流量計	0~50ℓ/min	〃	(1)	(1)	(1)	(1)	(注)2																																																										
機 械 名	規 格	単 位	複 相 方 式		摘 要																																																												
			2セット	4セット																																																													
ボーリングマシン	油圧式 5.5kW級	台	2	4																																																													
薬液注入ポンプ	吐出量5~20ℓ/min×2 圧力9.8MPa	〃	2	4																																																													
水ガラス積算流量計	0~50ℓ/min	〃	(1)	(1)	(注)2																																																												

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																									
薬液注入工	表3.2 二重管ダブルバック工法の機種の選定																																																																																																																																																											
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機 械 名</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="2">削 孔</th> <th colspan="2">一 次 注 入</th> <th colspan="3">二 次 注 入</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">1セット</th> <th rowspan="2">2セット</th> <th rowspan="2">セメント 心け 注</th> <th rowspan="2">溶 液 注</th> <th rowspan="2">機 器 注</th> <th rowspan="2">溶 液 注</th> <th rowspan="2">機 器 注</th> <th rowspan="2">機 器 注</th> </tr> <tr> <th>4セット</th> <th>4セット</th> <th>4セット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボーリングマシン</td> <td>ロータリパーカッション式・クローラ型 81kW級</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>薬液注入ポンプ</td> <td>吐出量0~200ℓ/min×2 圧力9.8MPa</td> <td>#</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ゲルミキサ</td> <td>300ℓ×1槽</td> <td>#</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ミキシングプラント</td> <td>3,000 ℓ/h</td> <td>#</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水ガラス積算流量計</td> <td>0~50 ℓ/min</td> <td>#</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>(1)</td> <td>(1)</td> <td>(注)2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">(注) 1. 削孔は施工本数が200本未満の場合は1セット、200本以上の場合は2セットを標準とする。 2. 水ガラス積算流量計は、総注入量500kℓ以上の場合に計上する。</p>	機 械 名	規 格	単 位	削 孔		一 次 注 入		二 次 注 入			摘 要	1セット	2セット	セメント 心け 注	溶 液 注	機 器 注	溶 液 注	機 器 注	機 器 注	4セット	4セット	4セット	ボーリングマシン	ロータリパーカッション式・クローラ型 81kW級	台	1	2	-	-	-	-	-		薬液注入ポンプ	吐出量0~200ℓ/min×2 圧力9.8MPa	#	-	-	2	2	2				ゲルミキサ	300ℓ×1槽	#	-	-	-	1	-				ミキシングプラント	3,000 ℓ/h	#	-	-	-	-	1				水ガラス積算流量計	0~50 ℓ/min	#	-	-	-	(1)	(1)	(注)2			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機 械 名</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="2">削 孔</th> <th colspan="2">一 次 注 入</th> <th colspan="3">二 次 注 入</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">1セット</th> <th rowspan="2">2セット</th> <th rowspan="2">セメント 心け 注</th> <th rowspan="2">溶 液 注</th> <th rowspan="2">機 器 注</th> <th rowspan="2">溶 液 注</th> <th rowspan="2">機 器 注</th> <th rowspan="2">機 器 注</th> </tr> <tr> <th>4セット</th> <th>4セット</th> <th>4セット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボーリングマシン</td> <td>ロータリパーカッション式・クローラ型 81kW級</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>薬液注入ポンプ</td> <td>吐出量0~200ℓ/min×2 圧力9.8MPa</td> <td>#</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ゲルミキサ</td> <td>300ℓ×1槽</td> <td>#</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ミキシングプラント</td> <td>3,000 ℓ/h</td> <td>#</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水ガラス積算流量計</td> <td>0~50 ℓ/min</td> <td>#</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>(1)</td> <td>(1)</td> <td>(注)2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">(注) 1. 削孔は施工本数が200本未満の場合は1セット、200本以上の場合は2セットを標準とする。 2. 水ガラス積算流量計は、総注入量500kℓ以上の場合に計上する。</p>	機 械 名	規 格	単 位	削 孔		一 次 注 入		二 次 注 入			摘 要	1セット	2セット	セメント 心け 注	溶 液 注	機 器 注	溶 液 注	機 器 注	機 器 注	4セット	4セット	4セット	ボーリングマシン	ロータリパーカッション式・クローラ型 81kW級	台	1	2	-	-	-	-	-		薬液注入ポンプ	吐出量0~200ℓ/min×2 圧力9.8MPa	#	-	-	2	2	2				ゲルミキサ	300ℓ×1槽	#	-	-	-	-	1	-			ミキシングプラント	3,000 ℓ/h	#	-	-	-	-	-	1			水ガラス積算流量計	0~50 ℓ/min	#	-	-	-	(1)	(1)	(注)2		
機 械 名	規 格				単 位	削 孔		一 次 注 入		二 次 注 入											摘 要																																																																																																																																							
						1セット	2セット	セメント 心け 注	溶 液 注	機 器 注	溶 液 注		機 器 注	機 器 注																																																																																																																																														
		4セット	4セット	4セット																																																																																																																																																								
ボーリングマシン	ロータリパーカッション式・クローラ型 81kW級	台	1	2	-	-	-	-	-																																																																																																																																																			
薬液注入ポンプ	吐出量0~200ℓ/min×2 圧力9.8MPa	#	-	-	2	2	2																																																																																																																																																					
ゲルミキサ	300ℓ×1槽	#	-	-	-	1	-																																																																																																																																																					
ミキシングプラント	3,000 ℓ/h	#	-	-	-	-	1																																																																																																																																																					
水ガラス積算流量計	0~50 ℓ/min	#	-	-	-	(1)	(1)	(注)2																																																																																																																																																				
機 械 名	規 格	単 位	削 孔		一 次 注 入		二 次 注 入			摘 要																																																																																																																																																		
			1セット	2セット	セメント 心け 注	溶 液 注	機 器 注	溶 液 注	機 器 注		機 器 注																																																																																																																																																	
												4セット	4セット	4セット																																																																																																																																														
ボーリングマシン	ロータリパーカッション式・クローラ型 81kW級	台	1	2	-	-	-	-	-																																																																																																																																																			
薬液注入ポンプ	吐出量0~200ℓ/min×2 圧力9.8MPa	#	-	-	2	2	2																																																																																																																																																					
ゲルミキサ	300ℓ×1槽	#	-	-	-	-	1	-																																																																																																																																																				
ミキシングプラント	3,000 ℓ/h	#	-	-	-	-	-	1																																																																																																																																																				
水ガラス積算流量計	0~50 ℓ/min	#	-	-	-	(1)	(1)	(注)2																																																																																																																																																				
	 <p>図3-1 施工図(二重管ストレナーナ工法)</p>	 <p>図3-1 施工図(二重管ストレナーナ工法)</p>																																																																																																																																																										
	 <p>図3-2 施工図(二重管ダブルバック工法)</p>	 <p>図3-2 施工図(二重管ダブルバック工法)</p>																																																																																																																																																										

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																																																															
薬液注入工	<p>4. 編 成 人 員 薬液注入工の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 二重管ストレーナ工法の日当り編成人員 (人/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>セ ッ ト 数</th> <th>土木一般世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">単 相 方 式</td> <td>2セット</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>4セット</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">複 相 方 式</td> <td>2セット</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>4セット</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表4.2 二重管ダブルバッカー工法の日当り編成人員 (人/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>条 件</th> <th>セ ッ ト 数</th> <th>土木一般世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">削 孔 時</td> <td>1セット</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2セット</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>一 次 注 入 時</td> <td>4セット</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>二 次 注 入 時</td> <td>4セット</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表は削孔時1セット、2セット分、一次注入時及び二次注入時は4セット分の人員である。 注入材等の混合に要する労務を含む。</p> <p>5. 施 工 歩 掛 5-1 二重管ストレーナ工法 5-1-1 1本当り施工時間 (T_S) 二重管ストレーナ工法における1本当り施工時間は、次式による。 T_S = T₁ + T₂ + T₃ + T₄ T_S: 二重管ストレーナ工法1本当り施工時間 (min) T₁: 機械準備時間 (min) T₂: 削孔時間 (min) T₃: 注入時間 (min) T₄: 土抜き部引抜時間 (min)</p> <p>(1) 機械準備時間 (T₁) 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び注入後の器具洗浄時間であり、14分とする。 なお、打設間隔は1mを標準とする。</p> <p>(2) 削孔時間 (T₂) T₂ = Σ (γ_i × l_o) γ_i: 各土質毎の削孔の単位作業時間 (min/m) l_o: 各土質毎の削孔長 (m)</p> <p style="text-align: center;">表5.1 削孔の単位作業時間 (γ_i) (min/m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>土 質</th> <th>レキ質土</th> <th>砂質土</th> <th>粘性土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>γ_i</td> <td>8.0</td> <td>5.0</td> <td>4.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 注入時間 (T₃) T₃ = $\frac{Q_s}{q_s}$ Q_s: 二重管ストレーナ工法の1本当り注入量 (ℓ) q_s: 単位時間当り注入量 (ℓ/min)</p> <p style="text-align: center;">表5.2 単位時間当り注入量 (q_s) (ℓ/min)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>単 相 方 式</th> <th>複 相 方 式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>q_s</td> <td>18</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	工 法	セ ッ ト 数	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	単 相 方 式	2セット	1	3	2	4セット	1	6	2	複 相 方 式	2セット	1	3	2	4セット	1	6	2	条 件	セ ッ ト 数	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	削 孔 時	1セット	1	3	1	2セット	1	5	2	一 次 注 入 時	4セット	1	5	2	二 次 注 入 時	4セット	1	5	2	土 質	レキ質土	砂質土	粘性土	γ _i	8.0	5.0	4.0	工 法	単 相 方 式	複 相 方 式	q _s	18	16	<p>4. 編 成 人 員 薬液注入工の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 二重管ストレーナ工法の日当り編成人員 (人/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>セ ッ ト 数</th> <th>土木一般世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">複 相 方 式</td> <td>2セット</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>4セット</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表4.2 二重管ダブルバッカー工法の日当り編成人員 (人/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>条 件</th> <th>セ ッ ト 数</th> <th>土木一般世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">削 孔 時</td> <td>1セット</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2セット</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>一 次 注 入 時</td> <td>4セット</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>二 次 注 入 時</td> <td>4セット</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表は削孔時1セット、2セット分、一次注入時及び二次注入時は4セット分の人員である。 注入材等の混合に要する労務を含む。</p> <p>5. 施 工 歩 掛 5-1 二重管ストレーナ工法 5-1-1 1本当り施工時間 (T_S) 二重管ストレーナ工法における1本当り施工時間は、次式による。 T_S = T₁ + T₂ + T₃ + T₄ T_S: 二重管ストレーナ工法1本当り施工時間 (min) T₁: 機械準備時間 (min) T₂: 削孔時間 (min) T₃: 注入時間 (min) T₄: 土抜き部引抜時間 (min)</p> <p>(1) 機械準備時間 (T₁) 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び注入後の器具洗浄時間であり、14分とする。 なお、打設間隔は1mを標準とする。</p> <p>(2) 削孔時間 (T₂) T₂ = Σ (γ_i × l_o) γ_i: 各土質毎の削孔の単位作業時間 (min/m) l_o: 各土質毎の削孔長 (m)</p> <p style="text-align: center;">表5.1 削孔の単位作業時間 (γ_i) (min/m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>土 質</th> <th>レキ質土</th> <th>砂質土</th> <th>粘性土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>γ_i</td> <td>8.0</td> <td>5.0</td> <td>4.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 注入時間 (T₃) T₃ = $\frac{Q_s}{q_s}$ Q_s: 二重管ストレーナ工法の1本当り注入量 (ℓ) q_s: 単位時間当り注入量 (ℓ/min)</p> <p style="text-align: center;">表5.2 単位時間当り注入量 (q_s) (ℓ/min)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>複 相 方 式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>q_s</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	工 法	セ ッ ト 数	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	複 相 方 式	2セット	1	3	2	4セット	1	6	2	条 件	セ ッ ト 数	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	削 孔 時	1セット	1	3	1	2セット	1	5	2	一 次 注 入 時	4セット	1	5	2	二 次 注 入 時	4セット	1	5	2	土 質	レキ質土	砂質土	粘性土	γ _i	8.0	5.0	4.0	工 法	複 相 方 式	q _s	16	
工 法	セ ッ ト 数	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																																																																																														
単 相 方 式	2セット	1	3	2																																																																																																														
	4セット	1	6	2																																																																																																														
複 相 方 式	2セット	1	3	2																																																																																																														
	4セット	1	6	2																																																																																																														
条 件	セ ッ ト 数	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																																																																																														
削 孔 時	1セット	1	3	1																																																																																																														
	2セット	1	5	2																																																																																																														
一 次 注 入 時	4セット	1	5	2																																																																																																														
二 次 注 入 時	4セット	1	5	2																																																																																																														
土 質	レキ質土	砂質土	粘性土																																																																																																															
γ _i	8.0	5.0	4.0																																																																																																															
工 法	単 相 方 式	複 相 方 式																																																																																																																
q _s	18	16																																																																																																																
工 法	セ ッ ト 数	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																																																																																														
複 相 方 式	2セット	1	3	2																																																																																																														
	4セット	1	6	2																																																																																																														
条 件	セ ッ ト 数	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																																																																																														
削 孔 時	1セット	1	3	1																																																																																																														
	2セット	1	5	2																																																																																																														
一 次 注 入 時	4セット	1	5	2																																																																																																														
二 次 注 入 時	4セット	1	5	2																																																																																																														
土 質	レキ質土	砂質土	粘性土																																																																																																															
γ _i	8.0	5.0	4.0																																																																																																															
工 法	複 相 方 式																																																																																																																	
q _s	16																																																																																																																	

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																									
薬液注入工	<p>(4) 土被り部引抜時間 (T₄) $T_4 = \gamma_2 \times \ell_2$ γ_2: 土被り部引抜きの単位作業時間 (min/m) ℓ_2: 土被り長 (m)</p> <p style="text-align: center;">表5.3 土被り部引抜きの単位作業時間 (γ₂) (min/m)</p> <table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">γ₂</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> </tr> </table> <p>5-1-2 注入材使用量 二重管ストレーナ工法に必要な使用量は、次式による。 $Q_5 = V \times \lambda \times 1,000$ ……式5.1 Q_5: 二重管ストレーナ工法の1本当り注入量 (ℓ) V: 二重管ストレーナ工法の1本当り注入対象土量 (m³) λ: 注入率</p> <p>5-1-3 1日当り施工本数 二重管ストレーナ工法における1日当り施工本数は、次式による。 $N = \frac{60 \times H}{T_s} \times 2$ (4) N: 2 (4) セット1日当り施工本数 (本/日) H: 注入設備の1日当り実作業時間で、6.3時間とする。 T_s: 1本当り施工時間 (min)</p> <p>5-1-4 諸雑費 二重管ストレーナ工法の1本当り諸雑費は、グラウト流量・圧力測定装置、薬液ミキサ、グラウトミキサ、送水ポンプ、送液ポンプ、貯水槽、貯液槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額(水ガラス積算流量計は除く)に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表5.4 二重管ストレーナ工法の諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>セット数</th> <th>諸 雑 費 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">単 相 方 式</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">19</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">18</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">複 相 方 式</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">19</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-2 二重管ダブルバッカー工法 5-2-1 1本当り削孔施工時間 (T₀) 二重管ダブルバッカー工法における1本当り削孔施工時間は、次式による。 $T_0 = T_1 + T_2 + T_3$ T_0: 二重管ダブルバッカー工法1本当り削孔時間 (min) T_1: 機械準備時間 (min) T_2: 削孔時間 (min) T_3: 薬液注入管準備時間 (min)</p> <p>(1) 機械準備時間 (T₁) 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び器具洗浄時間であり、14分とする。 なお、打設間隔は1mを標準とする。</p>	γ ₂	2.0	工 法	セット数	諸 雑 費 率	単 相 方 式	2	19	4	18	複 相 方 式	2	20	4	19	<p>(4) 土被り部引抜時間 (T₄) $T_4 = \gamma_2 \times \ell_2$ γ_2: 土被り部引抜きの単位作業時間 (min/m) ℓ_2: 土被り長 (m)</p> <p style="text-align: center;">表5.3 土被り部引抜きの単位作業時間 (γ₂) (min/m)</p> <table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">γ₂</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> </tr> </table> <p>5-1-2 注入材使用量 二重管ストレーナ工法に必要な使用量は、次式による。 $Q_5 = V \times \lambda \times 1,000$ ……式5.1 Q_5: 二重管ストレーナ工法の1本当り注入量 (ℓ) V: 二重管ストレーナ工法の1本当り注入対象土量 (m³) λ: 注入率</p> <p>5-1-3 1日当り施工本数 二重管ストレーナ工法における1日当り施工本数は、次式による。 $N = \frac{60 \times H}{T_s} \times 2$ (4) N: 2 (4) セット1日当り施工本数 (本/日) H: 注入設備の1日当り実作業時間で、6.3時間とする。 T_s: 1本当り施工時間 (min)</p> <p>5-1-4 諸雑費 二重管ストレーナ工法の1本当り諸雑費は、グラウト流量・圧力測定装置、送水ポンプ、送液ポンプの損料、薬液ミキサ、貯水槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額(水ガラス積算流量計は除く)に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表5.4 二重管ストレーナ工法の諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>セット数</th> <th>諸 雑 費 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">複 相 方 式</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">22</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">24</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-2 二重管ダブルバッカー工法 5-2-1 1本当り削孔施工時間 (T₀) 二重管ダブルバッカー工法における1本当り削孔施工時間は、次式による。 $T_0 = T_1 + T_2 + T_3$ T_0: 二重管ダブルバッカー工法1本当り削孔時間 (min) T_1: 機械準備時間 (min) T_2: 削孔時間 (min) T_3: 薬液注入管準備時間 (min)</p> <p>(1) 機械準備時間 (T₁) 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び器具洗浄時間であり、14分とする。 なお、打設間隔は1mを標準とする。</p>	γ ₂	2.0	工 法	セット数	諸 雑 費 率	複 相 方 式	2	22	4	24	
γ ₂	2.0																											
工 法	セット数	諸 雑 費 率																										
単 相 方 式	2	19																										
	4	18																										
複 相 方 式	2	20																										
	4	19																										
γ ₂	2.0																											
工 法	セット数	諸 雑 費 率																										
複 相 方 式	2	22																										
	4	24																										

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																												
薬液注入工	<p>(2) 削孔時間 (T₂) 各土質における削孔時間は、次式とする。 $T_2 = \Sigma (\gamma_1 \times \ell_0)$ γ_1: 各土質毎の削孔の単位作業時間 (min/m) ℓ_0: 各土質毎の削孔長 (m)</p> <p style="text-align: center;">表5.5 削孔の単位作業時間(γ₁) (min/m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>土 質</th> <th>レキ質土</th> <th>砂質土</th> <th>粘性土</th> </tr> <tr> <td>γ₁</td> <td>6.0</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> </tr> </table> <p>(3) 薬液注入管準備時間 (T₃) 薬液注入管準備時間は、グラウト注入、薬液注入管建込及びケーシング引抜時間であり、次式とする。 $T_3 = \gamma_2 \times L$ γ_2: 薬液注入管準備の単位作業時間 (min/m) L: 削孔長 (m)</p> <p style="text-align: center;">表5.6 薬液注入管準備の単位作業時間(γ₂) (min/m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>γ₂</td> <td>3.0</td> </tr> </table> <p>5-2-2 1本当り一次注入施工時間 (T_{P1}) 二重管ダブルバッカー工法における一次注入の1本当り注入施工時間は、次式による。 $T_{P1} = T_1 + T_2 + T_3$ T_{P1}: 二重管ダブルバッカー工法の一次注入の1本当り注入時間 (min) T₁: 機械準備時間 (min) T₂: 注入時間 (min) T₃: 土抜き部引抜時間 (min)</p> <p>(1) 機械準備時間 (T₁) 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び器具洗浄時間であり、13分とする。</p> <p>(2) 注入時間 (T₂) $T_2 = \frac{Q_{P1}}{q_{P1}}$ Q_{P1}: 二重管ダブルバッカー工法の一次注入の1本当り注入量 (ℓ) q_{P1}: 単位時間当り注入量 (ℓ/min)</p> <p style="text-align: center;">表5.7 単位時間当り注入量(q_{P1}) (ℓ/min)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>q_{P1}</td> <td>8</td> </tr> </table> <p>(3) 土抜き部引抜時間 (T₃) $T_3 = \gamma_3 \times \ell_2$ γ_3: 土抜き部引抜きの単位作業時間 (min/m) ℓ_2: 土抜き長 (m)</p> <p style="text-align: center;">表5.8 土抜き部引抜きの単位作業時間(γ₃) (min/m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>γ₃</td> <td>1.0</td> </tr> </table> <p>5-2-3 1本当り二次注入施工時間 (T_{P2}) 二重管ダブルバッカー工法における二次注入の1本当り注入施工時間は、次式による。 $T_{P2} = T_1 + T_2 + T_3$ T_{P2}: 二重管ダブルバッカー工法の二次注入の1本当り注入時間 (min) T₁: 機械準備時間 (min) T₂: 注入時間 (min) T₃: 土抜き部引抜時間 (min)</p>	土 質	レキ質土	砂質土	粘性土	γ ₁	6.0	5.0	3.0	γ ₂	3.0	q _{P1}	8	γ ₃	1.0	<p>(2) 削孔時間 (T₂) 各土質における削孔時間は、次式とする。 $T_2 = \Sigma (\gamma_1 \times \ell_0)$ γ_1: 各土質毎の削孔の単位作業時間 (min/m) ℓ_0: 各土質毎の削孔長 (m)</p> <p style="text-align: center;">表5.5 削孔の単位作業時間(γ₁) (min/m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>土 質</th> <th>レキ質土</th> <th>砂質土</th> <th>粘性土</th> </tr> <tr> <td>γ₁</td> <td>6.0</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> </tr> </table> <p>(3) 薬液注入管準備時間 (T₃) 薬液注入管準備時間は、グラウト注入、薬液注入管建込及びケーシング引抜時間であり、次式とする。 $T_3 = \gamma_2 \times L$ γ_2: 薬液注入管準備の単位作業時間 (min/m) L: 削孔長 (m)</p> <p style="text-align: center;">表5.6 薬液注入管準備の単位作業時間(γ₂) (min/m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>γ₂</td> <td>3.0</td> </tr> </table> <p>5-2-2 1本当り一次注入施工時間 (T_{P1}) 二重管ダブルバッカー工法における一次注入の1本当り注入施工時間は、次式による。 $T_{P1} = T_1 + T_2 + T_3$ T_{P1}: 二重管ダブルバッカー工法の一次注入の1本当り注入時間 (min) T₁: 機械準備時間 (min) T₂: 注入時間 (min) T₃: 土抜き部引抜時間 (min)</p> <p>(1) 機械準備時間 (T₁) 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び器具洗浄時間であり、13分とする。</p> <p>(2) 注入時間 (T₂) $T_2 = \frac{Q_{P1}}{q_{P1}}$ Q_{P1}: 二重管ダブルバッカー工法の一次注入の1本当り注入量 (ℓ) q_{P1}: 単位時間当り注入量 (ℓ/min)</p> <p style="text-align: center;">表5.7 単位時間当り注入量(q_{P1}) (ℓ/min)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>q_{P1}</td> <td>8</td> </tr> </table> <p>(3) 土抜き部引抜時間 (T₃) $T_3 = \gamma_3 \times \ell_2$ γ_3: 土抜き部引抜きの単位作業時間 (min/m) ℓ_2: 土抜き長 (m)</p> <p style="text-align: center;">表5.8 土抜き部引抜きの単位作業時間(γ₃) (min/m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>γ₃</td> <td>1.0</td> </tr> </table> <p>5-2-3 1本当り二次注入施工時間 (T_{P2}) 二重管ダブルバッカー工法における二次注入の1本当り注入施工時間は、次式による。 $T_{P2} = T_1 + T_2 + T_3$ T_{P2}: 二重管ダブルバッカー工法の二次注入の1本当り注入時間 (min) T₁: 機械準備時間 (min) T₂: 注入時間 (min) T₃: 土抜き部引抜時間 (min)</p>	土 質	レキ質土	砂質土	粘性土	γ ₁	6.0	5.0	3.0	γ ₂	3.0	q _{P1}	8	γ ₃	1.0	
土 質	レキ質土	砂質土	粘性土																												
γ ₁	6.0	5.0	3.0																												
γ ₂	3.0																														
q _{P1}	8																														
γ ₃	1.0																														
土 質	レキ質土	砂質土	粘性土																												
γ ₁	6.0	5.0	3.0																												
γ ₂	3.0																														
q _{P1}	8																														
γ ₃	1.0																														

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用												
薬液注入工	<p>(1) 機械準備時間 (T₁) 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び器具洗浄時間であり、13分とする。</p> <p>(2) 注入時間 (T₂)</p> $T_2 = \frac{Q_{P2}}{q_{P2}}$ <p>Q_{P2}: 二重管ダブルバッカー工法の二次注入の1本当り注入量 (ℓ) q_{P2}: 単位時間当り注入量 (ℓ/min)</p> <p style="text-align: center;">表5. 9 単位時間当り注入量 (q_{P2}) (ℓ/min)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 50px; text-align: center;">q_{P2}</td> <td style="width: 50px; text-align: center;">9</td> </tr> </table> <p>(3) 土被り部引抜時間 (T₃)</p> $T_3 = \gamma_4 \times \ell_2$ <p>γ₄: 土被り部引抜きの単位作業時間 (min/m) ℓ₂: 土被り長 (m)</p> <p style="text-align: center;">表5. 10 土被り部引抜きの単位作業時間 (γ₄) (min/m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 50px; text-align: center;">γ₄</td> <td style="width: 50px; text-align: center;">1.0</td> </tr> </table> <p>5-2-4 注入材料使用量 二重管ダブルバッカー工法における注入材料使用量は、次式による。</p> <p>(1) グラウト注入材料</p> $Q_G = \gamma_5 \times L \dots\dots\dots \text{式5. 2}$ <p>Q_G: グラウト材注入の1本当り注入量 (ℓ) γ₅: グラウト材注入の単位使用量 (ℓ/m) L: 削孔長 (m)</p> <p style="text-align: center;">表5. 11 グラウト材注入の単位使用量 (γ₅) (ℓ/m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 50px; text-align: center;">γ₅</td> <td style="width: 50px; text-align: center;">12</td> </tr> </table> <p>(2) 一次注入材料</p> $Q_{P1} = V \times \lambda \times 1,000 \dots\dots \text{式5. 3}$ <p>Q_{P1}: 二重管ダブルバッカー工法の一次注入の1本当り注入量 (ℓ) V: 二重管ダブルバッカー工法の一次注入の1本当り注入対象土量 (m³) λ: 注入率</p> <p>(3) 二次注入材料</p> $Q_{P2} = V \times \lambda \times 1,000 \dots\dots \text{式5. 4}$ <p>Q_{P2}: 二重管ダブルバッカー工法の二次注入の1本当り注入量 (ℓ) V: 二重管ダブルバッカー工法の二次注入の1本当り注入対象土量 (m³) λ: 注入率</p>	q _{P2}	9	γ ₄	1.0	γ ₅	12	<p>(1) 機械準備時間 (T₁) 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び器具洗浄時間であり、13分とする。</p> <p>(2) 注入時間 (T₂)</p> $T_2 = \frac{Q_{P2}}{q_{P2}}$ <p>Q_{P2}: 二重管ダブルバッカー工法の二次注入の1本当り注入量 (ℓ) q_{P2}: 単位時間当り注入量 (ℓ/min)</p> <p style="text-align: center;">表5. 9 単位時間当り注入量 (q_{P2}) (ℓ/min)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 50px; text-align: center;">q_{P2}</td> <td style="width: 50px; text-align: center;">9</td> </tr> </table> <p>(3) 土被り部引抜時間 (T₃)</p> $T_3 = \gamma_4 \times \ell_2$ <p>γ₄: 土被り部引抜きの単位作業時間 (min/m) ℓ₂: 土被り長 (m)</p> <p style="text-align: center;">表5. 10 土被り部引抜きの単位作業時間 (γ₄) (min/m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 50px; text-align: center;">γ₄</td> <td style="width: 50px; text-align: center;">1.0</td> </tr> </table> <p>5-2-4 注入材料使用量 二重管ダブルバッカー工法における注入材料使用量は、次式による。</p> <p>(1) グラウト注入材料</p> $Q_G = \gamma_5 \times L \dots\dots\dots \text{式5. 2}$ <p>Q_G: グラウト材注入の1本当り注入量 (ℓ) γ₅: グラウト材注入の単位使用量 (ℓ/m) L: 削孔長 (m)</p> <p style="text-align: center;">表5. 11 グラウト材注入の単位使用量 (γ₅) (ℓ/m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 50px; text-align: center;">γ₅</td> <td style="width: 50px; text-align: center;">12</td> </tr> </table> <p>(2) 一次注入材料</p> $Q_{P1} = V \times \lambda \times 1,000 \dots\dots \text{式5. 3}$ <p>Q_{P1}: 二重管ダブルバッカー工法の一次注入の1本当り注入量 (ℓ) V: 二重管ダブルバッカー工法の一次注入の1本当り注入対象土量 (m³) λ: 注入率</p> <p>(3) 二次注入材料</p> $Q_{P2} = V \times \lambda \times 1,000 \dots\dots \text{式5. 4}$ <p>Q_{P2}: 二重管ダブルバッカー工法の二次注入の1本当り注入量 (ℓ) V: 二重管ダブルバッカー工法の二次注入の1本当り注入対象土量 (m³) λ: 注入率</p>	q _{P2}	9	γ ₄	1.0	γ ₅	12	
q _{P2}	9														
γ ₄	1.0														
γ ₅	12														
q _{P2}	9														
γ ₄	1.0														
γ ₅	12														

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																		
薬液注入工	<p>5-2-5 1日当り施工本数 二重管ダブルバックカー工法における削孔、一次注入、二次注入の1日当り施工本数は、次式による。</p> <p>(1) 削孔</p> $N = \frac{60 \times H}{T_D} \times 2$ <p>N : 1 (2) セット1日当り削孔施工本数 (本/日) H : 削孔設備の1日当り実作業時間で、6.5時間とする。 T_D : 1本当り削孔時間 (min)</p> <p>(2) 一次注入</p> $N = \frac{60 \times H}{T_{P1}} \times 4$ <p>N : 4セット1日当り注入施工本数 (本/日) H : 注入設備の1日当り実作業時間で、7.3時間とする。 T_{P1} : 1本当り注入時間 (min)</p> <p>(3) 二次注入</p> $N = \frac{60 \times H}{T_{P2}} \times 4$ <p>N : 4セット1日当り注入施工本数 (本/日) H : 注入設備の1日当り実作業時間で、7.3時間とする。 T_{P2} : 1本当り注入時間 (min)</p> <p>5-2-6 諸雑費 二重管ダブルバックカー工法削孔時の諸雑費は、グラウトポンプ・グラウトミキサー・送水ポンプ・貯水槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり、一次注入及び二次注入時の諸雑費はグラウト流量・圧力測定装置・グラウトミキサー・バックカー加圧ポンプ・送水ポンプ・送液ポンプ・貯水槽・貯液槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり労務費、機械損料及び運転経費の合計額(水ガラス積算流量計は除く)に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <table style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <caption style="text-align: center;">表5.12 二重管ダブルバックカー工法の諸雑費率 (%)</caption> <thead> <tr> <th style="border: 1px solid black;">条 件</th> <th style="border: 1px solid black;">セ ッ ト 数</th> <th style="border: 1px solid black;">諸 雑 費 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="border: 1px solid black;">削 孔</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">2</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">一 次 注 入</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">4</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">26</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">二 次 注 入 有 機 系</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">4</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">25</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">二 次 注 入 無 機 系</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">4</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">20</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-3 消耗材料費</p> <p>5-3-1 二重管ストレーナ工法</p> <p>(1) 削孔用消耗材料費 (削孔径 φ40.5mm) 二重管ストレーナ工法の削孔用消耗材料費 (削孔径φ40.5mm) は、二重管ボーリングロッド、メタルラウン (φ41mm)、グラウトモニタ (φ40.5mm) 等の費用を計上する。</p> <p>(2) 注入用消耗材料費 二重管ストレーナ工法の注入用消耗材料費は、グラウトモニタ (φ40.5mm)、注入ホース類 (φ12mm)、サクシオンホース (φ38mm) 等の費用を計上する。</p> <p>5-3-2 二重管ダブルバックカー工法</p> <p>(1) 削孔用消耗材料費 (削孔径 φ96mm) 二重管ダブルバックカー工法の削孔用消耗材料費 (φ90 mm用) は、ドリルパイプ φ90 mm用 (1.5m)、ウオータスイベル (φ90 mm用二重管用)、シャンクロッド等の費用を計上する。</p> <p>(2) 注入用消耗材料費 二重管ダブルバックカー工法の注入用消耗材料費は、二重管ホース (φ12mm)、シールバックカーセット、シールセット等の費用を計上する。</p>	条 件	セ ッ ト 数	諸 雑 費 率	削 孔	1	9	2	6	一 次 注 入	4	26	二 次 注 入 有 機 系	4	25	二 次 注 入 無 機 系	4	20	<p>5-2-5 1日当り施工本数 二重管ダブルバックカー工法における削孔、一次注入、二次注入の1日当り施工本数は、次式による。</p> <p>(1) 削孔</p> $N = \frac{60 \times H}{T_D} \times 2$ <p>N : 1 (2) セット1日当り削孔施工本数 (本/日) H : 削孔設備の1日当り実作業時間で、6.5時間とする。 T_D : 1本当り削孔時間 (min)</p> <p>(2) 一次注入</p> $N = \frac{60 \times H}{T_{P1}} \times 4$ <p>N : 4セット1日当り注入施工本数 (本/日) H : 注入設備の1日当り実作業時間で、7.3時間とする。 T_{P1} : 1本当り注入時間 (min)</p> <p>(3) 二次注入</p> $N = \frac{60 \times H}{T_{P2}} \times 4$ <p>N : 4セット1日当り注入施工本数 (本/日) H : 注入設備の1日当り実作業時間で、7.3時間とする。 T_{P2} : 1本当り注入時間 (min)</p> <p>5-2-6 諸雑費 二重管ダブルバックカー工法削孔時の諸雑費は、グラウトポンプ・グラウトミキサー・送水ポンプ・貯水槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり、一次注入及び二次注入時の諸雑費はグラウト流量・圧力測定装置・グラウトミキサー・バックカー加圧ポンプ・送水ポンプ・送液ポンプ・貯水槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり労務費、機械損料及び運転経費の合計額(水ガラス積算流量計は除く)に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <table style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <caption style="text-align: center;">表5.12 二重管ダブルバックカー工法の諸雑費率 (%)</caption> <thead> <tr> <th style="border: 1px solid black;">条 件</th> <th style="border: 1px solid black;">セ ッ ト 数</th> <th style="border: 1px solid black;">諸 雑 費 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="border: 1px solid black;">削 孔</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">1</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">2</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">一 次 注 入</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">4</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">25</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">二 次 注 入 有 機 系</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">4</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">25</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">二 次 注 入 無 機 系</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">4</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">21</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-3 消耗材料費</p> <p>5-3-1 二重管ストレーナ工法</p> <p>(1) 削孔用消耗材料費 (削孔径 φ40.5mm) 二重管ストレーナ工法の削孔用消耗材料費 (削孔径φ40.5mm) は、二重管ボーリングロッド、メタルラウン (φ41mm)、グラウトモニタ (φ40.5mm) 等の費用を計上する。</p> <p>(2) 注入用消耗材料費 二重管ストレーナ工法の注入用消耗材料費は、グラウトモニタ (φ40.5mm)、注入ホース類 (φ12mm)、サクシオンホース (φ38mm) 等の費用を計上する。</p> <p>5-3-2 二重管ダブルバックカー工法</p> <p>(1) 削孔用消耗材料費 (削孔径 φ96mm) 二重管ダブルバックカー工法の削孔用消耗材料費 (φ90 mm用) は、ドリルパイプ φ90 mm用 (1.5m)、ウオータスイベル (φ90 mm用二重管用)、シャンクロッド等の費用を計上する。</p> <p>(2) 注入用消耗材料費 二重管ダブルバックカー工法の注入用消耗材料費は、二重管ホース (φ12mm)、シールバックカーセット、シールセット等の費用を計上する。</p>	条 件	セ ッ ト 数	諸 雑 費 率	削 孔	1	8	2	6	一 次 注 入	4	25	二 次 注 入 有 機 系	4	25	二 次 注 入 無 機 系	4	21	
条 件	セ ッ ト 数	諸 雑 費 率																																			
削 孔	1	9																																			
	2	6																																			
一 次 注 入	4	26																																			
二 次 注 入 有 機 系	4	25																																			
二 次 注 入 無 機 系	4	20																																			
条 件	セ ッ ト 数	諸 雑 費 率																																			
削 孔	1	8																																			
	2	6																																			
一 次 注 入	4	25																																			
二 次 注 入 有 機 系	4	25																																			
二 次 注 入 無 機 系	4	21																																			

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																																																																																																
薬液注入工	<p>5-4 注入設備の据付・解体及び移送 5-4-1 注入設備据付解体歩掛 注入設備の据付・解体（搬入・搬出時）の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.13 注入設備据付・解体歩掛 (1現場当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th colspan="2">二重管ストレーナ工法</th> <th colspan="3">二重管ダブルバックカー工法</th> </tr> <tr> <th>2セット</th> <th>4セット</th> <th rowspan="2">削 孔</th> <th rowspan="2">注 入</th> <th rowspan="2">注 入</th> </tr> <tr> <th>1セット</th> <th>2セット</th> <th>4セット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td></td> <td>2.2</td> <td>2.7</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>8.2</td> <td>13.3</td> <td>4.6</td> <td>6.2</td> <td>11.6</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>3.4</td> <td>5.6</td> <td>1.5</td> <td>2.3</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>トラック運転</td> <td>h</td> <td>クレーン装置付ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t</td> <td>13</td> <td>17</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-4-2 注入設備移送歩掛 注入範囲が注入設備を中心に半径50mを超える場合、又は同一現場内に施工箇所が2箇所以上あり、注入設備を移送しなければならない場合は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.14 注入設備移送歩掛 (1回当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th colspan="2">二重管ストレーナ工法</th> <th colspan="3">二重管ダブルバックカー工法</th> </tr> <tr> <th>2セット</th> <th>4セット</th> <th rowspan="2">削 孔</th> <th rowspan="2">注 入</th> <th rowspan="2">注 入</th> </tr> <tr> <th>1セット</th> <th>2セット</th> <th>4セット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td></td> <td>1.3</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>5.5</td> <td>8.5</td> <td>3.0</td> <td>4.0</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>2.2</td> <td>3.5</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>トラック運転</td> <td>h</td> <td>クレーン装置付ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-5 排水汚泥土処理費 注入排水、排土などのための処理設備が必要な場合は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.15 排水汚泥土処理費 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>規 格</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>工事中水モータポンプ</td> <td>日</td> <td>普通型(潜水ポンプ)口径50mm 全揚程20m</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>アルカリ水中和装置</td> <td>h</td> <td>炭酸ガス式 処理量6m³/h級</td> <td>6.8</td> </tr> <tr> <td>水槽(一般工所用)</td> <td>供用日</td> <td>鋼板製簡易水槽 容量5m³</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td></td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本工程以外における工事で濁水処理施設を設け、かつその施設において本工程で発生した削孔水等の濁水を処理する場合は計上しない。 2. 諸雑費は電力に関する経費等の費用であり、労務費及び機械損料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 現場における中和剤材料費、排泥運搬のための汚泥吸排車及び処理費は、別途計上する。 4. 上表は二重管ストレーナ工法4セットまで、二重管ダブルバックカー工法削孔2セット、注入4セットまでとする。</p> <p>5-6 足場工 足場が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>5-7 その他 (1) 二重管ストレーナ工法及び二重管ダブルバックカー工法は、特許を有する工法の場合もあるので、特許料が必要な場合は、別途計上する。 (2) 用水費については、現場条件を確認のうえ、必要に応じて別途計上する。</p>	名 称	単 位	規 格	二重管ストレーナ工法		二重管ダブルバックカー工法			2セット	4セット	削 孔	注 入	注 入	1セット	2セット	4セット	土木一般世話役	人		2.2	2.7	1.5	1.5	3.1	特殊作業員	人		8.2	13.3	4.6	6.2	11.6	普通作業員	人		3.4	5.6	1.5	2.3	3.9	トラック運転	h	クレーン装置付ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t	13	17	6	6	19	名 称	単 位	規 格	二重管ストレーナ工法		二重管ダブルバックカー工法			2セット	4セット	削 孔	注 入	注 入	1セット	2セット	4セット	土木一般世話役	人		1.3	2.0	1.0	1.0	2.0	特殊作業員	人		5.5	8.5	3.0	4.0	7.5	普通作業員	人		2.2	3.5	1.0	1.5	2.5	トラック運転	h	クレーン装置付ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t	8	11	4	4	12	名 称	単 位	規 格	数 量	普通作業員	人		0.8	工事中水モータポンプ	日	普通型(潜水ポンプ)口径50mm 全揚程20m	1.0	アルカリ水中和装置	h	炭酸ガス式 処理量6m ³ /h級	6.8	水槽(一般工所用)	供用日	鋼板製簡易水槽 容量5m ³	1.5	諸 雑 費 率	%		20	<p>5-4 注入設備の据付・解体及び移送 5-4-1 注入設備据付解体歩掛 注入設備の据付・解体（搬入・搬出時）の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.13 注入設備据付・解体歩掛 (1現場当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th colspan="2">二重管ストレーナ工法</th> <th colspan="3">二重管ダブルバックカー工法</th> </tr> <tr> <th>2セット</th> <th>4セット</th> <th rowspan="2">削 孔</th> <th rowspan="2">注 入</th> <th rowspan="2">注 入</th> </tr> <tr> <th>1セット</th> <th>2セット</th> <th>4セット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td></td> <td>2.2</td> <td>2.7</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>8.2</td> <td>13.3</td> <td>4.6</td> <td>6.2</td> <td>11.6</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>3.4</td> <td>5.6</td> <td>1.5</td> <td>2.3</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>トラック運転</td> <td>h</td> <td>クレーン装置付ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t</td> <td>13</td> <td>17</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-4-2 注入設備移送歩掛 注入範囲が注入設備を中心に半径50mを超える場合、又は同一現場内に施工箇所が2箇所以上あり、注入設備を移送しなければならない場合は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.14 注入設備移送歩掛 (1回当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th colspan="2">二重管ストレーナ工法</th> <th colspan="3">二重管ダブルバックカー工法</th> </tr> <tr> <th>2セット</th> <th>4セット</th> <th rowspan="2">削 孔</th> <th rowspan="2">注 入</th> <th rowspan="2">注 入</th> </tr> <tr> <th>1セット</th> <th>2セット</th> <th>4セット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td></td> <td>1.3</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>5.5</td> <td>8.5</td> <td>3.0</td> <td>4.0</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>2.2</td> <td>3.5</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>トラック運転</td> <td>h</td> <td>クレーン装置付ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-5 排水汚泥土処理費 注入排水、排土などのための処理設備が必要な場合は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.15 排水汚泥土処理費 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>規 格</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>工事中水モータポンプ</td> <td>日</td> <td>普通型(潜水ポンプ)口径50mm 全揚程20m</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>アルカリ水中和装置</td> <td>h</td> <td>炭酸ガス式 処理量6m³/h級</td> <td>6.8</td> </tr> <tr> <td>水槽(一般工所用)</td> <td>供用日</td> <td>鋼板製簡易水槽 容量5m³</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td></td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本工程以外における工事で濁水処理施設を設け、かつその施設において本工程で発生した削孔水等の濁水を処理する場合は計上しない。 2. 諸雑費は電力に関する経費等の費用であり、労務費及び機械損料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 現場における中和剤材料費、排泥運搬のための汚泥吸排車及び処理費は、別途計上する。 4. 上表は二重管ストレーナ工法4セットまで、二重管ダブルバックカー工法削孔2セット、注入4セットまでとする。</p> <p>5-6 足場工 足場が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>5-7 その他 (1) 二重管ストレーナ工法及び二重管ダブルバックカー工法は、特許を有する工法の場合もあるので、特許料が必要な場合は、別途計上する。 (2) 用水費については、現場条件を確認のうえ、必要に応じて別途計上する。</p>	名 称	単 位	規 格	二重管ストレーナ工法		二重管ダブルバックカー工法			2セット	4セット	削 孔	注 入	注 入	1セット	2セット	4セット	土木一般世話役	人		2.2	2.7	1.5	1.5	3.1	特殊作業員	人		8.2	13.3	4.6	6.2	11.6	普通作業員	人		3.4	5.6	1.5	2.3	3.9	トラック運転	h	クレーン装置付ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t	13	17	6	6	19	名 称	単 位	規 格	二重管ストレーナ工法		二重管ダブルバックカー工法			2セット	4セット	削 孔	注 入	注 入	1セット	2セット	4セット	土木一般世話役	人		1.3	2.0	1.0	1.0	2.0	特殊作業員	人		5.5	8.5	3.0	4.0	7.5	普通作業員	人		2.2	3.5	1.0	1.5	2.5	トラック運転	h	クレーン装置付ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t	8	11	4	4	12	名 称	単 位	規 格	数 量	普通作業員	人		0.8	工事中水モータポンプ	日	普通型(潜水ポンプ)口径50mm 全揚程20m	1.0	アルカリ水中和装置	h	炭酸ガス式 処理量6m ³ /h級	6.8	水槽(一般工所用)	供用日	鋼板製簡易水槽 容量5m ³	1.5	諸 雑 費 率	%		20	
名 称	単 位				規 格	二重管ストレーナ工法		二重管ダブルバックカー工法																																																																																																																																																																																																																																											
						2セット	4セット	削 孔	注 入	注 入																																																																																																																																																																																																																																									
		1セット	2セット	4セット																																																																																																																																																																																																																																															
土木一般世話役	人		2.2	2.7	1.5	1.5	3.1																																																																																																																																																																																																																																												
特殊作業員	人		8.2	13.3	4.6	6.2	11.6																																																																																																																																																																																																																																												
普通作業員	人		3.4	5.6	1.5	2.3	3.9																																																																																																																																																																																																																																												
トラック運転	h	クレーン装置付ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t	13	17	6	6	19																																																																																																																																																																																																																																												
名 称	単 位	規 格	二重管ストレーナ工法		二重管ダブルバックカー工法																																																																																																																																																																																																																																														
			2セット	4セット	削 孔	注 入	注 入																																																																																																																																																																																																																																												
			1セット	2セット				4セット																																																																																																																																																																																																																																											
土木一般世話役	人		1.3	2.0	1.0	1.0	2.0																																																																																																																																																																																																																																												
特殊作業員	人		5.5	8.5	3.0	4.0	7.5																																																																																																																																																																																																																																												
普通作業員	人		2.2	3.5	1.0	1.5	2.5																																																																																																																																																																																																																																												
トラック運転	h	クレーン装置付ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t	8	11	4	4	12																																																																																																																																																																																																																																												
名 称	単 位	規 格	数 量																																																																																																																																																																																																																																																
普通作業員	人		0.8																																																																																																																																																																																																																																																
工事中水モータポンプ	日	普通型(潜水ポンプ)口径50mm 全揚程20m	1.0																																																																																																																																																																																																																																																
アルカリ水中和装置	h	炭酸ガス式 処理量6m ³ /h級	6.8																																																																																																																																																																																																																																																
水槽(一般工所用)	供用日	鋼板製簡易水槽 容量5m ³	1.5																																																																																																																																																																																																																																																
諸 雑 費 率	%		20																																																																																																																																																																																																																																																
名 称	単 位	規 格	二重管ストレーナ工法		二重管ダブルバックカー工法																																																																																																																																																																																																																																														
			2セット	4セット	削 孔	注 入	注 入																																																																																																																																																																																																																																												
			1セット	2セット				4セット																																																																																																																																																																																																																																											
土木一般世話役	人		2.2	2.7	1.5	1.5	3.1																																																																																																																																																																																																																																												
特殊作業員	人		8.2	13.3	4.6	6.2	11.6																																																																																																																																																																																																																																												
普通作業員	人		3.4	5.6	1.5	2.3	3.9																																																																																																																																																																																																																																												
トラック運転	h	クレーン装置付ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t	13	17	6	6	19																																																																																																																																																																																																																																												
名 称	単 位	規 格	二重管ストレーナ工法		二重管ダブルバックカー工法																																																																																																																																																																																																																																														
			2セット	4セット	削 孔	注 入	注 入																																																																																																																																																																																																																																												
			1セット	2セット				4セット																																																																																																																																																																																																																																											
土木一般世話役	人		1.3	2.0	1.0	1.0	2.0																																																																																																																																																																																																																																												
特殊作業員	人		5.5	8.5	3.0	4.0	7.5																																																																																																																																																																																																																																												
普通作業員	人		2.2	3.5	1.0	1.5	2.5																																																																																																																																																																																																																																												
トラック運転	h	クレーン装置付ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t	8	11	4	4	12																																																																																																																																																																																																																																												
名 称	単 位	規 格	数 量																																																																																																																																																																																																																																																
普通作業員	人		0.8																																																																																																																																																																																																																																																
工事中水モータポンプ	日	普通型(潜水ポンプ)口径50mm 全揚程20m	1.0																																																																																																																																																																																																																																																
アルカリ水中和装置	h	炭酸ガス式 処理量6m ³ /h級	6.8																																																																																																																																																																																																																																																
水槽(一般工所用)	供用日	鋼板製簡易水槽 容量5m ³	1.5																																																																																																																																																																																																																																																
諸 雑 費 率	%		20																																																																																																																																																																																																																																																

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																																																																																						
薬液注入工	<p>6. 単 価 表</p> <p>(1) 二重管ストレーナ工法1本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/N×a</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/N×a</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/N×a</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>注 入 材 料</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td>Q_s</td> <td>式5.1</td> </tr> <tr> <td>ボーリングマシン</td> <td>油圧式 5.5kW級</td> <td>日</td> <td>1/N×b</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>薬液注入ポンプ</td> <td>吐出量5~20 ℓ/min×2 圧力9.8MPa</td> <td>〃</td> <td>1/N×b</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>水ガラス積算流量計</td> <td>0~50 ℓ/min</td> <td>〃</td> <td>1/N×b</td> <td>表3.1.(注)5 機械損料</td> </tr> <tr> <td>削孔消耗材料費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入消耗材料費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>特 許 料 金</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. N : 1日当り施工本数 2. a : 編成人員 3. b : 施工台数 4. Q_s : 二重管ストレーナ工法の1本当り注入量(ℓ) 5. 水ガラス積算流量計損料は、総注入量500kℓ以上の場合に計上する。</p> <p>(2) 二重管ダブルバック工法削孔1本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/N×a</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/N×a</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/N×a</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>グラウト材</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td>Q_g</td> <td>式5.2</td> </tr> <tr> <td>薬液注入管</td> <td></td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボーリングマシン運転</td> <td>ロータリパーカッション式・ クローラ型 81kW級</td> <td>日</td> <td>1/N×b</td> <td>表3.2 機械損料</td> </tr> <tr> <td>削孔消耗材料費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表5.12</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. N : 1日当り施工本数 2. a : 編成人員 3. b : 施工台数 4. Q_g : グラウト注入の1本当り注入量(ℓ)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1/N×a	表4.1	特殊作業員		〃	1/N×a	〃	普通作業員		〃	1/N×a	〃	注 入 材 料		ℓ	Q _s	式5.1	ボーリングマシン	油圧式 5.5kW級	日	1/N×b	表3.1 機械損料	薬液注入ポンプ	吐出量5~20 ℓ/min×2 圧力9.8MPa	〃	1/N×b	表3.1 機械損料	水ガラス積算流量計	0~50 ℓ/min	〃	1/N×b	表3.1.(注)5 機械損料	削孔消耗材料費		式	1		注入消耗材料費		〃	1		諸 雑 費		〃	1	表5.4	特 許 料 金		〃	1	必要に応じて計上	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1/N×a	表4.2	特殊作業員		〃	1/N×a	〃	普通作業員		〃	1/N×a	〃	グラウト材		ℓ	Q _g	式5.2	薬液注入管		m			ボーリングマシン運転	ロータリパーカッション式・ クローラ型 81kW級	日	1/N×b	表3.2 機械損料	削孔消耗材料費		式	1		諸 雑 費		〃	1	表5.12	計					<p>6. 単 価 表</p> <p>(1) 二重管ストレーナ工法1本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/N×a</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/N×a</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/N×a</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>注 入 材 料</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td>Q_s</td> <td>式5.1</td> </tr> <tr> <td>ボーリングマシン</td> <td>油圧式 5.5kW級</td> <td>日</td> <td>1/N×b</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>薬液注入ポンプ</td> <td>吐出量5~20 ℓ/min×2 圧力9.8MPa</td> <td>〃</td> <td>1/N×b</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>水ガラス積算流量計</td> <td>0~50 ℓ/min</td> <td>〃</td> <td>1/N×b</td> <td>表3.1.(注)5 機械損料</td> </tr> <tr> <td>削孔消耗材料費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入消耗材料費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>特 許 料 金</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. N : 1日当り施工本数 2. a : 編成人員 3. b : 施工台数 4. Q_s : 二重管ストレーナ工法の1本当り注入量(ℓ) 5. 水ガラス積算流量計損料は、総注入量500kℓ以上の場合に計上する。</p> <p>(2) 二重管ダブルバック工法削孔1本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/N×a</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/N×a</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/N×a</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>グラウト材</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td>Q_g</td> <td>式5.2</td> </tr> <tr> <td>薬液注入管</td> <td></td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボーリングマシン運転</td> <td>ロータリパーカッション式・ クローラ型 81kW級</td> <td>日</td> <td>1/N×b</td> <td>表3.2 機械損料</td> </tr> <tr> <td>削孔消耗材料費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表5.12</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. N : 1日当り施工本数 2. a : 編成人員 3. b : 施工台数 4. Q_g : グラウト注入の1本当り注入量(ℓ)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1/N×a	表4.1	特殊作業員		〃	1/N×a	〃	普通作業員		〃	1/N×a	〃	注 入 材 料		ℓ	Q _s	式5.1	ボーリングマシン	油圧式 5.5kW級	日	1/N×b	表3.1 機械損料	薬液注入ポンプ	吐出量5~20 ℓ/min×2 圧力9.8MPa	〃	1/N×b	表3.1 機械損料	水ガラス積算流量計	0~50 ℓ/min	〃	1/N×b	表3.1.(注)5 機械損料	削孔消耗材料費		式	1		注入消耗材料費		〃	1		諸 雑 費		〃	1	表5.4	特 許 料 金		〃	1	必要に応じて計上	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1/N×a	表4.2	特殊作業員		〃	1/N×a	〃	普通作業員		〃	1/N×a	〃	グラウト材		ℓ	Q _g	式5.2	薬液注入管		m			ボーリングマシン運転	ロータリパーカッション式・ クローラ型 81kW級	日	1/N×b	表3.2 機械損料	削孔消耗材料費		式	1		諸 雑 費		〃	1	表5.12	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																					
土木一般世話役		人	1/N×a	表4.1																																																																																																																																																																																																																																					
特殊作業員		〃	1/N×a	〃																																																																																																																																																																																																																																					
普通作業員		〃	1/N×a	〃																																																																																																																																																																																																																																					
注 入 材 料		ℓ	Q _s	式5.1																																																																																																																																																																																																																																					
ボーリングマシン	油圧式 5.5kW級	日	1/N×b	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
薬液注入ポンプ	吐出量5~20 ℓ/min×2 圧力9.8MPa	〃	1/N×b	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
水ガラス積算流量計	0~50 ℓ/min	〃	1/N×b	表3.1.(注)5 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
削孔消耗材料費		式	1																																																																																																																																																																																																																																						
注入消耗材料費		〃	1																																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		〃	1	表5.4																																																																																																																																																																																																																																					
特 許 料 金		〃	1	必要に応じて計上																																																																																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																					
土木一般世話役		人	1/N×a	表4.2																																																																																																																																																																																																																																					
特殊作業員		〃	1/N×a	〃																																																																																																																																																																																																																																					
普通作業員		〃	1/N×a	〃																																																																																																																																																																																																																																					
グラウト材		ℓ	Q _g	式5.2																																																																																																																																																																																																																																					
薬液注入管		m																																																																																																																																																																																																																																							
ボーリングマシン運転	ロータリパーカッション式・ クローラ型 81kW級	日	1/N×b	表3.2 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
削孔消耗材料費		式	1																																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		〃	1	表5.12																																																																																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																					
土木一般世話役		人	1/N×a	表4.1																																																																																																																																																																																																																																					
特殊作業員		〃	1/N×a	〃																																																																																																																																																																																																																																					
普通作業員		〃	1/N×a	〃																																																																																																																																																																																																																																					
注 入 材 料		ℓ	Q _s	式5.1																																																																																																																																																																																																																																					
ボーリングマシン	油圧式 5.5kW級	日	1/N×b	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
薬液注入ポンプ	吐出量5~20 ℓ/min×2 圧力9.8MPa	〃	1/N×b	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
水ガラス積算流量計	0~50 ℓ/min	〃	1/N×b	表3.1.(注)5 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
削孔消耗材料費		式	1																																																																																																																																																																																																																																						
注入消耗材料費		〃	1																																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		〃	1	表5.4																																																																																																																																																																																																																																					
特 許 料 金		〃	1	必要に応じて計上																																																																																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																					
土木一般世話役		人	1/N×a	表4.2																																																																																																																																																																																																																																					
特殊作業員		〃	1/N×a	〃																																																																																																																																																																																																																																					
普通作業員		〃	1/N×a	〃																																																																																																																																																																																																																																					
グラウト材		ℓ	Q _g	式5.2																																																																																																																																																																																																																																					
薬液注入管		m																																																																																																																																																																																																																																							
ボーリングマシン運転	ロータリパーカッション式・ クローラ型 81kW級	日	1/N×b	表3.2 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
削孔消耗材料費		式	1																																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		〃	1	表5.12																																																																																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																																																																																									

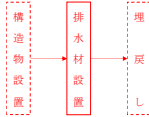
土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																																																																																						
薬液注入工	<p>(3) 二重管ダブルバッカー工法一次注入1本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/N×a</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/N×a</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/N×a</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>注 入 材 料</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td>Q₀₁</td> <td>式5.3</td> </tr> <tr> <td>薬液注入ポンプ</td> <td>吐出量0~20 ℓ/min×2 圧力9.8MPa</td> <td>日</td> <td>1/N×b</td> <td>表3.2 機械損料</td> </tr> <tr> <td>注入消耗材料費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表5.12</td> </tr> <tr> <td>特 許 料 金</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. N : 1日当り施工本数 2. a : 編成人員 3. b : 施工台数 4. Q₀₁ : 二重管ダブルバッカー工法の一次注入の1本当り注入量 (ℓ)</p> <p>(4) 二重管ダブルバッカー工法二次注入1本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/N×a</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/N×a</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/N×a</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>注 入 材 料</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td>Q₀₂</td> <td>式5.4</td> </tr> <tr> <td>薬液注入ポンプ</td> <td>吐出量0~20 ℓ/min×2 圧力9.8MPa</td> <td>日</td> <td>1/N×b</td> <td>表3.2 機械損料</td> </tr> <tr> <td>ゲルミキサ</td> <td>300 ℓ×1槽</td> <td>〃</td> <td>1/N×b</td> <td>表3.2 (注)5 機械損料</td> </tr> <tr> <td>ミキシングプラント</td> <td>3,000 ℓ/h</td> <td>〃</td> <td>1/N×b</td> <td>表3.2 (注)6 機械損料</td> </tr> <tr> <td>水ガラス積算流量計</td> <td>0~50 ℓ/min</td> <td>〃</td> <td>1/N×b</td> <td>表3.2 (注)7 機械損料</td> </tr> <tr> <td>注入消耗材料費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表5.12</td> </tr> <tr> <td>特 許 料 金</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. N : 1日当り施工本数 2. a : 編成人員 3. b : 施工台数 4. Q₀₂ : 二重管ダブルバッカー工法の二次注入の1本当り注入量 (ℓ) 5. ゲルミキサは、溶液型有機系注入時に計上する。 6. ミキシングプラントは、溶液型無機系注入時に計上する。 7. 水ガラス積算流量計損料は、総注入量500k ℓ以上の場合に計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1/N×a	表4.2	特殊作業員		〃	1/N×a	〃	普通作業員		〃	1/N×a	〃	注 入 材 料		ℓ	Q ₀₁	式5.3	薬液注入ポンプ	吐出量0~20 ℓ/min×2 圧力9.8MPa	日	1/N×b	表3.2 機械損料	注入消耗材料費		式	1		諸 雑 費		〃	1	表5.12	特 許 料 金		〃	1	必要に応じて計上	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1/N×a	表4.2	特殊作業員		〃	1/N×a	〃	普通作業員		〃	1/N×a	〃	注 入 材 料		ℓ	Q ₀₂	式5.4	薬液注入ポンプ	吐出量0~20 ℓ/min×2 圧力9.8MPa	日	1/N×b	表3.2 機械損料	ゲルミキサ	300 ℓ×1槽	〃	1/N×b	表3.2 (注)5 機械損料	ミキシングプラント	3,000 ℓ/h	〃	1/N×b	表3.2 (注)6 機械損料	水ガラス積算流量計	0~50 ℓ/min	〃	1/N×b	表3.2 (注)7 機械損料	注入消耗材料費		式	1		諸 雑 費		〃	1	表5.12	特 許 料 金		〃	1	必要に応じて計上	計					<p>(3) 二重管ダブルバッカー工法一次注入1本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/N×a</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/N×a</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/N×a</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>注 入 材 料</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td>Q₀₁</td> <td>式5.3</td> </tr> <tr> <td>薬液注入ポンプ</td> <td>吐出量0~20 ℓ/min×2 圧力9.8MPa</td> <td>日</td> <td>1/N×b</td> <td>表3.2 機械損料</td> </tr> <tr> <td>注入消耗材料費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表5.12</td> </tr> <tr> <td>特 許 料 金</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. N : 1日当り施工本数 2. a : 編成人員 3. b : 施工台数 4. Q₀₁ : 二重管ダブルバッカー工法の一次注入の1本当り注入量 (ℓ)</p> <p>(4) 二重管ダブルバッカー工法二次注入1本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/N×a</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/N×a</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/N×a</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>注 入 材 料</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td>Q₀₂</td> <td>式5.4</td> </tr> <tr> <td>薬液注入ポンプ</td> <td>吐出量0~20 ℓ/min×2 圧力9.8MPa</td> <td>日</td> <td>1/N×b</td> <td>表3.2 機械損料</td> </tr> <tr> <td>ゲルミキサ</td> <td>300 ℓ×1槽</td> <td>〃</td> <td>1/N×b</td> <td>表3.2 (注)5 機械損料</td> </tr> <tr> <td>ミキシングプラント</td> <td>3,000 ℓ/h</td> <td>〃</td> <td>1/N×b</td> <td>表3.2 (注)6 機械損料</td> </tr> <tr> <td>水ガラス積算流量計</td> <td>0~50 ℓ/min</td> <td>〃</td> <td>1/N×b</td> <td>表3.2 (注)7 機械損料</td> </tr> <tr> <td>注入消耗材料費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表5.12</td> </tr> <tr> <td>特 許 料 金</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. N : 1日当り施工本数 2. a : 編成人員 3. b : 施工台数 4. Q₀₂ : 二重管ダブルバッカー工法の二次注入の1本当り注入量 (ℓ) 5. ゲルミキサは、溶液型有機系注入時に計上する。 6. ミキシングプラントは、溶液型無機系注入時に計上する。 7. 水ガラス積算流量計損料は、総注入量500k ℓ以上の場合に計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1/N×a	表4.2	特殊作業員		〃	1/N×a	〃	普通作業員		〃	1/N×a	〃	注 入 材 料		ℓ	Q ₀₁	式5.3	薬液注入ポンプ	吐出量0~20 ℓ/min×2 圧力9.8MPa	日	1/N×b	表3.2 機械損料	注入消耗材料費		式	1		諸 雑 費		〃	1	表5.12	特 許 料 金		〃	1	必要に応じて計上	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1/N×a	表4.2	特殊作業員		〃	1/N×a	〃	普通作業員		〃	1/N×a	〃	注 入 材 料		ℓ	Q ₀₂	式5.4	薬液注入ポンプ	吐出量0~20 ℓ/min×2 圧力9.8MPa	日	1/N×b	表3.2 機械損料	ゲルミキサ	300 ℓ×1槽	〃	1/N×b	表3.2 (注)5 機械損料	ミキシングプラント	3,000 ℓ/h	〃	1/N×b	表3.2 (注)6 機械損料	水ガラス積算流量計	0~50 ℓ/min	〃	1/N×b	表3.2 (注)7 機械損料	注入消耗材料費		式	1		諸 雑 費		〃	1	表5.12	特 許 料 金		〃	1	必要に応じて計上	計					
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																				
土木一般世話役		人	1/N×a	表4.2																																																																																																																																																																																																																																					
特殊作業員		〃	1/N×a	〃																																																																																																																																																																																																																																					
普通作業員		〃	1/N×a	〃																																																																																																																																																																																																																																					
注 入 材 料		ℓ	Q ₀₁	式5.3																																																																																																																																																																																																																																					
薬液注入ポンプ	吐出量0~20 ℓ/min×2 圧力9.8MPa	日	1/N×b	表3.2 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
注入消耗材料費		式	1																																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		〃	1	表5.12																																																																																																																																																																																																																																					
特 許 料 金		〃	1	必要に応じて計上																																																																																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																					
土木一般世話役		人	1/N×a	表4.2																																																																																																																																																																																																																																					
特殊作業員		〃	1/N×a	〃																																																																																																																																																																																																																																					
普通作業員		〃	1/N×a	〃																																																																																																																																																																																																																																					
注 入 材 料		ℓ	Q ₀₂	式5.4																																																																																																																																																																																																																																					
薬液注入ポンプ	吐出量0~20 ℓ/min×2 圧力9.8MPa	日	1/N×b	表3.2 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
ゲルミキサ	300 ℓ×1槽	〃	1/N×b	表3.2 (注)5 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
ミキシングプラント	3,000 ℓ/h	〃	1/N×b	表3.2 (注)6 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
水ガラス積算流量計	0~50 ℓ/min	〃	1/N×b	表3.2 (注)7 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
注入消耗材料費		式	1																																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		〃	1	表5.12																																																																																																																																																																																																																																					
特 許 料 金		〃	1	必要に応じて計上																																																																																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																					
土木一般世話役		人	1/N×a	表4.2																																																																																																																																																																																																																																					
特殊作業員		〃	1/N×a	〃																																																																																																																																																																																																																																					
普通作業員		〃	1/N×a	〃																																																																																																																																																																																																																																					
注 入 材 料		ℓ	Q ₀₁	式5.3																																																																																																																																																																																																																																					
薬液注入ポンプ	吐出量0~20 ℓ/min×2 圧力9.8MPa	日	1/N×b	表3.2 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
注入消耗材料費		式	1																																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		〃	1	表5.12																																																																																																																																																																																																																																					
特 許 料 金		〃	1	必要に応じて計上																																																																																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																					
土木一般世話役		人	1/N×a	表4.2																																																																																																																																																																																																																																					
特殊作業員		〃	1/N×a	〃																																																																																																																																																																																																																																					
普通作業員		〃	1/N×a	〃																																																																																																																																																																																																																																					
注 入 材 料		ℓ	Q ₀₂	式5.4																																																																																																																																																																																																																																					
薬液注入ポンプ	吐出量0~20 ℓ/min×2 圧力9.8MPa	日	1/N×b	表3.2 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
ゲルミキサ	300 ℓ×1槽	〃	1/N×b	表3.2 (注)5 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
ミキシングプラント	3,000 ℓ/h	〃	1/N×b	表3.2 (注)6 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
水ガラス積算流量計	0~50 ℓ/min	〃	1/N×b	表3.2 (注)7 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
注入消耗材料費		式	1																																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		〃	1	表5.12																																																																																																																																																																																																																																					
特 許 料 金		〃	1	必要に応じて計上																																																																																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																																																																																									

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																						
薬液注入工	(5) 注入設備据付・解体1現場当り単価表	(5) 注入設備据付・解体1現場当り単価表																																																																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.13</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トラック運転</td> <td>クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積 吊能力 2.9t</td> <td>h</td> <td></td> <td>表5.13 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表5.13	特殊作業員		〃		〃	普通作業員		〃		〃	トラック運転	クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積 吊能力 2.9t	h		表5.13 機械損料	諸 雑 費		式	1		計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.13</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トラック運転</td> <td>クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積 吊能力 2.9t</td> <td>h</td> <td></td> <td>表5.13 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表5.13	特殊作業員		〃		〃	普通作業員		〃		〃	トラック運転	クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積 吊能力 2.9t	h		表5.13 機械損料	諸 雑 費		式	1		計					
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																				
	土木一般世話役		人		表5.13																																																																				
	特殊作業員		〃		〃																																																																				
	普通作業員		〃		〃																																																																				
	トラック運転	クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積 吊能力 2.9t	h		表5.13 機械損料																																																																				
	諸 雑 費		式	1																																																																					
	計																																																																								
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																				
	土木一般世話役		人		表5.13																																																																				
	特殊作業員		〃		〃																																																																				
普通作業員		〃		〃																																																																					
トラック運転	クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積 吊能力 2.9t	h		表5.13 機械損料																																																																					
諸 雑 費		式	1																																																																						
計																																																																									
(6) 注入設備移設1回当り単価表	(6) 注入設備移設1回当り単価表																																																																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.14</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トラック運転</td> <td>クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積 吊能力 2.9t</td> <td>h</td> <td></td> <td>表5.14 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表5.14	特殊作業員		〃		〃	普通作業員		〃		〃	トラック運転	クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積 吊能力 2.9t	h		表5.14 機械損料	諸 雑 費		式	1		計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.14</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トラック運転</td> <td>クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積 吊能力 2.9t</td> <td>h</td> <td></td> <td>表5.14 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表5.14	特殊作業員		〃		〃	普通作業員		〃		〃	トラック運転	クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積 吊能力 2.9t	h		表5.14 機械損料	諸 雑 費		式	1		計						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																					
土木一般世話役		人		表5.14																																																																					
特殊作業員		〃		〃																																																																					
普通作業員		〃		〃																																																																					
トラック運転	クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積 吊能力 2.9t	h		表5.14 機械損料																																																																					
諸 雑 費		式	1																																																																						
計																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																					
土木一般世話役		人		表5.14																																																																					
特殊作業員		〃		〃																																																																					
普通作業員		〃		〃																																																																					
トラック運転	クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積 吊能力 2.9t	h		表5.14 機械損料																																																																					
諸 雑 費		式	1																																																																						
計																																																																									
(7) 排水汚泥土処理1日当り単価表	(7) 排水汚泥土処理1日当り単価表																																																																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.15</td> </tr> <tr> <td>工事中水モータポンプ</td> <td>普通型(潜水ポンプ) 口径50mm 全揚程20m</td> <td>日</td> <td></td> <td>表5.15 機械損料</td> </tr> <tr> <td>アルカリ水中和装置</td> <td>炭酸ガス式 処理量6m³/h級</td> <td>h</td> <td></td> <td>表5.15 機械損料</td> </tr> <tr> <td>水槽(一般工所用)</td> <td>鋼板製簡易水槽 容量5m³</td> <td>供用日</td> <td></td> <td>表5.15 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.15</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表5.15	工事中水モータポンプ	普通型(潜水ポンプ) 口径50mm 全揚程20m	日		表5.15 機械損料	アルカリ水中和装置	炭酸ガス式 処理量6m ³ /h級	h		表5.15 機械損料	水槽(一般工所用)	鋼板製簡易水槽 容量5m ³	供用日		表5.15 機械損料	諸 雑 費		式	1	表5.15	計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.15</td> </tr> <tr> <td>工事中水モータポンプ</td> <td>普通型(潜水ポンプ) 口径50mm 全揚程20m</td> <td>日</td> <td></td> <td>表5.15 機械損料</td> </tr> <tr> <td>アルカリ水中和装置</td> <td>炭酸ガス式 処理量6m³/h級</td> <td>h</td> <td></td> <td>表5.15 機械損料</td> </tr> <tr> <td>水槽(一般工所用)</td> <td>鋼板製簡易水槽 容量5m³</td> <td>供用日</td> <td></td> <td>表5.15 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.15</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表5.15	工事中水モータポンプ	普通型(潜水ポンプ) 口径50mm 全揚程20m	日		表5.15 機械損料	アルカリ水中和装置	炭酸ガス式 処理量6m ³ /h級	h		表5.15 機械損料	水槽(一般工所用)	鋼板製簡易水槽 容量5m ³	供用日		表5.15 機械損料	諸 雑 費		式	1	表5.15	計						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																					
普通作業員		人		表5.15																																																																					
工事中水モータポンプ	普通型(潜水ポンプ) 口径50mm 全揚程20m	日		表5.15 機械損料																																																																					
アルカリ水中和装置	炭酸ガス式 処理量6m ³ /h級	h		表5.15 機械損料																																																																					
水槽(一般工所用)	鋼板製簡易水槽 容量5m ³	供用日		表5.15 機械損料																																																																					
諸 雑 費		式	1	表5.15																																																																					
計																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																					
普通作業員		人		表5.15																																																																					
工事中水モータポンプ	普通型(潜水ポンプ) 口径50mm 全揚程20m	日		表5.15 機械損料																																																																					
アルカリ水中和装置	炭酸ガス式 処理量6m ³ /h級	h		表5.15 機械損料																																																																					
水槽(一般工所用)	鋼板製簡易水槽 容量5m ³	供用日		表5.15 機械損料																																																																					
諸 雑 費		式	1	表5.15																																																																					
計																																																																									
(8) 機械運転単価表	(8) 機械運転単価表																																																																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボーリングマシン</td> <td>ロータリバーカッション式・ クローラ型 81kW級</td> <td>機-12</td> <td>燃料消費量→78 ℓ/日</td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク</td> <td>クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積 吊能力 2.9t</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	ボーリングマシン	ロータリバーカッション式・ クローラ型 81kW級	機-12	燃料消費量→78 ℓ/日	ト ラ ッ ク	クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積 吊能力 2.9t	機-1		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボーリングマシン</td> <td>ロータリバーカッション式・ クローラ型 81kW級</td> <td>機-12</td> <td>燃料消費量→78 ℓ/日</td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク</td> <td>クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積 吊能力 2.9t</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	ボーリングマシン	ロータリバーカッション式・ クローラ型 81kW級	機-12	燃料消費量→78 ℓ/日	ト ラ ッ ク	クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積 吊能力 2.9t	機-1																																																	
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																						
ボーリングマシン	ロータリバーカッション式・ クローラ型 81kW級	機-12	燃料消費量→78 ℓ/日																																																																						
ト ラ ッ ク	クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積 吊能力 2.9t	機-1																																																																							
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																						
ボーリングマシン	ロータリバーカッション式・ クローラ型 81kW級	機-12	燃料消費量→78 ℓ/日																																																																						
ト ラ ッ ク	クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積 吊能力 2.9t	機-1																																																																							

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																				
排水材設置工		<p>㊦ 排水材設置工</p> <p>1. 適用範囲 構造物（橋台、擁壁、ボックスカルバート等）埋戻し面のコンクリート面に帯状の排水材（全透水型（立体網状体及びメッシュチューブ型等））を設置する作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) コンクリート釘、接着剤、固定金具等を用いて固定する方法を標準とし、排水材規格は幅 200mm 以上 600mm 以下、厚 20mm 以上 50mm 以下の場合。</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 構造物埋戻し面の補強土壁に帯状の排水材を設置する場合。 (2) 土砂部及び岩盤部（土工面）に設置する帯状の排水材の場合。</p> <p>2. 施工概要 2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;">  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 図2-1 施工フロー</p> </div> <p>3. 施工歩掛 排水材の設置歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.1 排水材設置歩掛 (10m 当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>製品名</th> <th>幅 (mm) 及び 厚 (mm)</th> <th>単位</th> <th>幅 200以上600以下 厚 20以上 50以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.03</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.26</td> </tr> <tr> <td>排水材</td> <td></td> <td>m</td> <td>10.5</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td></td> <td>%</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、現場内小運搬を含む設置作業であり、埋戻しは含まない。 2. 排水材のロス率（重ねせ及び切断ロス）は、+0.05として上表に含まれている。 3. コンクリート釘による固定の場合の諸雑費は、ハンマー・充電式電動ハンマドリルの振動及びコンクリート釘・固定板・座金等の費用であり、接着剤による固定の場合の諸雑費は、刷毛・接着剤等の費用であり、固定金具による固定の場合の諸雑費は、チューブ式接着剤・粘着布テープ等の費用であり、材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、固定方法に関わらず本諸雑費率を使用できる。 4. 固定金具を用いて固定する金具材料の材料費は、必要に応じて別途計上する。 5. 水抜きパイプ等に接続する継手材料の材料費及び施工費は、必要に応じて別途計上する。</p>	製品名	幅 (mm) 及び 厚 (mm)	単位	幅 200以上600以下 厚 20以上 50以下	土木一般世話役		人	0.03	普通作業員		人	0.26	排水材		m	10.5	諸雑費率		%	1	○誤記訂正
製品名	幅 (mm) 及び 厚 (mm)	単位	幅 200以上600以下 厚 20以上 50以下																				
土木一般世話役		人	0.03																				
普通作業員		人	0.26																				
排水材		m	10.5																				
諸雑費率		%	1																				

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																														
排水材設置工		<p>4. 単 備 表</p> <p>(1) 排水材10m当り設置単備表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td></td> <td style="text-align: center;">表3.1</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td>排水材</td> <td style="text-align: center;">製品幅 (mm)・製品厚 (mm)</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td></td> <td style="text-align: center;">" 10× (1+ロス率)</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表3.1	普通作業員		"		"	排水材	製品幅 (mm)・製品厚 (mm)	m		" 10× (1+ロス率)	諸 雑 費		式	1	"	計					
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																													
土木一般世話役		人		表3.1																													
普通作業員		"		"																													
排水材	製品幅 (mm)・製品厚 (mm)	m		" 10× (1+ロス率)																													
諸 雑 費		式	1	"																													
計																																	

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用												
<p>鋼管・既製コンクリート杭打工（中掘工）</p>	<p>① 鋼管・既製コンクリート杭打工 ①-2 中掘工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、中掘工（打撃又はグラウト注入（拡大根固め工法を含む）による打止め）による鋼管杭及び既製コンクリート杭（PHC杭、RC杭、SC+PHC杭）の施工に適用する。 なお、適用杭径は、次表を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="521 501 1050 596"> <caption>表1.1 適用杭径</caption> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>杭 径 (mm)</th> <th>描 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中 掘 工</td> <td rowspan="2">φ400～φ1,000</td> <td>鋼管杭</td> </tr> <tr> <td>既製コンクリート杭</td> </tr> </tbody> </table> <p>掘削長については、次図を標準とする。また、現場条件により次回により難い場合は、別途考慮する。</p> <div data-bbox="510 663 1043 1038"> </div> <p>図1-1 施工図(グラウト注入) 図1-2 施工図(打撃)</p> <p>2. 施工概要 中掘工は、あらかじめ杭中空部にオーガスクリューを挿入、杭運達を行った後、削孔と同時に杭を圧入していく工法である。杭打設後は、杭の支持力低下を補うためにモンケンなどにより杭を打撃し、支持層に1.0から1.5m程度打込む方法と、グラウト材を支持層に注入し杭と一体化させる方法がある。</p>	工 法	杭 径 (mm)	描 要	中 掘 工	φ400～φ1,000	鋼管杭	既製コンクリート杭	<p>① 鋼管・既製コンクリート杭打工 ①-2 中掘工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、中掘工（打撃又はグラウト注入（拡大根固め工法を含む）による打止め）による鋼管杭及び既製コンクリート杭（PHC杭、SC+PHC杭）の施工に適用する。 なお、適用杭径は、次表を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="1223 501 1751 596"> <caption>表1.1 適用杭径</caption> <thead> <tr> <th>杭 径 (mm)</th> <th>杭 種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">φ400～φ1,000</td> <td>鋼管杭</td> </tr> <tr> <td>既製コンクリート杭</td> </tr> </tbody> </table> <p>掘削長については、次図を標準とする。また、現場条件により次回により難い場合は、別途考慮する。</p> <div data-bbox="1211 663 1744 1038"> </div> <p>図1-1 施工図(グラウト注入) 図1-2 施工図(打撃)</p> <p>2. 施工概要 中掘工は、あらかじめ杭中空部にオーガスクリューを挿入、杭運達を行った後、削孔と同時に杭を圧入していく工法である。杭打設後は、杭の支持力低下を補うためにモンケンなどにより杭を打撃し、支持層に1.0から1.5m程度打込む方法と、グラウト材を支持層に注入し杭と一体化させる方法がある。</p>	杭 径 (mm)	杭 種	φ400～φ1,000	鋼管杭	既製コンクリート杭	
工 法	杭 径 (mm)	描 要													
中 掘 工	φ400～φ1,000	鋼管杭													
		既製コンクリート杭													
杭 径 (mm)	杭 種														
φ400～φ1,000	鋼管杭														
	既製コンクリート杭														

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用
鋼管・既製コンクリート杭打エ（中掘工）	<p>2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. ヤットコは必要により施工する。</p> <p>図2-1 施工フロー</p>	<p>2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. ヤットコは必要により施工する。</p> <p>図2-1 施工フロー</p>	○誤記訂正 (現行側)

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																
鋼管・既製コンクリート杭打エ（中掘工）	<p>3. 機種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種 の 選 定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機 械 名</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="4">杭 径 (mm)</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="2">φ400以上φ800未満</th> <th rowspan="2">φ800以上φ1,000未満</th> <th rowspan="2">φ1,000</th> </tr> <tr> <th>掘削長 32m 以下</th> <th>掘削長 32m 超え</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クロスラ式 アースオーガ</td> <td>アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力55kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td rowspan="2">打撃方式で施工する場合のモンケン10tを含む</td> </tr> <tr> <td>アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力90kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">クローリン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型（第2次基準値） 50～55t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td rowspan="2">掘削土の処理作業（穴理作業及び簡易な整正を含む）</td> </tr> <tr> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型（第1次基準値） 80t吊</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>バックホウ（クローラ型）</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.45m³（平積0.35m³）</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>掘削土の処理作業（穴理作業及び簡易な整正を含む）</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 日 当 り 編 成 人 員 日 当 り 編 成 人 員 は、次 表 を 標 準 と す る。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日 当 り 編 成 人 員 (人/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 法</th> <th rowspan="2">職 種</th> <th rowspan="2">土 木 一 般 役 員</th> <th rowspan="2">と び 工</th> <th rowspan="2">特 殊 作 業 員</th> <th rowspan="2">普 通 作 業 員</th> <th rowspan="2">溶 接 工</th> </tr> <tr> <th>打 撃</th> <th>グラウト注入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中 掘 工</td> <td>打 撃</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>グラウト注入</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 継杭を施工しない場合は、溶接工は計上しない。</p> <p>5. 施 工 歩 掛 5-1 杭10本当り施工日数 (T_d) 杭10本当り施工日数は、次式による。 鋼管杭の場合 T_d = α · β · T_s (日/10本) 既製コンクリート杭の場合 T_d = α · T_s (日/10本) α : 土質係数 β : 板厚係数 T_s : 杭種、機種別施工日数 (ヤットコの建込み及び引抜きを含むが、不要の場合でも使用出来るものとする。)</p> <p>(1) 土質係数 (α)</p> <p style="text-align: center;">表5.1 土質係数(α)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>N 値 の 範 囲</th> <th>20未満</th> <th>20以上40未満</th> <th>40以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 質 係 数</td> <td>1.00</td> <td>1.13</td> <td>1.27</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) N値は、掘削層の加重平均とする。</p>	機 械 名	規 格	単 位	杭 径 (mm)				摘 要	φ400以上φ800未満		φ800以上φ1,000未満	φ1,000	掘削長 32m 以下	掘削長 32m 超え	クロスラ式 アースオーガ	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力55kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	台	1	—	—	—	打撃方式で施工する場合のモンケン10tを含む	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力90kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	〃	—	1	1	1	クローリン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型（第2次基準値） 50～55t吊	〃	1	—	1	—	掘削土の処理作業（穴理作業及び簡易な整正を含む）	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型（第1次基準値） 80t吊	〃	—	—	—	1	バックホウ（クローラ型）	標準型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	〃	1	—	1	1	掘削土の処理作業（穴理作業及び簡易な整正を含む）	工 法	職 種	土 木 一 般 役 員	と び 工	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	溶 接 工	打 撃	グラウト注入	中 掘 工	打 撃	1	1	—	1	1	グラウト注入	1	1	1	1	1	N 値 の 範 囲	20未満	20以上40未満	40以上	土 質 係 数	1.00	1.13	1.27	<p>3. 機種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種 の 選 定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機 械 名</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="4">杭 径 (mm)</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="2">φ400以上φ800未満</th> <th rowspan="2">φ800以上φ1,000未満</th> <th rowspan="2">φ1,000</th> </tr> <tr> <th>掘削長 32m 以下</th> <th>掘削長 32m 超え</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クロスラ式 アースオーガ</td> <td>アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力55kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td rowspan="2">打撃方式で施工する場合のモンケン10tを含む</td> </tr> <tr> <td>アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力90kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">クローリン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型（第2次基準値） 50～55t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td rowspan="2">掘削土の処理作業（穴理作業及び簡易な整正を含む）</td> </tr> <tr> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型（第3次基準値） 80t吊</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>バックホウ（クローラ型）</td> <td>標準型・超低騒音型 排出ガス対策型（2014年規制） 山積0.5 m³（平積0.4 m³）</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>掘削土の処理作業（穴理作業及び簡易な整正を含む）</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 日 当 り 編 成 人 員 日 当 り 編 成 人 員 は、次 表 を 標 準 と す る。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日 当 り 編 成 人 員 (人/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 法</th> <th rowspan="2">職 種</th> <th rowspan="2">土 木 一 般 役 員</th> <th rowspan="2">と び 工</th> <th rowspan="2">特 殊 作 業 員</th> <th rowspan="2">普 通 作 業 員</th> <th rowspan="2">溶 接 工</th> </tr> <tr> <th>打 撃</th> <th>グラウト注入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中 掘 工</td> <td>打 撃</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>グラウト注入</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 継杭を施工しない場合は、溶接工は計上しない。</p> <p>5. 施 工 歩 掛 5-1 杭10本当り施工日数 (T_d) 杭10本当り施工日数は、次式による。 鋼管杭の場合 T_d = α · β · T_s (日/10本) 既製コンクリート杭の場合 T_d = α · T_s (日/10本) α : 土質係数 β : 板厚係数 T_s : 杭種、施工方法別施工日数 (ヤットコの建込み及び引抜きを含むが、不要の場合でも使用出来るものとする。)</p> <p>(1) 土質係数 (α)</p> <p style="text-align: center;">表5.1 土質係数(α)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>N 値 の 範 囲</th> <th>20未満</th> <th>20以上40未満</th> <th>40以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 質 係 数</td> <td>1.00</td> <td>1.13</td> <td>1.27</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) N値は、掘削層の加重平均とする。</p>	機 械 名	規 格	単 位	杭 径 (mm)				摘 要	φ400以上φ800未満		φ800以上φ1,000未満	φ1,000	掘削長 32m 以下	掘削長 32m 超え	クロスラ式 アースオーガ	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力55kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	台	1	—	—	—	打撃方式で施工する場合のモンケン10tを含む	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力90kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	〃	—	1	1	1	クローリン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型（第2次基準値） 50～55t吊	〃	1	—	1	—	掘削土の処理作業（穴理作業及び簡易な整正を含む）	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型（第3次基準値） 80t吊	〃	—	—	—	1	バックホウ（クローラ型）	標準型・ 超低騒音型 排出ガス対策型（2014年規制） 山積0.5 m ³ （平積0.4 m ³ ）	〃	1	—	1	1	掘削土の処理作業（穴理作業及び簡易な整正を含む）	工 法	職 種	土 木 一 般 役 員	と び 工	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	溶 接 工	打 撃	グラウト注入	中 掘 工	打 撃	1	1	—	1	1	グラウト注入	1	1	1	1	1	N 値 の 範 囲	20未満	20以上40未満	40以上	土 質 係 数	1.00	1.13	1.27	
	機 械 名				規 格	単 位	杭 径 (mm)				摘 要																																																																																																																																																								
φ400以上φ800未満							φ800以上φ1,000未満	φ1,000																																																																																																																																																											
掘削長 32m 以下		掘削長 32m 超え																																																																																																																																																																	
クロスラ式 アースオーガ	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力55kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	台	1	—	—	—	打撃方式で施工する場合のモンケン10tを含む																																																																																																																																																												
アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力90kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	〃	—	1	1	1																																																																																																																																																														
クローリン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型（第2次基準値） 50～55t吊	〃	1	—	1	—	掘削土の処理作業（穴理作業及び簡易な整正を含む）																																																																																																																																																												
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型（第1次基準値） 80t吊	〃	—	—	—	1																																																																																																																																																													
バックホウ（クローラ型）	標準型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	〃	1	—	1	1	掘削土の処理作業（穴理作業及び簡易な整正を含む）																																																																																																																																																												
工 法	職 種	土 木 一 般 役 員	と び 工	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	溶 接 工																																																																																																																																																													
							打 撃	グラウト注入																																																																																																																																																											
中 掘 工	打 撃	1	1	—	1	1																																																																																																																																																													
	グラウト注入	1	1	1	1	1																																																																																																																																																													
N 値 の 範 囲	20未満	20以上40未満	40以上																																																																																																																																																																
土 質 係 数	1.00	1.13	1.27																																																																																																																																																																
機 械 名	規 格	単 位	杭 径 (mm)				摘 要																																																																																																																																																												
			φ400以上φ800未満		φ800以上φ1,000未満	φ1,000																																																																																																																																																													
			掘削長 32m 以下	掘削長 32m 超え																																																																																																																																																															
クロスラ式 アースオーガ	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力55kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	台	1	—	—	—	打撃方式で施工する場合のモンケン10tを含む																																																																																																																																																												
アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力90kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	〃	—	1	1	1																																																																																																																																																														
クローリン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型（第2次基準値） 50～55t吊	〃	1	—	1	—	掘削土の処理作業（穴理作業及び簡易な整正を含む）																																																																																																																																																												
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型（第3次基準値） 80t吊	〃	—	—	—	1																																																																																																																																																													
バックホウ（クローラ型）	標準型・ 超低騒音型 排出ガス対策型（2014年規制） 山積0.5 m ³ （平積0.4 m ³ ）	〃	1	—	1	1	掘削土の処理作業（穴理作業及び簡易な整正を含む）																																																																																																																																																												
工 法	職 種	土 木 一 般 役 員	と び 工	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	溶 接 工																																																																																																																																																													
							打 撃	グラウト注入																																																																																																																																																											
中 掘 工	打 撃	1	1	—	1	1																																																																																																																																																													
	グラウト注入	1	1	1	1	1																																																																																																																																																													
N 値 の 範 囲	20未満	20以上40未満	40以上																																																																																																																																																																
土 質 係 数	1.00	1.13	1.27																																																																																																																																																																

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																																										
鋼管・既製コンクリート杭 打工（中掘工）	<p>(2) 板厚係数 (β) 鋼管杭で板厚の異なる継杭の場合には、最小板厚の板厚係数とする。また、既製コンクリート杭の場合は計上しない。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 板厚係数(β)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘 削 長 (m)</th> <th colspan="4">板 厚 (mm)</th> </tr> <tr> <th>9~10</th> <th>11~12</th> <th>13~14</th> <th>15~16</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16m以下</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>16mを超え32m以下</td> <td>1.00</td> <td>1.09</td> <td>1.18</td> <td>1.26</td> </tr> <tr> <td>32mを超え48m以下</td> <td>1.00</td> <td>1.12</td> <td>1.23</td> <td>1.34</td> </tr> <tr> <td>48mを超え64m以下</td> <td>1.00</td> <td>1.13</td> <td>1.26</td> <td>1.38</td> </tr> </tbody> </table>	掘 削 長 (m)	板 厚 (mm)				9~10	11~12	13~14	15~16	16m以下	1.00	1.00	1.00	1.00	16mを超え32m以下	1.00	1.09	1.18	1.26	32mを超え48m以下	1.00	1.12	1.23	1.34	48mを超え64m以下	1.00	1.13	1.26	1.38	<p>(2) 板厚係数 (β) 鋼管杭で板厚の異なる継杭の場合には、最小板厚の板厚係数とする。また、既製コンクリート杭の場合は計上しない。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 板厚係数(β)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘 削 長 (m)</th> <th colspan="4">板 厚 (mm)</th> </tr> <tr> <th>9~10</th> <th>11~12</th> <th>13~14</th> <th>15~16</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16m以下</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>16mを超え32m以下</td> <td>1.00</td> <td>1.09</td> <td>1.18</td> <td>1.26</td> </tr> <tr> <td>32mを超え48m以下</td> <td>1.00</td> <td>1.12</td> <td>1.23</td> <td>1.34</td> </tr> <tr> <td>48mを超え64m以下</td> <td>1.00</td> <td>1.13</td> <td>1.26</td> <td>1.38</td> </tr> </tbody> </table>	掘 削 長 (m)	板 厚 (mm)				9~10	11~12	13~14	15~16	16m以下	1.00	1.00	1.00	1.00	16mを超え32m以下	1.00	1.09	1.18	1.26	32mを超え48m以下	1.00	1.12	1.23	1.34	48mを超え64m以下	1.00	1.13	1.26	1.38	<p>(2) 板厚係数 (β) 鋼管杭で板厚の異なる継杭の場合には、最小板厚の板厚係数とする。また、既製コンクリート杭の場合は計上しない。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 板厚係数(β)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘 削 長 (m)</th> <th colspan="4">板 厚 (mm)</th> </tr> <tr> <th>9~10</th> <th>11~12</th> <th>13~14</th> <th>15~16</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16m以下</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>16mを超え32m以下</td> <td>1.00</td> <td>1.09</td> <td>1.18</td> <td>1.26</td> </tr> <tr> <td>32mを超え48m以下</td> <td>1.00</td> <td>1.12</td> <td>1.23</td> <td>1.34</td> </tr> <tr> <td>48mを超え64m以下</td> <td>1.00</td> <td>1.13</td> <td>1.26</td> <td>1.38</td> </tr> </tbody> </table>	掘 削 長 (m)	板 厚 (mm)				9~10	11~12	13~14	15~16	16m以下	1.00	1.00	1.00	1.00	16mを超え32m以下	1.00	1.09	1.18	1.26	32mを超え48m以下	1.00	1.12	1.23	1.34	48mを超え64m以下	1.00	1.13	1.26	1.38																																																																																																			
	掘 削 長 (m)		板 厚 (mm)																																																																																																																																																																																										
		9~10	11~12	13~14	15~16																																																																																																																																																																																								
	16m以下	1.00	1.00	1.00	1.00																																																																																																																																																																																								
	16mを超え32m以下	1.00	1.09	1.18	1.26																																																																																																																																																																																								
32mを超え48m以下	1.00	1.12	1.23	1.34																																																																																																																																																																																									
48mを超え64m以下	1.00	1.13	1.26	1.38																																																																																																																																																																																									
掘 削 長 (m)	板 厚 (mm)																																																																																																																																																																																												
	9~10	11~12	13~14	15~16																																																																																																																																																																																									
16m以下	1.00	1.00	1.00	1.00																																																																																																																																																																																									
16mを超え32m以下	1.00	1.09	1.18	1.26																																																																																																																																																																																									
32mを超え48m以下	1.00	1.12	1.23	1.34																																																																																																																																																																																									
48mを超え64m以下	1.00	1.13	1.26	1.38																																																																																																																																																																																									
掘 削 長 (m)	板 厚 (mm)																																																																																																																																																																																												
	9~10	11~12	13~14	15~16																																																																																																																																																																																									
16m以下	1.00	1.00	1.00	1.00																																																																																																																																																																																									
16mを超え32m以下	1.00	1.09	1.18	1.26																																																																																																																																																																																									
32mを超え48m以下	1.00	1.12	1.23	1.34																																																																																																																																																																																									
48mを超え64m以下	1.00	1.13	1.26	1.38																																																																																																																																																																																									
	<p>(3) 杭種、施工方法別施工日数 (T_s)</p> <p>① 鋼管杭（グラウト方式）</p> <p style="text-align: center;">表5.3 鋼管杭(グラウト方式) (T_s) (日/10本)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘 削 長 (m)</th> <th colspan="6">杭 径 (mm)</th> </tr> <tr> <th>$\phi 400$以上 $\phi 500$未満</th> <th>$\phi 500$以上 $\phi 600$未満</th> <th>$\phi 600$以上 $\phi 700$未満</th> <th>$\phi 700$以上 $\phi 800$未満</th> <th>$\phi 800$以上 $\phi 900$未満</th> <th>$\phi 900$以上 $\phi 1,000$未満</th> <th>$\phi 1,000$</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16m以下</td> <td>1.76</td> <td>1.84</td> <td>1.89</td> <td>1.96</td> <td>2.06</td> <td>2.19</td> <td>2.34</td> </tr> <tr> <td>16mを超え32m以下</td> <td>3.36</td> <td>3.65</td> <td>3.86</td> <td>4.12</td> <td>4.38</td> <td>4.68</td> <td>5.02</td> </tr> <tr> <td>32mを超え48m以下</td> <td>4.97</td> <td>5.46</td> <td>5.83</td> <td>6.28</td> <td>6.70</td> <td>7.16</td> <td>7.69</td> </tr> <tr> <td>48mを超え64m以下</td> <td>6.57</td> <td>7.27</td> <td>7.80</td> <td>8.44</td> <td>9.03</td> <td>9.64</td> <td>10.36</td> </tr> </tbody> </table>	掘 削 長 (m)	杭 径 (mm)						$\phi 400$ 以上 $\phi 500$ 未満	$\phi 500$ 以上 $\phi 600$ 未満	$\phi 600$ 以上 $\phi 700$ 未満	$\phi 700$ 以上 $\phi 800$ 未満	$\phi 800$ 以上 $\phi 900$ 未満	$\phi 900$ 以上 $\phi 1,000$ 未満	$\phi 1,000$	16m以下	1.76	1.84	1.89	1.96	2.06	2.19	2.34	16mを超え32m以下	3.36	3.65	3.86	4.12	4.38	4.68	5.02	32mを超え48m以下	4.97	5.46	5.83	6.28	6.70	7.16	7.69	48mを超え64m以下	6.57	7.27	7.80	8.44	9.03	9.64	10.36	<p>(3) 杭種、施工方法別施工日数 (T_s)</p> <p>① 鋼管杭（グラウト方式）</p> <p style="text-align: center;">表5.3 鋼管杭(グラウト方式) (T_s) (日/10本)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘 削 長 (m)</th> <th colspan="6">杭 径 (mm)</th> </tr> <tr> <th>$\phi 400$以上 $\phi 500$未満</th> <th>$\phi 500$以上 $\phi 600$未満</th> <th>$\phi 600$以上 $\phi 700$未満</th> <th>$\phi 700$以上 $\phi 800$未満</th> <th>$\phi 800$以上 $\phi 900$未満</th> <th>$\phi 900$以上 $\phi 1,000$未満</th> <th>$\phi 1,000$</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16m以下</td> <td>1.78</td> <td>1.86</td> <td>1.91</td> <td>1.98</td> <td>2.09</td> <td>2.22</td> <td>2.37</td> </tr> <tr> <td>16mを超え32m以下</td> <td>3.41</td> <td>3.69</td> <td>3.91</td> <td>4.17</td> <td>4.44</td> <td>4.73</td> <td>5.08</td> </tr> <tr> <td>32mを超え48m以下</td> <td>5.03</td> <td>5.52</td> <td>5.90</td> <td>6.36</td> <td>6.79</td> <td>7.25</td> <td>7.78</td> </tr> <tr> <td>48mを超え64m以下</td> <td>6.65</td> <td>7.36</td> <td>7.90</td> <td>8.55</td> <td>9.14</td> <td>9.76</td> <td>10.49</td> </tr> </tbody> </table>	掘 削 長 (m)	杭 径 (mm)						$\phi 400$ 以上 $\phi 500$ 未満	$\phi 500$ 以上 $\phi 600$ 未満	$\phi 600$ 以上 $\phi 700$ 未満	$\phi 700$ 以上 $\phi 800$ 未満	$\phi 800$ 以上 $\phi 900$ 未満	$\phi 900$ 以上 $\phi 1,000$ 未満	$\phi 1,000$	16m以下	1.78	1.86	1.91	1.98	2.09	2.22	2.37	16mを超え32m以下	3.41	3.69	3.91	4.17	4.44	4.73	5.08	32mを超え48m以下	5.03	5.52	5.90	6.36	6.79	7.25	7.78	48mを超え64m以下	6.65	7.36	7.90	8.55	9.14	9.76	10.49	<p>(3) 杭種、施工方法別施工日数 (T_s)</p> <p>② 鋼管杭（打撃方式）</p> <p style="text-align: center;">表5.4 鋼管杭(打撃方式) (T_s) (日/10本)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘 削 長 (m)</th> <th colspan="6">杭 径 (mm)</th> </tr> <tr> <th>$\phi 400$以上 $\phi 500$未満</th> <th>$\phi 500$以上 $\phi 600$未満</th> <th>$\phi 600$以上 $\phi 700$未満</th> <th>$\phi 700$以上 $\phi 800$未満</th> <th>$\phi 800$以上 $\phi 900$未満</th> <th>$\phi 900$以上 $\phi 1,000$未満</th> <th>$\phi 1,000$</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16m以下</td> <td>1.84</td> <td>1.88</td> <td>1.91</td> <td>1.93</td> <td>1.95</td> <td>1.97</td> <td>2.00</td> </tr> <tr> <td>16mを超え32m以下</td> <td>3.44</td> <td>3.69</td> <td>3.88</td> <td>4.09</td> <td>4.27</td> <td>4.46</td> <td>4.67</td> </tr> <tr> <td>32mを超え48m以下</td> <td>5.04</td> <td>5.50</td> <td>5.85</td> <td>6.25</td> <td>6.59</td> <td>6.94</td> <td>7.34</td> </tr> <tr> <td>48mを超え64m以下</td> <td>6.65</td> <td>7.31</td> <td>7.82</td> <td>8.41</td> <td>8.92</td> <td>9.42</td> <td>10.01</td> </tr> </tbody> </table>	掘 削 長 (m)	杭 径 (mm)						$\phi 400$ 以上 $\phi 500$ 未満	$\phi 500$ 以上 $\phi 600$ 未満	$\phi 600$ 以上 $\phi 700$ 未満	$\phi 700$ 以上 $\phi 800$ 未満	$\phi 800$ 以上 $\phi 900$ 未満	$\phi 900$ 以上 $\phi 1,000$ 未満	$\phi 1,000$	16m以下	1.84	1.88	1.91	1.93	1.95	1.97	2.00	16mを超え32m以下	3.44	3.69	3.88	4.09	4.27	4.46	4.67	32mを超え48m以下	5.04	5.50	5.85	6.25	6.59	6.94	7.34	48mを超え64m以下	6.65	7.31	7.82	8.41	8.92	9.42	10.01	<p>(3) 杭種、施工方法別施工日数 (T_s)</p> <p>② 鋼管杭（打撃方式）</p> <p style="text-align: center;">表5.4 鋼管杭(打撃方式) (T_s) (日/10本)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘 削 長 (m)</th> <th colspan="6">杭 径 (mm)</th> </tr> <tr> <th>$\phi 400$以上 $\phi 500$未満</th> <th>$\phi 500$以上 $\phi 600$未満</th> <th>$\phi 600$以上 $\phi 700$未満</th> <th>$\phi 700$以上 $\phi 800$未満</th> <th>$\phi 800$以上 $\phi 900$未満</th> <th>$\phi 900$以上 $\phi 1,000$未満</th> <th>$\phi 1,000$</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16m以下</td> <td>1.86</td> <td>1.91</td> <td>1.93</td> <td>1.95</td> <td>1.97</td> <td>2.00</td> <td>2.02</td> </tr> <tr> <td>16mを超え32m以下</td> <td>3.48</td> <td>3.74</td> <td>3.92</td> <td>4.14</td> <td>4.33</td> <td>4.51</td> <td>4.73</td> </tr> <tr> <td>32mを超え48m以下</td> <td>5.10</td> <td>5.57</td> <td>5.92</td> <td>6.33</td> <td>6.68</td> <td>7.02</td> <td>7.43</td> </tr> <tr> <td>48mを超え64m以下</td> <td>6.73</td> <td>7.40</td> <td>7.91</td> <td>8.51</td> <td>9.03</td> <td>9.54</td> <td>10.14</td> </tr> </tbody> </table>	掘 削 長 (m)	杭 径 (mm)						$\phi 400$ 以上 $\phi 500$ 未満	$\phi 500$ 以上 $\phi 600$ 未満	$\phi 600$ 以上 $\phi 700$ 未満	$\phi 700$ 以上 $\phi 800$ 未満	$\phi 800$ 以上 $\phi 900$ 未満	$\phi 900$ 以上 $\phi 1,000$ 未満	$\phi 1,000$	16m以下	1.86	1.91	1.93	1.95	1.97	2.00	2.02	16mを超え32m以下	3.48	3.74	3.92	4.14	4.33	4.51	4.73	32mを超え48m以下	5.10	5.57	5.92	6.33	6.68	7.02	7.43	48mを超え64m以下	6.73	7.40	7.91	8.51	9.03	9.54	10.14	
掘 削 長 (m)	杭 径 (mm)																																																																																																																																																																																												
	$\phi 400$ 以上 $\phi 500$ 未満	$\phi 500$ 以上 $\phi 600$ 未満	$\phi 600$ 以上 $\phi 700$ 未満	$\phi 700$ 以上 $\phi 800$ 未満	$\phi 800$ 以上 $\phi 900$ 未満	$\phi 900$ 以上 $\phi 1,000$ 未満	$\phi 1,000$																																																																																																																																																																																						
16m以下	1.76	1.84	1.89	1.96	2.06	2.19	2.34																																																																																																																																																																																						
16mを超え32m以下	3.36	3.65	3.86	4.12	4.38	4.68	5.02																																																																																																																																																																																						
32mを超え48m以下	4.97	5.46	5.83	6.28	6.70	7.16	7.69																																																																																																																																																																																						
48mを超え64m以下	6.57	7.27	7.80	8.44	9.03	9.64	10.36																																																																																																																																																																																						
掘 削 長 (m)	杭 径 (mm)																																																																																																																																																																																												
	$\phi 400$ 以上 $\phi 500$ 未満	$\phi 500$ 以上 $\phi 600$ 未満	$\phi 600$ 以上 $\phi 700$ 未満	$\phi 700$ 以上 $\phi 800$ 未満	$\phi 800$ 以上 $\phi 900$ 未満	$\phi 900$ 以上 $\phi 1,000$ 未満	$\phi 1,000$																																																																																																																																																																																						
16m以下	1.78	1.86	1.91	1.98	2.09	2.22	2.37																																																																																																																																																																																						
16mを超え32m以下	3.41	3.69	3.91	4.17	4.44	4.73	5.08																																																																																																																																																																																						
32mを超え48m以下	5.03	5.52	5.90	6.36	6.79	7.25	7.78																																																																																																																																																																																						
48mを超え64m以下	6.65	7.36	7.90	8.55	9.14	9.76	10.49																																																																																																																																																																																						
掘 削 長 (m)	杭 径 (mm)																																																																																																																																																																																												
	$\phi 400$ 以上 $\phi 500$ 未満	$\phi 500$ 以上 $\phi 600$ 未満	$\phi 600$ 以上 $\phi 700$ 未満	$\phi 700$ 以上 $\phi 800$ 未満	$\phi 800$ 以上 $\phi 900$ 未満	$\phi 900$ 以上 $\phi 1,000$ 未満	$\phi 1,000$																																																																																																																																																																																						
16m以下	1.84	1.88	1.91	1.93	1.95	1.97	2.00																																																																																																																																																																																						
16mを超え32m以下	3.44	3.69	3.88	4.09	4.27	4.46	4.67																																																																																																																																																																																						
32mを超え48m以下	5.04	5.50	5.85	6.25	6.59	6.94	7.34																																																																																																																																																																																						
48mを超え64m以下	6.65	7.31	7.82	8.41	8.92	9.42	10.01																																																																																																																																																																																						
掘 削 長 (m)	杭 径 (mm)																																																																																																																																																																																												
	$\phi 400$ 以上 $\phi 500$ 未満	$\phi 500$ 以上 $\phi 600$ 未満	$\phi 600$ 以上 $\phi 700$ 未満	$\phi 700$ 以上 $\phi 800$ 未満	$\phi 800$ 以上 $\phi 900$ 未満	$\phi 900$ 以上 $\phi 1,000$ 未満	$\phi 1,000$																																																																																																																																																																																						
16m以下	1.86	1.91	1.93	1.95	1.97	2.00	2.02																																																																																																																																																																																						
16mを超え32m以下	3.48	3.74	3.92	4.14	4.33	4.51	4.73																																																																																																																																																																																						
32mを超え48m以下	5.10	5.57	5.92	6.33	6.68	7.02	7.43																																																																																																																																																																																						
48mを超え64m以下	6.73	7.40	7.91	8.51	9.03	9.54	10.14																																																																																																																																																																																						
	<p>③ 既製コンクリート杭（グラウト方式）</p> <p style="text-align: center;">表5.5 既製コンクリート杭(グラウト方式) (T_s) (日/10本)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘 削 長 (m)</th> <th colspan="6">杭 径 (mm)</th> </tr> <tr> <th>$\phi 400$以上 $\phi 500$未満</th> <th>$\phi 500$以上 $\phi 600$未満</th> <th>$\phi 600$以上 $\phi 700$未満</th> <th>$\phi 700$以上 $\phi 800$未満</th> <th>$\phi 800$以上 $\phi 900$未満</th> <th>$\phi 900$以上 $\phi 1,000$未満</th> <th>$\phi 1,000$</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16m以下</td> <td>1.75</td> <td>1.85</td> <td>1.90</td> <td>1.97</td> <td>2.07</td> <td>2.19</td> <td>2.34</td> </tr> <tr> <td>16mを超え32m以下</td> <td>3.44</td> <td>3.69</td> <td>3.87</td> <td>4.07</td> <td>4.27</td> <td>4.53</td> <td>4.87</td> </tr> <tr> <td>32mを超え48m以下</td> <td>5.13</td> <td>5.53</td> <td>5.84</td> <td>6.18</td> <td>6.48</td> <td>6.87</td> <td>7.40</td> </tr> <tr> <td>48mを超え64m以下</td> <td>6.82</td> <td>7.37</td> <td>7.82</td> <td>8.28</td> <td>8.69</td> <td>9.21</td> <td>9.93</td> </tr> </tbody> </table>	掘 削 長 (m)	杭 径 (mm)						$\phi 400$ 以上 $\phi 500$ 未満	$\phi 500$ 以上 $\phi 600$ 未満	$\phi 600$ 以上 $\phi 700$ 未満	$\phi 700$ 以上 $\phi 800$ 未満	$\phi 800$ 以上 $\phi 900$ 未満	$\phi 900$ 以上 $\phi 1,000$ 未満	$\phi 1,000$	16m以下	1.75	1.85	1.90	1.97	2.07	2.19	2.34	16mを超え32m以下	3.44	3.69	3.87	4.07	4.27	4.53	4.87	32mを超え48m以下	5.13	5.53	5.84	6.18	6.48	6.87	7.40	48mを超え64m以下	6.82	7.37	7.82	8.28	8.69	9.21	9.93	<p>③ 既製コンクリート杭（グラウト方式）</p> <p style="text-align: center;">表5.5 既製コンクリート杭(グラウト方式) (T_s) (日/10本)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘 削 長 (m)</th> <th colspan="6">杭 径 (mm)</th> </tr> <tr> <th>$\phi 400$以上 $\phi 500$未満</th> <th>$\phi 500$以上 $\phi 600$未満</th> <th>$\phi 600$以上 $\phi 700$未満</th> <th>$\phi 700$以上 $\phi 800$未満</th> <th>$\phi 800$以上 $\phi 900$未満</th> <th>$\phi 900$以上 $\phi 1,000$未満</th> <th>$\phi 1,000$</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16m以下</td> <td>1.77</td> <td>1.87</td> <td>1.93</td> <td>2.00</td> <td>2.09</td> <td>2.22</td> <td>2.37</td> </tr> <tr> <td>16mを超え32m以下</td> <td>3.48</td> <td>3.73</td> <td>3.92</td> <td>4.12</td> <td>4.33</td> <td>4.59</td> <td>4.93</td> </tr> <tr> <td>32mを超え48m以下</td> <td>5.19</td> <td>5.60</td> <td>5.92</td> <td>6.25</td> <td>6.56</td> <td>6.95</td> <td>7.49</td> </tr> <tr> <td>48mを超え64m以下</td> <td>6.90</td> <td>7.46</td> <td>7.91</td> <td>8.38</td> <td>8.79</td> <td>9.32</td> <td>10.05</td> </tr> </tbody> </table>	掘 削 長 (m)	杭 径 (mm)						$\phi 400$ 以上 $\phi 500$ 未満	$\phi 500$ 以上 $\phi 600$ 未満	$\phi 600$ 以上 $\phi 700$ 未満	$\phi 700$ 以上 $\phi 800$ 未満	$\phi 800$ 以上 $\phi 900$ 未満	$\phi 900$ 以上 $\phi 1,000$ 未満	$\phi 1,000$	16m以下	1.77	1.87	1.93	2.00	2.09	2.22	2.37	16mを超え32m以下	3.48	3.73	3.92	4.12	4.33	4.59	4.93	32mを超え48m以下	5.19	5.60	5.92	6.25	6.56	6.95	7.49	48mを超え64m以下	6.90	7.46	7.91	8.38	8.79	9.32	10.05																																																																																															
掘 削 長 (m)	杭 径 (mm)																																																																																																																																																																																												
	$\phi 400$ 以上 $\phi 500$ 未満	$\phi 500$ 以上 $\phi 600$ 未満	$\phi 600$ 以上 $\phi 700$ 未満	$\phi 700$ 以上 $\phi 800$ 未満	$\phi 800$ 以上 $\phi 900$ 未満	$\phi 900$ 以上 $\phi 1,000$ 未満	$\phi 1,000$																																																																																																																																																																																						
16m以下	1.75	1.85	1.90	1.97	2.07	2.19	2.34																																																																																																																																																																																						
16mを超え32m以下	3.44	3.69	3.87	4.07	4.27	4.53	4.87																																																																																																																																																																																						
32mを超え48m以下	5.13	5.53	5.84	6.18	6.48	6.87	7.40																																																																																																																																																																																						
48mを超え64m以下	6.82	7.37	7.82	8.28	8.69	9.21	9.93																																																																																																																																																																																						
掘 削 長 (m)	杭 径 (mm)																																																																																																																																																																																												
	$\phi 400$ 以上 $\phi 500$ 未満	$\phi 500$ 以上 $\phi 600$ 未満	$\phi 600$ 以上 $\phi 700$ 未満	$\phi 700$ 以上 $\phi 800$ 未満	$\phi 800$ 以上 $\phi 900$ 未満	$\phi 900$ 以上 $\phi 1,000$ 未満	$\phi 1,000$																																																																																																																																																																																						
16m以下	1.77	1.87	1.93	2.00	2.09	2.22	2.37																																																																																																																																																																																						
16mを超え32m以下	3.48	3.73	3.92	4.12	4.33	4.59	4.93																																																																																																																																																																																						
32mを超え48m以下	5.19	5.60	5.92	6.25	6.56	6.95	7.49																																																																																																																																																																																						
48mを超え64m以下	6.90	7.46	7.91	8.38	8.79	9.32	10.05																																																																																																																																																																																						

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																						
鋼管・既製コンクリート杭 打工（中掘工）	<p>④ 既製コンクリート杭（打撃方式）</p> <p style="text-align: center;">表5.6 既製コンクリート杭（打撃方式）(T_a) (日/10本)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘 削 長 (m)</th> <th colspan="7">杭 径 (mm)</th> </tr> <tr> <th>φ400以上 φ500未満</th> <th>φ500以上 φ600未満</th> <th>φ600以上 φ700未満</th> <th>φ700以上 φ800未満</th> <th>φ800以上 φ900未満</th> <th>φ900以上 φ1,000未満</th> <th>φ1,000</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16m以下</td> <td>1.84</td> <td>1.88</td> <td>1.91</td> <td>1.93</td> <td>1.95</td> <td>1.97</td> <td>2.00</td> </tr> <tr> <td>16mを超え32m以下</td> <td>3.53</td> <td>3.72</td> <td>3.88</td> <td>4.03</td> <td>4.16</td> <td>4.31</td> <td>4.53</td> </tr> <tr> <td>32mを超え48m以下</td> <td>5.22</td> <td>5.56</td> <td>5.85</td> <td>6.14</td> <td>6.36</td> <td>6.65</td> <td>7.05</td> </tr> <tr> <td>48mを超え64m以下</td> <td>6.91</td> <td>7.40</td> <td>7.82</td> <td>8.24</td> <td>8.57</td> <td>8.99</td> <td>9.58</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-2 杭頭処理 杭頭処理については、「第2編4章基礎工④鋼管・既製コンクリート杭打工①-1パイルハンマ工及び①-5杭頭処理工」による。</p> <p>5-3 諸雑費 諸雑費は、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に表5.7～表5.10の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>(1) 鋼管杭（打撃方式） 中掘工（打撃打止め）による鋼管杭打込の諸雑費は、溶接棒、現場溶接にて行う杭先端加工費（労務費、材料費を含む）、鋼管吊具、吊ワイヤー、裏当てリング及びブスタッパー、銅バンド、ずれ止め、ずれ止め用ストッパー、オーガスクリュー、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、交流アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）の運転、電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無及びずれ止め、ずれ止め用ストッパーの有無にかかわらず本諸雑費率を適用出来る。</p> <p style="text-align: center;">表5.7 諸雑費率(鋼管杭) (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>継 杭 の 有 無</th> <th>諸 雑 費 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継 杭 無 し</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>継 杭 有 り</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 杭先端加工費とは、周辺摩擦低減のために杭先端内部に現場で加工する費用のことであり、杭の補強を目的とする費用は含まない。</p> <p>(2) 既製コンクリート杭（打撃方式） 中掘工（打撃打止め）による既製コンクリート杭打込の諸雑費は、溶接棒、吊ワイヤー、オーガスクリュー、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、交流アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）の運転、電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無にかかわらず本諸雑費率を適用出来る。</p> <p style="text-align: center;">表5.8 諸雑費率(既製コンクリート杭) (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>継 杭 の 有 無</th> <th>諸 雑 費 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継 杭 無 し</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>継 杭 有 り</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table>	掘 削 長 (m)	杭 径 (mm)							φ400以上 φ500未満	φ500以上 φ600未満	φ600以上 φ700未満	φ700以上 φ800未満	φ800以上 φ900未満	φ900以上 φ1,000未満	φ1,000	16m以下	1.84	1.88	1.91	1.93	1.95	1.97	2.00	16mを超え32m以下	3.53	3.72	3.88	4.03	4.16	4.31	4.53	32mを超え48m以下	5.22	5.56	5.85	6.14	6.36	6.65	7.05	48mを超え64m以下	6.91	7.40	7.82	8.24	8.57	8.99	9.58	継 杭 の 有 無	諸 雑 費 率	継 杭 無 し	27	継 杭 有 り	27	継 杭 の 有 無	諸 雑 費 率	継 杭 無 し	9	継 杭 有 り	22	<p>④ 既製コンクリート杭（打撃方式）</p> <p style="text-align: center;">表5.6 既製コンクリート杭（打撃方式）(T_a) (日/10本)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘 削 長 (m)</th> <th colspan="7">杭 径 (mm)</th> </tr> <tr> <th>φ400以上 φ500未満</th> <th>φ500以上 φ600未満</th> <th>φ600以上 φ700未満</th> <th>φ700以上 φ800未満</th> <th>φ800以上 φ900未満</th> <th>φ900以上 φ1,000未満</th> <th>φ1,000</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16m以下</td> <td>1.86</td> <td>1.91</td> <td>1.93</td> <td>1.95</td> <td>1.97</td> <td>2.00</td> <td>2.02</td> </tr> <tr> <td>16mを超え32m以下</td> <td>3.57</td> <td>3.77</td> <td>3.92</td> <td>4.08</td> <td>4.21</td> <td>4.37</td> <td>4.58</td> </tr> <tr> <td>32mを超え48m以下</td> <td>5.28</td> <td>5.63</td> <td>5.92</td> <td>6.21</td> <td>6.44</td> <td>6.73</td> <td>7.14</td> </tr> <tr> <td>48mを超え64m以下</td> <td>6.99</td> <td>7.49</td> <td>7.91</td> <td>8.34</td> <td>8.68</td> <td>9.10</td> <td>9.70</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-2 杭頭処理 杭頭処理については、「第2編4章基礎工④鋼管・既製コンクリート杭打工①-1パイルハンマ工及び①-5杭頭処理工」により別途計上する。</p> <p>5-3 諸雑費 諸雑費は、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に表5.7～表5.10の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>(1) 鋼管杭（打撃方式） 中掘工（打撃打止め）による鋼管杭打込の諸雑費は、溶接ワイヤ、鋼管吊具、吊ワイヤー、裏当てリング及びブスタッパー、銅バンド、ずれ止め、ずれ止め用ストッパー、オーガスクリュー、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、半自動アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）の運転、電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無及びずれ止め、ずれ止め用ストッパーの有無にかかわらず本諸雑費率を適用出来る。</p> <p style="text-align: center;">表5.7 諸雑費率(鋼管杭) (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>継 杭 の 有 無</th> <th>諸 雑 費 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継 杭 無 し</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>継 杭 有 り</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 既製コンクリート杭（打撃方式） 中掘工（打撃打止め）による既製コンクリート杭打込の諸雑費は、溶接ワイヤ、吊ワイヤー、オーガスクリュー、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、半自動アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）の運転、電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無にかかわらず本諸雑費率を適用出来る。</p> <p style="text-align: center;">表5.8 諸雑費率(既製コンクリート杭) (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>継 杭 の 有 無</th> <th>諸 雑 費 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継 杭 無 し</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>継 杭 有 り</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table>	掘 削 長 (m)	杭 径 (mm)							φ400以上 φ500未満	φ500以上 φ600未満	φ600以上 φ700未満	φ700以上 φ800未満	φ800以上 φ900未満	φ900以上 φ1,000未満	φ1,000	16m以下	1.86	1.91	1.93	1.95	1.97	2.00	2.02	16mを超え32m以下	3.57	3.77	3.92	4.08	4.21	4.37	4.58	32mを超え48m以下	5.28	5.63	5.92	6.21	6.44	6.73	7.14	48mを超え64m以下	6.99	7.49	7.91	8.34	8.68	9.10	9.70	継 杭 の 有 無	諸 雑 費 率	継 杭 無 し	32	継 杭 有 り	37	継 杭 の 有 無	諸 雑 費 率	継 杭 無 し	24	継 杭 有 り	28	
	掘 削 長 (m)		杭 径 (mm)																																																																																																																						
φ400以上 φ500未満		φ500以上 φ600未満	φ600以上 φ700未満	φ700以上 φ800未満	φ800以上 φ900未満	φ900以上 φ1,000未満	φ1,000																																																																																																																		
16m以下	1.84	1.88	1.91	1.93	1.95	1.97	2.00																																																																																																																		
16mを超え32m以下	3.53	3.72	3.88	4.03	4.16	4.31	4.53																																																																																																																		
32mを超え48m以下	5.22	5.56	5.85	6.14	6.36	6.65	7.05																																																																																																																		
48mを超え64m以下	6.91	7.40	7.82	8.24	8.57	8.99	9.58																																																																																																																		
継 杭 の 有 無	諸 雑 費 率																																																																																																																								
継 杭 無 し	27																																																																																																																								
継 杭 有 り	27																																																																																																																								
継 杭 の 有 無	諸 雑 費 率																																																																																																																								
継 杭 無 し	9																																																																																																																								
継 杭 有 り	22																																																																																																																								
掘 削 長 (m)	杭 径 (mm)																																																																																																																								
	φ400以上 φ500未満	φ500以上 φ600未満	φ600以上 φ700未満	φ700以上 φ800未満	φ800以上 φ900未満	φ900以上 φ1,000未満	φ1,000																																																																																																																		
16m以下	1.86	1.91	1.93	1.95	1.97	2.00	2.02																																																																																																																		
16mを超え32m以下	3.57	3.77	3.92	4.08	4.21	4.37	4.58																																																																																																																		
32mを超え48m以下	5.28	5.63	5.92	6.21	6.44	6.73	7.14																																																																																																																		
48mを超え64m以下	6.99	7.49	7.91	8.34	8.68	9.10	9.70																																																																																																																		
継 杭 の 有 無	諸 雑 費 率																																																																																																																								
継 杭 無 し	32																																																																																																																								
継 杭 有 り	37																																																																																																																								
継 杭 の 有 無	諸 雑 費 率																																																																																																																								
継 杭 無 し	24																																																																																																																								
継 杭 有 り	28																																																																																																																								

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																								
鋼管・既製コンクリート杭打工（中掘工）	<p>(3) 鋼管杭（グラウト方式）</p> <p>中掘工（グラウト注入）による鋼管杭打込の諸雑費は、グラウト材（セメントミルク）、溶接棒、現場溶接にて行う杭先端加工費（労務費、材料費を含む）、鋼管吊具、吊ワイヤー、裏当てリング及びびSTOPパー、銅バンド、ずれ止め、ずれ止め用STOPパー、オーガスクリュー、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、交流アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）、モルタルプラント運転及び電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無及びずれ止め、ずれ止め用STOPパーの有無にかかわらず本諸雑費率を適用出来る。</p> <p style="text-align: center;">表5.9 諸雑費率(鋼管杭) (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>継杭の有無</th> <th>諸雑費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継杭無し</td> <td style="text-align: center;">51</td> </tr> <tr> <td>継杭有り</td> <td style="text-align: center;">36</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 拡大根固め工法も上表の率を適用する。 2. 杭先端加工費とは、周辺摩擦低減のために杭先端内部に現場で加工する費用のことであり、杭の補強を目的とする費用は含まない。</p> <p>(4) 既製コンクリート杭（グラウト方式）</p> <p>中掘工（グラウト注入）による既製コンクリート杭打込の諸雑費は、グラウト材（セメントミルク）、溶接棒、吊ワイヤー、オーガスクリュー、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、交流アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）、モルタルプラント運転及び電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無にかかわらず本諸雑費率を適用出来る。</p> <p style="text-align: center;">表5.10 諸雑費率(既製コンクリート杭) (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>継杭の有無</th> <th>諸雑費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継杭無し</td> <td style="text-align: center;">35</td> </tr> <tr> <td>継杭有り</td> <td style="text-align: center;">31</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 拡大根固め工法も上表の率を適用する。</p>	継杭の有無	諸雑費率	継杭無し	51	継杭有り	36	継杭の有無	諸雑費率	継杭無し	35	継杭有り	31	<p>(3) 鋼管杭（グラウト方式）</p> <p>中掘工（グラウト注入）による鋼管杭打込の諸雑費は、グラウト材（セメントミルク）、溶接ワイヤ、鋼管吊具、吊ワイヤー、裏当てリング及びびSTOPパー、銅バンド、ずれ止め、ずれ止め用STOPパー、オーガスクリュー、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、半自動アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）、モルタルプラント運転及び電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無及びずれ止め、ずれ止め用STOPパーの有無にかかわらず本諸雑費率を適用出来る。</p> <p style="text-align: center;">表5.9 諸雑費率(鋼管杭) (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>継杭の有無</th> <th>諸雑費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継杭無し</td> <td style="text-align: center;">58</td> </tr> <tr> <td>継杭有り</td> <td style="text-align: center;">48</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 拡大根固め工法も上表の率を適用する。</p> <p>(4) 既製コンクリート杭（グラウト方式）</p> <p>中掘工（グラウト注入）による既製コンクリート杭打込の諸雑費は、グラウト材（セメントミルク）、溶接ワイヤ、吊ワイヤー、オーガスクリュー、オーガヘッド、ヤットコ、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、半自動アーク溶接機損料、空気圧縮機（排出ガス対策型）、モルタルプラント運転及び電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無にかかわらず本諸雑費率を適用出来る。</p> <p style="text-align: center;">表5.10 諸雑費率(既製コンクリート杭) (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>継杭の有無</th> <th>諸雑費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継杭無し</td> <td style="text-align: center;">52</td> </tr> <tr> <td>継杭有り</td> <td style="text-align: center;">40</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 拡大根固め工法も上表の率を適用する。</p>	継杭の有無	諸雑費率	継杭無し	58	継杭有り	48	継杭の有無	諸雑費率	継杭無し	52	継杭有り	40	
継杭の有無	諸雑費率																										
継杭無し	51																										
継杭有り	36																										
継杭の有無	諸雑費率																										
継杭無し	35																										
継杭有り	31																										
継杭の有無	諸雑費率																										
継杭無し	58																										
継杭有り	48																										
継杭の有無	諸雑費率																										
継杭無し	52																										
継杭有り	40																										

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																																																																																						
鋼管・既製コンクリート杭打工（中掘工）	<p>6. 単 価 表</p> <p>(1) 中掘工（打撃止め）による鋼管・既製コンクリート杭打込10本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>T_d×1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_d×1</td> <td>表4.1 必要に応じて計上する</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_d×1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_d×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>杭</td> <td></td> <td>本</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラ式アースオーガ</td> <td>アースオーガ中掘機運転</td> <td>日</td> <td>T_d</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチェンジ型・ 排出ガス対策型（第〇次基準値） 〇〇t吊</td> <td>〃</td> <td>T_d</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>バックホウ （クローラ型）運転</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.45m³（平積0.35m³）</td> <td>〃</td> <td>T_d</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.7、表5.8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) T_d：杭10本当り施工日数（日/10本）</p> <p>(2) 中掘工（グラウト注入）による鋼管・既製コンクリート杭打込10本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>T_d×1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_d×1</td> <td>表4.1 必要に応じて計上する</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_d×1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_d×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_d×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>杭</td> <td></td> <td>本</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラ式アースオーガ アースオーガ中掘機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>T_d</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチェンジ型・ 排出ガス対策型（第〇次基準値） 〇〇t吊</td> <td>〃</td> <td>T_d</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>バックホウ （クローラ型）運転</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.45m³（平積0.35m³）</td> <td>〃</td> <td>T_d</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.9、表5.10</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) T_d：杭10本当り施工日数（日/10本）</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	T _d ×1	表4.1	溶接工		〃	T _d ×1	表4.1 必要に応じて計上する	とび工		〃	T _d ×1	表4.1	普通作業員		〃	T _d ×1	〃	杭		本	10		クローラ式アースオーガ	アースオーガ中掘機運転	日	T _d	表3.1 機械損料	クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ ラチェンジ型・ 排出ガス対策型（第〇次基準値） 〇〇t吊	〃	T _d	表3.1 機械損料	バックホウ （クローラ型）運転	標準型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	〃	T _d	表3.1 機械損料	諸 雑 費		式	1	表5.7、表5.8	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	T _d ×1	表4.1	溶接工		〃	T _d ×1	表4.1 必要に応じて計上する	特殊作業員		〃	T _d ×1	表4.1	とび工		〃	T _d ×1	〃	普通作業員		〃	T _d ×1	〃	杭		本	10		クローラ式アースオーガ アースオーガ中掘機運転		日	T _d	表3.1 機械損料	クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ ラチェンジ型・ 排出ガス対策型（第〇次基準値） 〇〇t吊	〃	T _d	表3.1 機械損料	バックホウ （クローラ型）運転	標準型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	〃	T _d	表3.1 機械損料	諸 雑 費		式	1	表5.9、表5.10	計					<p>6. 単 価 表</p> <p>(1) 中掘工（打撃止め）による鋼管・既製コンクリート杭打込10本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>T_d×1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_d×1</td> <td>表4.1 必要に応じて計上する</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_d×1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_d×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>杭</td> <td></td> <td>本</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラ式アースオーガ アースオーガ中掘機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>T_d</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチェンジ型・ 排出ガス対策型（第〇次基準値） 〇〇t吊</td> <td>〃</td> <td>T_d</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>バックホウ （クローラ型）運転</td> <td>標準型・超低騒音型 排出ガス対策型（2014年規制） 山積0.5 m³（平積0.4 m³）</td> <td>〃</td> <td>T_d</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.7、表5.8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) T_d：杭10本当り施工日数（日/10本）</p> <p>(2) 中掘工（グラウト注入）による鋼管・既製コンクリート杭打込10本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>T_d×1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_d×1</td> <td>表4.1 必要に応じて計上する</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_d×1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_d×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>T_d×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>杭</td> <td></td> <td>本</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラ式アースオーガ アースオーガ中掘機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>T_d</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチェンジ型・ 排出ガス対策型（第〇次基準値） 〇〇t吊</td> <td>〃</td> <td>T_d</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>バックホウ （クローラ型）運転</td> <td>標準型・超低騒音型 排出ガス対策型（2014年規制） 山積0.5 m³（平積0.4 m³）</td> <td>〃</td> <td>T_d</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.9、表5.10</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) T_d：杭10本当り施工日数（日/10本）</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	T _d ×1	表4.1	溶接工		〃	T _d ×1	表4.1 必要に応じて計上する	とび工		〃	T _d ×1	表4.1	普通作業員		〃	T _d ×1	〃	杭		本	10		クローラ式アースオーガ アースオーガ中掘機運転		日	T _d	表3.1 機械損料	クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ ラチェンジ型・ 排出ガス対策型（第〇次基準値） 〇〇t吊	〃	T _d	表3.1 機械損料	バックホウ （クローラ型）運転	標準型・ 超低騒音型 排出ガス対策型（2014年規制） 山積0.5 m ³ （平積0.4 m ³ ）	〃	T _d	表3.1 機械損料	諸 雑 費		式	1	表5.7、表5.8	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	T _d ×1	表4.1	溶接工		〃	T _d ×1	表4.1 必要に応じて計上する	特殊作業員		〃	T _d ×1	表4.1	とび工		〃	T _d ×1	〃	普通作業員		〃	T _d ×1	〃	杭		本	10		クローラ式アースオーガ アースオーガ中掘機運転		日	T _d	表3.1 機械損料	クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ ラチェンジ型・ 排出ガス対策型（第〇次基準値） 〇〇t吊	〃	T _d	表3.1 機械損料	バックホウ （クローラ型）運転	標準型・ 超低騒音型 排出ガス対策型（2014年規制） 山積0.5 m ³ （平積0.4 m ³ ）	〃	T _d	表3.1 機械損料	諸 雑 費		式	1	表5.9、表5.10	計					
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																				
土木一般世話役		人	T _d ×1	表4.1																																																																																																																																																																																																																																					
溶接工		〃	T _d ×1	表4.1 必要に応じて計上する																																																																																																																																																																																																																																					
とび工		〃	T _d ×1	表4.1																																																																																																																																																																																																																																					
普通作業員		〃	T _d ×1	〃																																																																																																																																																																																																																																					
杭		本	10																																																																																																																																																																																																																																						
クローラ式アースオーガ	アースオーガ中掘機運転	日	T _d	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ ラチェンジ型・ 排出ガス対策型（第〇次基準値） 〇〇t吊	〃	T _d	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
バックホウ （クローラ型）運転	標準型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	〃	T _d	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1	表5.7、表5.8																																																																																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																					
土木一般世話役		人	T _d ×1	表4.1																																																																																																																																																																																																																																					
溶接工		〃	T _d ×1	表4.1 必要に応じて計上する																																																																																																																																																																																																																																					
特殊作業員		〃	T _d ×1	表4.1																																																																																																																																																																																																																																					
とび工		〃	T _d ×1	〃																																																																																																																																																																																																																																					
普通作業員		〃	T _d ×1	〃																																																																																																																																																																																																																																					
杭		本	10																																																																																																																																																																																																																																						
クローラ式アースオーガ アースオーガ中掘機運転		日	T _d	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ ラチェンジ型・ 排出ガス対策型（第〇次基準値） 〇〇t吊	〃	T _d	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
バックホウ （クローラ型）運転	標準型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	〃	T _d	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1	表5.9、表5.10																																																																																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																					
土木一般世話役		人	T _d ×1	表4.1																																																																																																																																																																																																																																					
溶接工		〃	T _d ×1	表4.1 必要に応じて計上する																																																																																																																																																																																																																																					
とび工		〃	T _d ×1	表4.1																																																																																																																																																																																																																																					
普通作業員		〃	T _d ×1	〃																																																																																																																																																																																																																																					
杭		本	10																																																																																																																																																																																																																																						
クローラ式アースオーガ アースオーガ中掘機運転		日	T _d	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ ラチェンジ型・ 排出ガス対策型（第〇次基準値） 〇〇t吊	〃	T _d	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
バックホウ （クローラ型）運転	標準型・ 超低騒音型 排出ガス対策型（2014年規制） 山積0.5 m ³ （平積0.4 m ³ ）	〃	T _d	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1	表5.7、表5.8																																																																																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																					
土木一般世話役		人	T _d ×1	表4.1																																																																																																																																																																																																																																					
溶接工		〃	T _d ×1	表4.1 必要に応じて計上する																																																																																																																																																																																																																																					
特殊作業員		〃	T _d ×1	表4.1																																																																																																																																																																																																																																					
とび工		〃	T _d ×1	〃																																																																																																																																																																																																																																					
普通作業員		〃	T _d ×1	〃																																																																																																																																																																																																																																					
杭		本	10																																																																																																																																																																																																																																						
クローラ式アースオーガ アースオーガ中掘機運転		日	T _d	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ ラチェンジ型・ 排出ガス対策型（第〇次基準値） 〇〇t吊	〃	T _d	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
バックホウ （クローラ型）運転	標準型・ 超低騒音型 排出ガス対策型（2014年規制） 山積0.5 m ³ （平積0.4 m ³ ）	〃	T _d	表3.1 機械損料																																																																																																																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1	表5.9、表5.10																																																																																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																																																																																									

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用	
鋼管・既製コンクリート杭打工（中掘工）	(3) 機械運転単価表			
	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
	クローラ式アースオーガ	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力55kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→64 機械損料数量→1.50
		アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力90kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→81 機械損料数量→1.50
	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 50～55t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→51 機械損料数量→1.45
油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 80t吊		機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→66 機械損料数量→1.45	
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	標準型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→37 機械損料数量→1.50	
(3) 機械運転単価表				
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	
クローラ式アースオーガ	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力55kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 57 機械損料数量→ 1.46	
	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力90kW 公称杭径φ400～1,200mm リーダ長21～33m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 69 機械損料数量→ 1.46	
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 50～55t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 56 機械損料数量→ 1.46	
	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 80t吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 82 機械損料数量→ 1.46	
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	標準型・ 超低騒音型 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.5 m ³ (平積0.4 m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 45 機械損料数量→ 1.52	

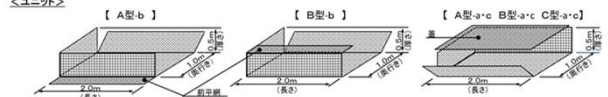
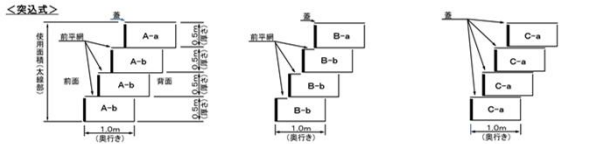
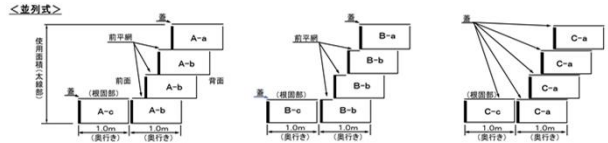
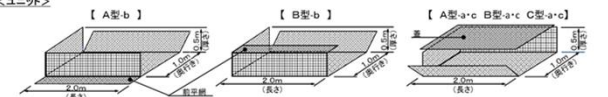
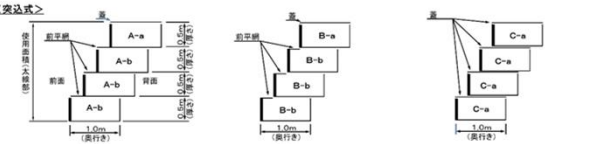
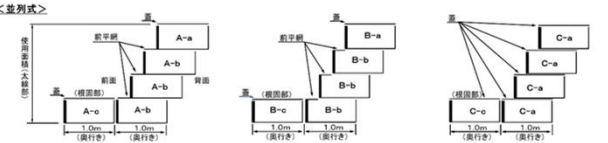
土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用										
泥水運搬工		<p>⑥ 泥水運搬工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、地盤改良及び基礎工事等の施工に伴い発生する泥水及び汚泥（以下泥水とする）を、側溝清掃車を使用して運搬する場合に適用する。 泥水運搬には吸入管設置、吸入、吸入管撤去、運搬、排出、現場に戻る作業を含む。D1D区間の有無に関係なく適用出来る。吸入管の設置または撤去が50m以上の場合は適用範囲外とする。なお、泥水処理が必要な場合は、泥水処理費を別途計上する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR A[泥水発生] --> B[吸入] B --> C[運搬] C --> D[排出] D -- 繰り返し --> B </pre> </div> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>3. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.1 機種の選定</caption> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>側溝清掃車</td> <td>ブロワ式 ホッパ容量9.0m³ 風量40m³/min</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 編成人員 泥水運搬工の編成人員は次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表4.1 日当り編成人員 (人/日)</caption> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適 要	側溝清掃車	ブロワ式 ホッパ容量9.0m ³ 風量40m ³ /min		名 称	数 量	普通作業員	1	○表3.1訂正
機 械 名	規 格	適 要											
側溝清掃車	ブロワ式 ホッパ容量9.0m ³ 風量40m ³ /min												
名 称	数 量												
普通作業員	1												

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																																					
泥水運搬工		<p>5. 日当り運搬量</p> <p style="font-size: small;">泥水運搬工における日当り運搬量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">表5.1 日当り運搬量 (m³/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">運搬距離</th> <th style="width: 30%;">数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>7.0 km以下</td><td>10.8</td></tr> <tr><td>7.0km超え14 km以下</td><td>9.6</td></tr> <tr><td>14 km超え22 km以下</td><td>8.6</td></tr> <tr><td>22 km超え31 km以下</td><td>7.7</td></tr> <tr><td>31 km超え41 km以下</td><td>6.9</td></tr> <tr><td>41 km超え51 km以下</td><td>6.2</td></tr> <tr><td>51 km超え63 km以下</td><td>5.6</td></tr> <tr><td>63 km超え77 km以下</td><td>5.0</td></tr> <tr><td>77 km超え80 km以下</td><td>4.7</td></tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">(注) 1. 運搬距離は排出先までの片道距離であり、現場に戻る復路の距離が異なる際は平均値とする。 2. D1D区間の有無に関係なく適用出来る。 3. 有料道路を利用する場合は、利用料金を別途計上する。 4. 運搬距離が、80 kmを超える場合は、別途考慮する。</p> <p>6. 単 価 表</p> <p>(1) 側溝清掃車運搬 100 m当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表4.1, 表5.1</td> </tr> <tr> <td>側 溝 清 掃 車 運 転</td> <td>ブロワ式 ホッパ容量 9.0m³ 風量40m³/min</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表5.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">(注) D: 日当り運搬量</p> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">機 械 名</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 20%;">適用単価表</th> <th style="width: 30%;">指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>側 溝 清 掃 車</td> <td>ブロワ式 ホッパ容 量9.0 m³ 風量40 m³ /min</td> <td>機-19</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量 →84 機械損料数量→1.00</td> </tr> </tbody> </table>	運搬距離	数量	7.0 km以下	10.8	7.0km超え14 km以下	9.6	14 km超え22 km以下	8.6	22 km超え31 km以下	7.7	31 km超え41 km以下	6.9	41 km超え51 km以下	6.2	51 km超え63 km以下	5.6	63 km超え77 km以下	5.0	77 km超え80 km以下	4.7	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員		人	1×100/D	表4.1, 表5.1	側 溝 清 掃 車 運 転	ブロワ式 ホッパ容量 9.0m ³ 風量40m ³ /min	日	100/D	表5.1 機械損料	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	側 溝 清 掃 車	ブロワ式 ホッパ容 量9.0 m ³ 風量40 m ³ /min	機-19	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →84 機械損料数量→1.00	<p>○表5.1訂正</p> <p>○単価表訂正</p> <p>○単価表訂正</p>
運搬距離	数量																																																							
7.0 km以下	10.8																																																							
7.0km超え14 km以下	9.6																																																							
14 km超え22 km以下	8.6																																																							
22 km超え31 km以下	7.7																																																							
31 km超え41 km以下	6.9																																																							
41 km超え51 km以下	6.2																																																							
51 km超え63 km以下	5.6																																																							
63 km超え77 km以下	5.0																																																							
77 km超え80 km以下	4.7																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																				
普 通 作 業 員		人	1×100/D	表4.1, 表5.1																																																				
側 溝 清 掃 車 運 転	ブロワ式 ホッパ容量 9.0m ³ 風量40m ³ /min	日	100/D	表5.1 機械損料																																																				
諸 雑 費		式	1																																																					
計																																																								
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																					
側 溝 清 掃 車	ブロワ式 ホッパ容 量9.0 m ³ 風量40 m ³ /min	機-19	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →84 機械損料数量→1.00																																																					

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用
かごマット工 (多段積型)	<p>⑫ かごマット工</p> <p>⑫-2 かごマット工(多段積型)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、護岸等への鉄線かごを使用した、かごマット(多段積型)の施工に適用する。かごマット(長期性能型)は「鉄線籠型護岸の設計・施工技术基準(案)」による。 なお、曲線部での施工にも適用することが出来る。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 中耕用石材が、栗石、割栗石、玉石等で、石径が概ね5~20cm (2) 勾配が1:1以下 (3) かご厚さ50cm・長さ2m・奥行1mの「突込式」及び「並列式」の多段積型の施工 (4) かごタイプがA型、B型、C型 (5) 基礎面からの直高(設置高)が5m以下</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 「第5編8章河川維持⑩-1かごマット工(スロープ型)」の場合 (2) 石を詰めたマットの水中等への吊込・設置 (3) 自動車荷重の影響を受ける場合(兼用道路等)(鉄線籠型護岸の設計・施工技术基準(案)) (4) 補強材不要の省力化かごマットを使用する場合</p> <p><ユニット>  </p> <p><突込式>  </p> <p><並列式>  </p> <p style="text-align: center;">(注) かごマットの使用面積は、太線部とする。</p> <p style="text-align: center;">図1-1 かごマット工(多段積型)の区分(突込式・並列式)及び使用面積</p>	<p>⑫ かごマット工</p> <p>⑫-2 かごマット工(多段積型)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、護岸等への鉄線かごを使用した、かごマット(多段積型)の施工に適用する。かごマットは「鉄線籠型護岸の設計・施工技术基準(案)」による。 なお、曲線部での施工にも適用することが出来る。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 中耕用石材が、栗石、割栗石、玉石等で、石径が概ね5~20cm (2) 勾配が1:1以下 (3) かご厚さ50cm・長さ2m・奥行1mの「突込式」及び「並列式」の多段積型の施工 (4) かごタイプがA型、B型、C型 (5) 基礎面からの直高(設置高)が5m以下</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 「第5編8章河川維持⑩-1かごマット工(スロープ型)」の場合 (2) 石を詰めたマットの水中等への吊込・設置 (3) 自動車荷重の影響を受ける場合(兼用道路等)(鉄線籠型護岸の設計・施工技术基準(案)) (4) 補強材不要の省力化かごマットを使用する場合</p> <p><ユニット>  </p> <p><突込式>  </p> <p><並列式>  </p> <p style="text-align: center;">(注) かごマットの使用面積は、太線部とする。</p> <p style="text-align: center;">図1-1 かごマット工(多段積型)の区分(突込式・並列式)及び使用面積</p>	

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																				
かごマット工 (多段積型)	<p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分である。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 機種 の 選 定</p> <table border="1" data-bbox="504 734 1064 813"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ(クローラ型)</td> <td>標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.45m²(平積0.35m²) 吊能力2.9t</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. バックホウ(クローラ型)は、賃料とする。 2. 現場条件により、上表により難しい場合は別途考慮する。</p> <p>4. 施 工 歩 掛 かごマット工(多段積型)の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表4.1 かごマット工(多段積型)施工歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="481 949 1097 1141"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>7.4</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転</td> <td>標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.45m²(平積0.35m²) 吊能力2.9t</td> <td>日</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表には、かごマット組立・据付、詰石、吸出し防止材設置、補強材設置・撤去、法面整形・床拵えの他、蓋設置を含む。法面整形・床拵えの有無にかかわらず適用出来る。 2. バックホウ(クローラ型)運転には、運搬距離100m程度の現場内小運搬作業を含む。 3. 中詰用石材の石径は5~20cmを標準とする。吸出し防止材は厚さ10mmを標準とする。 なお、これによらない場合も上表は適用出来る。 4. 諸雑費は、補強材料(単管パイプ、合板等)の損料、工具類等の費用であり、労務費、機械賃料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ(クローラ型)	標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.45m ² (平積0.35m ²) 吊能力2.9t	台	1		名 称	規 格	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役		人	2.8	特 殊 作 業 員		〃	3.2	普 通 作 業 員		〃	7.4	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.45m ² (平積0.35m ²) 吊能力2.9t	日	8.0	諸 雑 費 率		%	1	<p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分である。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 機種 の 選 定</p> <table border="1" data-bbox="1202 734 1762 813"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ(クローラ型)</td> <td>標準型・超低騒音型 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m²(平積0.6m²)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. バックホウ(クローラ型)は、賃料とする。 2. 現場条件により、上表により難しい場合は別途考慮する。</p> <p>4. 施 工 歩 掛 かごマット工(多段積型)の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表4.1 かごマット工(多段積型)施工歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="1180 949 1796 1141"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>6.6</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転</td> <td>標準型・超低騒音型 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m²(平積0.6m²)</td> <td>日</td> <td>7.7</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表には、かごマット組立・据付、詰石、吸出し防止材設置、補強材設置・撤去、法面整形・床拵えの他、蓋設置、運搬距離50m程度の現場内小運搬作業を含む。法面整形・床拵えの有無にかかわらず適用出来る。 2. 中詰用石材の石径は5~20cmを標準とする。吸出し防止材は厚さ10mmを標準とする。 なお、これによらない場合も上表は適用出来る。 3. 諸雑費は、補強材料(単管パイプ、合板等)の損料、工具類等の費用であり、労務費、機械賃料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ(クローラ型)	標準型・超低騒音型 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m ² (平積0.6m ²)	台	1		名 称	規 格	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役		人	2.2	特 殊 作 業 員		〃	3.2	普 通 作 業 員		〃	6.6	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	標準型・超低騒音型 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m ² (平積0.6m ²)	日	7.7	諸 雑 費 率		%	1	
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																			
バックホウ(クローラ型)	標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.45m ² (平積0.35m ²) 吊能力2.9t	台	1																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																				
土 木 一 般 世 話 役		人	2.8																																																																				
特 殊 作 業 員		〃	3.2																																																																				
普 通 作 業 員		〃	7.4																																																																				
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.45m ² (平積0.35m ²) 吊能力2.9t	日	8.0																																																																				
諸 雑 費 率		%	1																																																																				
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																			
バックホウ(クローラ型)	標準型・超低騒音型 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m ² (平積0.6m ²)	台	1																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																				
土 木 一 般 世 話 役		人	2.2																																																																				
特 殊 作 業 員		〃	3.2																																																																				
普 通 作 業 員		〃	6.6																																																																				
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型) 運 転	標準型・超低騒音型 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m ² (平積0.6m ²)	日	7.7																																																																				
諸 雑 費 率		%	1																																																																				

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																
かごマット工 (多段積型)	<p>5. 材料使用数量</p> <p>中詰用石材, 吸出し防止材の使用数量は, 次式による。 中詰用石材の使用数量(m³)=設計数量(m³)×(1+K) ……式5. 1 K: ロス率</p> <p>設計数量は, かごマット容積の90%を標準とする。 なお, これにより難い場合は別途考慮する。</p> <p>吸出し防止材の使用数量(m²)=設計数量(m²)×(1+K) ……式5. 2 K: ロス率</p> <p style="text-align: center;">表5. 1 ロス率(K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>材 料 名</th> <th>中 詰 用 石 材</th> <th>吸 出 し 防 止 材</th> </tr> <tr> <td>ロ ス 率</td> <td style="text-align: center;">+0.09</td> <td style="text-align: center;">+0.16</td> </tr> </table> <p>(注) 中詰用石材のロス率は石径が5~20cmの場合であり, 他の石径の場合は別途考慮する。</p> <p>6. 単 価 表</p> <p>(1) かごマット工(多段積型) 100m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">かごマット (多段積型)</td> <td>最上部 [A-a, B-a, C-a]</td> <td>m</td> <td>$200 \times \left(\frac{1}{n+c} \right)$</td> <td>n: 積段数 (○-a, ○-b)</td> </tr> <tr> <td>一般部 [A-b, B-b, C-a]</td> <td>〃</td> <td>$200 \times \left(\frac{n-1}{n+c} \right)$</td> <td>c: 根固め段数 (○-c)</td> </tr> <tr> <td>根固め部 [A-c, B-c, C-c]</td> <td>〃</td> <td>$200 \times \left(\frac{c}{n+c} \right)$</td> <td>(): かごタイプ</td> </tr> <tr> <td>中詰用石材</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>式5.1, 表5.1</td> </tr> <tr> <td>吸出し防止材</td> <td>t=10mm</td> <td>m²</td> <td></td> <td>式5.2, 表5.1</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)運転</td> <td>標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.45m³(平積0.35m³)吊 能力2.9t</td> <td>日</td> <td></td> <td>表4.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) かごマット(多段積型)において最上部, 根固め部の数量は小数第2位を四捨五入し, 第1位とする。 なお, 一般部の数量は200mから最上部, 根固め部の数量を差し引いた値とする。</p> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.45m³(平積0.35m³)吊能力2.9t</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 29 機械賃料数量 → 1.20</td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	中 詰 用 石 材	吸 出 し 防 止 材	ロ ス 率	+0.09	+0.16	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表4.1	特殊作業員		〃		〃	普通作業員		〃		〃	かごマット (多段積型)	最上部 [A-a, B-a, C-a]	m	$200 \times \left(\frac{1}{n+c} \right)$	n: 積段数 (○-a, ○-b)	一般部 [A-b, B-b, C-a]	〃	$200 \times \left(\frac{n-1}{n+c} \right)$	c: 根固め段数 (○-c)	根固め部 [A-c, B-c, C-c]	〃	$200 \times \left(\frac{c}{n+c} \right)$	(): かごタイプ	中詰用石材		m ³		式5.1, 表5.1	吸出し防止材	t=10mm	m ²		式5.2, 表5.1	バックホウ (クローラ型)運転	標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)吊 能力2.9t	日		表4.1 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表4.1	計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)吊能力2.9t	機-28	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 29 機械賃料数量 → 1.20	<p>5. 材料使用数量</p> <p>中詰用石材, 吸出し防止材の使用数量は, 次式による。 中詰用石材の使用数量(m³)=設計数量(m³)×(1+K) ……式5. 1 K: ロス率</p> <p>設計数量は, かごマット容積の90%を標準とする。 なお, これにより難い場合は別途考慮する。</p> <p>吸出し防止材の使用数量(m²)=設計数量(m²)×(1+K) ……式5. 2 K: ロス率</p> <p style="text-align: center;">表5. 1 ロス率(K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>材 料 名</th> <th>中 詰 用 石 材</th> <th>吸 出 し 防 止 材</th> </tr> <tr> <td>ロ ス 率</td> <td style="text-align: center;">+0.10</td> <td style="text-align: center;">+0.16</td> </tr> </table> <p>(注) 中詰用石材のロス率は石径が5~20cmの場合であり, 他の石径の場合は別途考慮する。</p> <p>6. 単 価 表</p> <p>(1) かごマット工(多段積型) 100m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">かごマット (多段積型)</td> <td>最上部 [A-a, B-a, C-a]</td> <td>m</td> <td>$200 \times \left(\frac{1}{n+c} \right)$</td> <td>n: 積段数 (○-a, ○-b)</td> </tr> <tr> <td>一般部 [A-b, B-b, C-a]</td> <td>〃</td> <td>$200 \times \left(\frac{n-1}{n+c} \right)$</td> <td>c: 根固め段数 (○-c)</td> </tr> <tr> <td>根固め部 [A-c, B-c, C-c]</td> <td>〃</td> <td>$200 \times \left(\frac{c}{n+c} \right)$</td> <td>(): かごタイプ</td> </tr> <tr> <td>中詰用石材</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>式5.1, 表5.1</td> </tr> <tr> <td>吸出し防止材</td> <td>t=10mm</td> <td>m²</td> <td></td> <td>式5.2, 表5.1</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)運転</td> <td>標準型・超低音型 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td></td> <td>表4.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) かごマット(多段積型)において最上部, 根固め部の数量は小数第2位を四捨五入し, 第1位とする。 なお, 一般部の数量は200mから最上部, 根固め部の数量を差し引いた値とする。</p> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・超低音型 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 63 機械賃料数量 → 1.24</td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	中 詰 用 石 材	吸 出 し 防 止 材	ロ ス 率	+0.10	+0.16	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表4.1	特殊作業員		〃		〃	普通作業員		〃		〃	かごマット (多段積型)	最上部 [A-a, B-a, C-a]	m	$200 \times \left(\frac{1}{n+c} \right)$	n: 積段数 (○-a, ○-b)	一般部 [A-b, B-b, C-a]	〃	$200 \times \left(\frac{n-1}{n+c} \right)$	c: 根固め段数 (○-c)	根固め部 [A-c, B-c, C-c]	〃	$200 \times \left(\frac{c}{n+c} \right)$	(): かごタイプ	中詰用石材		m ³		式5.1, 表5.1	吸出し防止材	t=10mm	m ²		式5.2, 表5.1	バックホウ (クローラ型)運転	標準型・超低音型 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日		表4.1 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表4.1	計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	バックホウ (クローラ型)	標準型・超低音型 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-28	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 63 機械賃料数量 → 1.24	
	材 料 名	中 詰 用 石 材	吸 出 し 防 止 材																																																																																																																																																
ロ ス 率	+0.09	+0.16																																																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																															
土木一般世話役		人		表4.1																																																																																																																																															
特殊作業員		〃		〃																																																																																																																																															
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																															
かごマット (多段積型)	最上部 [A-a, B-a, C-a]	m	$200 \times \left(\frac{1}{n+c} \right)$	n: 積段数 (○-a, ○-b)																																																																																																																																															
	一般部 [A-b, B-b, C-a]	〃	$200 \times \left(\frac{n-1}{n+c} \right)$	c: 根固め段数 (○-c)																																																																																																																																															
	根固め部 [A-c, B-c, C-c]	〃	$200 \times \left(\frac{c}{n+c} \right)$	(): かごタイプ																																																																																																																																															
中詰用石材		m ³		式5.1, 表5.1																																																																																																																																															
吸出し防止材	t=10mm	m ²		式5.2, 表5.1																																																																																																																																															
バックホウ (クローラ型)運転	標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)吊 能力2.9t	日		表4.1 機械賃料																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1	表4.1																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																			
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																																																																
バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)吊能力2.9t	機-28	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 29 機械賃料数量 → 1.20																																																																																																																																																
材 料 名	中 詰 用 石 材	吸 出 し 防 止 材																																																																																																																																																	
ロ ス 率	+0.10	+0.16																																																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																															
土木一般世話役		人		表4.1																																																																																																																																															
特殊作業員		〃		〃																																																																																																																																															
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																															
かごマット (多段積型)	最上部 [A-a, B-a, C-a]	m	$200 \times \left(\frac{1}{n+c} \right)$	n: 積段数 (○-a, ○-b)																																																																																																																																															
	一般部 [A-b, B-b, C-a]	〃	$200 \times \left(\frac{n-1}{n+c} \right)$	c: 根固め段数 (○-c)																																																																																																																																															
	根固め部 [A-c, B-c, C-c]	〃	$200 \times \left(\frac{c}{n+c} \right)$	(): かごタイプ																																																																																																																																															
中詰用石材		m ³		式5.1, 表5.1																																																																																																																																															
吸出し防止材	t=10mm	m ²		式5.2, 表5.1																																																																																																																																															
バックホウ (クローラ型)運転	標準型・超低音型 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日		表4.1 機械賃料																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1	表4.1																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																			
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																																																																
バックホウ (クローラ型)	標準型・超低音型 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-28	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 63 機械賃料数量 → 1.24																																																																																																																																																

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用												
仮設備工 (砂防コンクリート 仮締切)		<p>⑤仮締切工 ⑤-2 砂防コンクリート仮締切</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、砂防工(本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸)の施工に伴うコンクリート仮締切の設置・撤去に適用する。</p> <p>1-1 型枠工 外部型枠、内部型枠に適用する。</p> <p>1-2 足場工 高さ2m以上で、外部型枠、内部型枠の設置・撤去用足場(キャットウォーク)を設置する場合に適用する。</p> <p>1-3 コンクリート打設 ラフテレーンクレーンによる打設量140m³/日未満及び平均打設高30m以下のコンクリート打設の施工に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div data-bbox="1144 742 1825 965" data-label="Diagram"> </div> <p>必要に応じて繰り返し (注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="1173 1134 1774 1217"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>型枠工 コンクリート打設</td> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2011年規制)・ 低騒音型・25t吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 現場条件により上表により難い場合は、別途考慮する。 2. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p>	作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要	型枠工 コンクリート打設	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2011年規制)・ 低騒音型・25t吊	台	1		
作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要										
型枠工 コンクリート打設	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2011年規制)・ 低騒音型・25t吊	台	1											

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																																											
仮設備工 (砂防コンクリート 仮締切)		<p>4. 材料使用数量 コンクリートの使用数量は、次式による。 なお、コンクリートの使用数量には、打継面・岩着面のモルタル敷均しの使用量を含む(ロスを含む)。 使用数量 (m³) = 設計数量 (m³) × (1 + K) ……式4. 1 K : ロス率</p> <p style="text-align: center;">表4. 1 ロス率(K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>ロ ス 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td>+0.04</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 型 枠 工 5-1 木製型枠設置・撤去、ケレンはく離剤塗布施工歩掛 木製型枠設置・撤去、ケレンはく離剤塗布施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5. 1 木製型枠設置・撤去、ケレンはく離剤塗布施工歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>3.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>#</td> <td>14.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.85</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>#</td> <td>8.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 運 転</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2011年規制)・ 低騒音型・25t吊</td> <td>日</td> <td>2.3</td> <td>機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>25</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、型枠用合板、型枠用金物、組立支持材、ケレンはく離剤及び電動ドリル、電動ノコギリ損料、電力に関する経費、溶接機に要する費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 3. 水抜きパイプの有無にかかわらず適用できる。ただし、水抜きパイプ材料費は、必要量を別途計上する。</p> <p>6. 足 場 工 6-1 足場設置及び撤去歩掛 足場設置及び撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6. 1 足場設置及び撤去歩掛 (設置延長10m当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、斜面用足場ブラケット、足場板、丸パイプ、直交クレーン、幅木等の費用として、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 高さ方向の標準設置間隔は、1.8mとする。</p>	材 料 名	ロ ス 率	コ ン ク リ ー ト	+0.04	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	3.9		型 枠 工		#	14.9		特 殊 作 業 員		#	0.85		普 通 作 業 員		#	8.5		ラフテレーンクレーン 運 転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2011年規制)・ 低騒音型・25t吊	日	2.3	機械賃料	諸 雑 費 率		%	25		名 称	規 格	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役		人	0.1	と び 工		#	0.4	普 通 作 業 員		#	0.4	諸 雑 費 率		%	23	
材 料 名	ロ ス 率																																																													
コ ン ク リ ー ト	+0.04																																																													
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																										
土 木 一 般 世 話 役		人	3.9																																																											
型 枠 工		#	14.9																																																											
特 殊 作 業 員		#	0.85																																																											
普 通 作 業 員		#	8.5																																																											
ラフテレーンクレーン 運 転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2011年規制)・ 低騒音型・25t吊	日	2.3	機械賃料																																																										
諸 雑 費 率		%	25																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量																																																											
土 木 一 般 世 話 役		人	0.1																																																											
と び 工		#	0.4																																																											
普 通 作 業 員		#	0.4																																																											
諸 雑 費 率		%	23																																																											

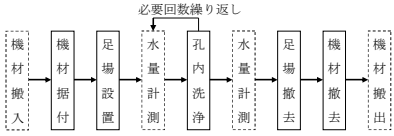
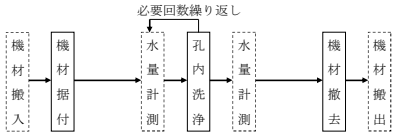
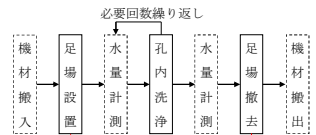
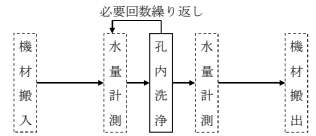
土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																														
仮設備工 (砂防コンクリート 仮締切)		<p>7. コンクリート打設歩掛</p> <p>7-1 コンクリート打設歩掛 コンクリート打設歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表7.1 コンクリート打設歩掛 (100m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="4">1日当り打設量 (m³/日)</th> </tr> <tr> <th>10未満</th> <th>10以上 30未満</th> <th>30以上 80未満</th> <th>80以上 140未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>3.2 (3.0)</td> <td>2.8 (2.6)</td> <td>1.8 (1.6)</td> <td>1.4 (1.2)</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>#</td> <td>7.4 (7.1)</td> <td>5.3 (5.0)</td> <td>4.0 (3.7)</td> <td>2.9 (2.6)</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>#</td> <td>7.7 (7.2)</td> <td>6.1 (6.6)</td> <td>4.8 (4.3)</td> <td>3.8 (3.3)</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 運 転</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2011年規制) ・低騒音型・25t吊</td> <td>日</td> <td>2.8 (2.8)</td> <td>2.2 (2.2)</td> <td>1.6 (1.6)</td> <td>1.1 (1.1)</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>11 (5)</td> <td>14 (6)</td> <td>18 (8)</td> <td>23 (10)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表の労務歩掛は、コンクリート打設・養生、打継面・岩着面のモルタル敷均し、打継面清掃等を含むものである。</p> <p>2. ()の数值は、特殊養生(練炭)やジェットヒータ養生を必要とする場合に計上すること。なお、特殊養生(練炭)やジェットヒータ養生に要する費用は、別途計上する。</p> <p>3. 諸雑費は、スコップ、養生マット、コンクリートバケット賃料、コンクリートパイプレータ賃料、工事中水中モータポンプ損料、高圧洗浄機賃料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4. コンクリートバケット容量は、1.0m³を標準とし、これにより難い場合は、別途考慮する。</p> <p>5. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>8. コンクリート仮締切撤去</p> <p>8-1 構造物とりこわし工 コンクリート仮締切の撤去については、「土木工事標準単価 構造物とりこわし工」により別途計上する。</p> <p>8-2 運搬処分工 コンクリート仮締切撤去後における運搬については、「第5編3章共通工④搬運」により別途計上する。 また、コンクリート仮締切撤去において、コンクリート殻処理費が生じる場合は、別途計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	1日当り打設量 (m ³ /日)				10未満	10以上 30未満	30以上 80未満	80以上 140未満	土 木 一 般 世 話 役		人	3.2 (3.0)	2.8 (2.6)	1.8 (1.6)	1.4 (1.2)	特 殊 作 業 員		#	7.4 (7.1)	5.3 (5.0)	4.0 (3.7)	2.9 (2.6)	普 通 作 業 員		#	7.7 (7.2)	6.1 (6.6)	4.8 (4.3)	3.8 (3.3)	ラフテレーンクレーン 運 転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2011年規制) ・低騒音型・25t吊	日	2.8 (2.8)	2.2 (2.2)	1.6 (1.6)	1.1 (1.1)	諸 雑 費 率		%	11 (5)	14 (6)	18 (8)	23 (10)	
名 称	規 格	単 位				1日当り打設量 (m ³ /日)																																											
			10未満	10以上 30未満	30以上 80未満	80以上 140未満																																											
土 木 一 般 世 話 役		人	3.2 (3.0)	2.8 (2.6)	1.8 (1.6)	1.4 (1.2)																																											
特 殊 作 業 員		#	7.4 (7.1)	5.3 (5.0)	4.0 (3.7)	2.9 (2.6)																																											
普 通 作 業 員		#	7.7 (7.2)	6.1 (6.6)	4.8 (4.3)	3.8 (3.3)																																											
ラフテレーンクレーン 運 転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2011年規制) ・低騒音型・25t吊	日	2.8 (2.8)	2.2 (2.2)	1.6 (1.6)	1.1 (1.1)																																											
諸 雑 費 率		%	11 (5)	14 (6)	18 (8)	23 (10)																																											

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																																																														
仮設備工 (砂防コンクリート 仮締切)		<p>9. 単 価 表</p> <p>(1) 木製型枠設置・撤去、ケレンはく離剤塗布作業100m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.1</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2011年規制)・ 低騒音型・25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表5.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 足場設置及び撤去 設置延長10m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) コンクリート打設100m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表7.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>式4.1、表4.1 現場コンクリートプラン ト使用は除く</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2011年規制)・ 低騒音型・25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表7.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表7.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表5.1	型 枠 工		〃		〃	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2011年規制)・ 低騒音型・25t吊	日		表5.1 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表5.1	計					名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表6.1	と び 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表7.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	コ ン ク リ ー ト		m ³		式4.1、表4.1 現場コンクリートプラン ト使用は除く	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2011年規制)・ 低騒音型・25t吊	日		表7.1 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表7.1	計					
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																													
土 木 一 般 世 話 役		人		表5.1																																																																																																													
型 枠 工		〃		〃																																																																																																													
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																													
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2011年規制)・ 低騒音型・25t吊	日		表5.1 機械賃料																																																																																																													
諸 雑 費		式	1	表5.1																																																																																																													
計																																																																																																																	
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																													
土 木 一 般 世 話 役		人		表6.1																																																																																																													
と び 工		〃		〃																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																													
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																													
計																																																																																																																	
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																													
土 木 一 般 世 話 役		人		表7.1																																																																																																													
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																													
コ ン ク リ ー ト		m ³		式4.1、表4.1 現場コンクリートプラン ト使用は除く																																																																																																													
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2011年規制)・ 低騒音型・25t吊	日		表7.1 機械賃料																																																																																																													
諸 雑 費		式	1	表7.1																																																																																																													
計																																																																																																																	

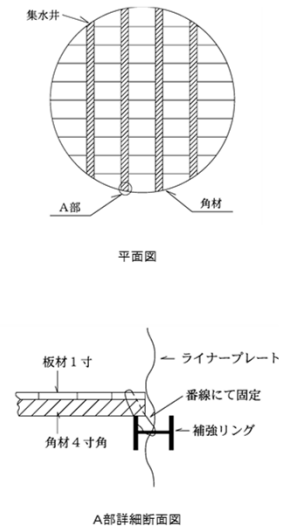
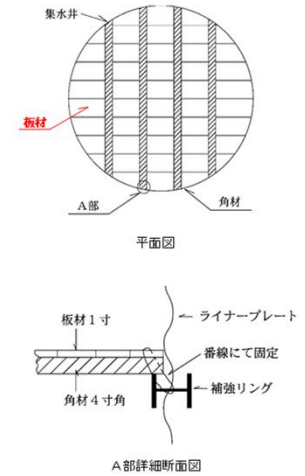
土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																								
集排水ボーリング孔洗浄工	<p>④ 集排水ボーリング孔洗浄工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、地すべり防止施設における横ボーリング孔及び集水井内での集排水ボーリング孔（φ30mm～φ150mm、延長130m以下/本）の高压ポンプによる洗浄工に適用する。 なお、洗浄工程数については、集水孔は4工程まで、排水孔は3工程までに適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。 (1) 井内作業</p>  <p>(2) 井外作業</p>  <p style="text-align: center;">(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分である。</p> <p style="text-align: center;">図2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種の設定 洗浄作業における機械・規格は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <caption style="text-align: center;">表3.1 機種の設定</caption> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高 圧 洗 浄 機</td> <td>工 事 用 ・ 3' リンジン 駆 動 吐 出 量 35 ～ 70 ℓ / min 圧 力 14.7MPa</td> <td>台</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>ノズル、高压ホース含む</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 施工歩掛 洗浄工の施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <caption style="text-align: center;">表4.1 洗浄工歩掛</caption> <thead> <tr> <th>日 当 り 施 工 量 (m/日)</th> <th>日 当 り 編 成 人 員 (人/日)</th> <th>使 用 機 械</th> <th>規 格</th> <th>諸 雑 費 率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">D=220</td> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">高 圧 洗 浄 機 1 台</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、工事用水中モータポンプ賃料、軸流ファン（軸流式）の損料、水槽の損料、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上乗率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	高 圧 洗 浄 機	工 事 用 ・ 3' リンジン 駆 動 吐 出 量 35 ～ 70 ℓ / min 圧 力 14.7MPa	台	1	ノズル、高压ホース含む	日 当 り 施 工 量 (m/日)	日 当 り 編 成 人 員 (人/日)	使 用 機 械	規 格	諸 雑 費 率 (%)	D=220	土 木 一 般 世 話 役	1	高 圧 洗 浄 機 1 台	2	特 殊 作 業 員	2	普 通 作 業 員	1	<p>④ 集排水ボーリング孔洗浄工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、地すべり防止施設における集排水ボーリング孔の洗浄工に適用する。</p> <p>1-1 洗浄工 横ボーリング孔及び集水井内での集排水ボーリング孔（φ30mm～φ150mm、延長130m以下/本）の洗浄工に適用する。なお、洗浄工程数については、集水孔は4工程まで、排水孔は3工程までに適用する。</p> <p>1-2 集水井内足場工 井内作業における集水井内足場の設置・撤去に適用する。 また、本歩掛は足場設置高さに関係なく適用出来る。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。 (1) 井内作業</p>  <p>(2) 井外作業</p>  <p style="text-align: center;">(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分である。</p> <p style="text-align: center;">図2-1 施工フロー</p>	
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																							
高 圧 洗 浄 機	工 事 用 ・ 3' リンジン 駆 動 吐 出 量 35 ～ 70 ℓ / min 圧 力 14.7MPa	台	1	ノズル、高压ホース含む																							
日 当 り 施 工 量 (m/日)	日 当 り 編 成 人 員 (人/日)	使 用 機 械	規 格	諸 雑 費 率 (%)																							
D=220	土 木 一 般 世 話 役	1	高 圧 洗 浄 機 1 台	2																							
	特 殊 作 業 員	2																									
	普 通 作 業 員	1																									

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																						
集排水ボーリング孔洗浄工	<p>3. 機種 の 選 定 洗浄作業における機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種 の 選 定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高 圧 洗 浄 機</td> <td>工 事 用 ・ ガ リ フ リ ン ジ ン 駆 動 吐 出 量 35 ~ 70 ℓ / min 圧 力 14.7MPa</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>ノズル、高圧ホース含む</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 施 工 歩 掛 洗浄工の施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 洗 浄 工 歩 掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>日 当 り 施 工 量 (m/日)</th> <th>日 当 り 編 成 人 員 (人/日)</th> <th>使 用 機 械</th> <th>規 格</th> <th>諸 雑 費 率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">D=220</td> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td rowspan="3">高 圧 洗 浄 機 1 台</td> <td rowspan="3">工 事 用 ・ ガ リ フ リ ン ジ ン 駆 動 吐 出 量 35 ~ 70 ℓ / min 圧 力 14.7MPa</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、工事用水中モータポンプ賃料、軸流ファン（軸流式）の損料、水槽の損料、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	高 圧 洗 浄 機	工 事 用 ・ ガ リ フ リ ン ジ ン 駆 動 吐 出 量 35 ~ 70 ℓ / min 圧 力 14.7MPa	台	1	ノズル、高圧ホース含む	日 当 り 施 工 量 (m/日)	日 当 り 編 成 人 員 (人/日)	使 用 機 械	規 格	諸 雑 費 率 (%)	D=220	土 木 一 般 世 話 役	高 圧 洗 浄 機 1 台	工 事 用 ・ ガ リ フ リ ン ジ ン 駆 動 吐 出 量 35 ~ 70 ℓ / min 圧 力 14.7MPa	1	特 殊 作 業 員	2	普 通 作 業 員	1	<p>3. 施 工 歩 掛</p> <p>3-1 洗 浄 工</p> <p>(1) 編 成 人 員 洗浄工の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 日 当 り 編 成 人 員 (人/日)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">洗 浄 工</th> <th>土 木 一 般 世 話 役</th> <th>特 殊 作 業 員</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 日 当 り 施 工 量 洗浄工の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 日 当 り 施 工 量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">洗 浄 工</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>m</td> <td>230</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 諸 雑 費 率 諸雑費は、高圧洗浄機（ノズル、高圧ホース含む）賃料、工事用水中モータポンプ賃料、軸流ファン（軸流式）の損料、水槽の損料、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、軸流ファン（軸流式）は、井内作業の場合に計上する。井外作業の場合は、()内の率を乗じた金額を上限として計上する。 また、高圧洗浄機は、「工事用・モータ駆動 吐出量15~20ℓ/min 圧力20MPa」を標準とし、現場条件等により、これにより難い場合は、別途考慮する。 洗浄水は、沢水を工事用水中モータポンプにて採取し、水槽に貯水して使用することを標準としており、現場条件等により、これにより難い場合は、洗浄水に要する費用を別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 諸 雑 費 率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>16 (15)</td> </tr> </tbody> </table>	洗 浄 工	土 木 一 般 世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	1	2	1	洗 浄 工	単 位	数 量	m	230	諸 雑 費 率	16 (15)	
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																					
高 圧 洗 浄 機	工 事 用 ・ ガ リ フ リ ン ジ ン 駆 動 吐 出 量 35 ~ 70 ℓ / min 圧 力 14.7MPa	台	1	ノズル、高圧ホース含む																																					
日 当 り 施 工 量 (m/日)	日 当 り 編 成 人 員 (人/日)	使 用 機 械	規 格	諸 雑 費 率 (%)																																					
D=220	土 木 一 般 世 話 役	高 圧 洗 浄 機 1 台	工 事 用 ・ ガ リ フ リ ン ジ ン 駆 動 吐 出 量 35 ~ 70 ℓ / min 圧 力 14.7MPa	1																																					
	特 殊 作 業 員			2																																					
	普 通 作 業 員			1																																					
洗 浄 工	土 木 一 般 世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員																																						
	1	2	1																																						
洗 浄 工	単 位	数 量																																							
	m	230																																							
諸 雑 費 率	16 (15)																																								

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																														
集排水ボーリング孔洗浄工	<p>5 集水井内足場工</p> <p>5-1 適用範囲 井内作業における集水井内足場の設置・撤去に適用する。 また、本歩掛は足場設置高さに関係なく適用出来る。</p> <p>5-2 施工歩掛 井内作業における集水井内足場の設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。 なお、本歩掛で対応しているのは、「5-3参考図（集水井内足場概念図）」に示す足場工である。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 集水井内足場設置・撤去歩掛 (1回当たり)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td>〃</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、軸流ファン（軸流式）の損料、足場板合板、角材、安全ネット及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>5-3 参考図（集水井内足場概念図）</p> <div style="text-align: center;">  </div>	名 称	単 位	数 量	土木一般世話役	人	0.4	と び 工	〃	0.7	普通作業員	〃	0.5	諸 雑 費 率	%	7	<p>3-2 集水井内足場工</p> <p>(1) 施工歩掛 井内作業における集水井内足場の設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。 なお、本歩掛で対応しているのは、「(2) 参考図（集水井内足場概念図）」に示す足場工である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 集水井内足場設置・撤去歩掛 (1回当たり)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>0.43</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td>〃</td> <td>0.72</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>0.51</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、軸流ファン（軸流式）の損料、足場板合板、角材、安全ネット及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する 2. 上表は、足場の設置・撤去1回当たりの数量であり、同一集水井内で複数の設置・撤去を行う場合は、その実施回数を計上すること。</p> <p>(2) 参考図（集水井内足場概念図）</p> <div style="text-align: center;">  </div>	名 称	単 位	数 量	土木一般世話役	人	0.43	と び 工	〃	0.72	普通作業員	〃	0.51	諸 雑 費 率	%	11	
名 称	単 位	数 量																															
土木一般世話役	人	0.4																															
と び 工	〃	0.7																															
普通作業員	〃	0.5																															
諸 雑 費 率	%	7																															
名 称	単 位	数 量																															
土木一般世話役	人	0.43																															
と び 工	〃	0.72																															
普通作業員	〃	0.51																															
諸 雑 費 率	%	11																															

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																					
集排水ボーリング孔洗浄工	<p>6. 単 価 表</p> <p>(1) 洗浄工10m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>(10/D) × 1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>(10/D) × 2</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>(10/D) × 1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>高圧洗浄機運転</td> <td>工専用・ガソリンエンジン駆動 吐出量35~70 ℓ/min 圧力14.7MPa</td> <td>日</td> <td>(10/D) × 1</td> <td>表4.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D : 日当り施工量 (m/日)</p> <p>(2) 集水井内足場設置・撤去1回当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.4</td> <td>表5.1</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>0.7</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>0.5</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高 圧 洗 浄 機</td> <td>工専用・ガソリンエンジン駆動 吐出量35~70 ℓ/min 圧力14.7MPa</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量→28 機械損料数量→1.61</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	(10/D) × 1	表4.1	特殊作業員		"	(10/D) × 2	"	普通作業員		"	(10/D) × 1	"	高圧洗浄機運転	工専用・ガソリンエンジン駆動 吐出量35~70 ℓ/min 圧力14.7MPa	日	(10/D) × 1	表4.1 機械損料	諸 雑 費		式	1	表4.1	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	0.4	表5.1	と び 工		"	0.7	"	普通作業員		"	0.5	"	諸 雑 費		式	1	"	計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	高 圧 洗 浄 機	工専用・ガソリンエンジン駆動 吐出量35~70 ℓ/min 圧力14.7MPa	機-24	燃料消費量→28 機械損料数量→1.61	<p>4. 単 価 表</p> <p>(1) 洗浄工10m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>(10/D) × 1</td> <td>表3.1, 表3.2</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>(10/D) × 2</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>(10/D) × 1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D : 日当り施工量 (m/日)</p> <p>(2) 集水井内足場設置・撤去1回当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.43</td> <td>表3.4</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>0.72</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>0.51</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	(10/D) × 1	表3.1, 表3.2	特殊作業員		"	(10/D) × 2	"	普通作業員		"	(10/D) × 1	"	諸 雑 費		式	1	表3.3	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	0.43	表3.4	と び 工		"	0.72	"	普通作業員		"	0.51	"	諸 雑 費		式	1	"	計					
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																			
	土木一般世話役		人	(10/D) × 1	表4.1																																																																																																																																			
特殊作業員		"	(10/D) × 2	"																																																																																																																																				
普通作業員		"	(10/D) × 1	"																																																																																																																																				
高圧洗浄機運転	工専用・ガソリンエンジン駆動 吐出量35~70 ℓ/min 圧力14.7MPa	日	(10/D) × 1	表4.1 機械損料																																																																																																																																				
諸 雑 費		式	1	表4.1																																																																																																																																				
計																																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																				
土木一般世話役		人	0.4	表5.1																																																																																																																																				
と び 工		"	0.7	"																																																																																																																																				
普通作業員		"	0.5	"																																																																																																																																				
諸 雑 費		式	1	"																																																																																																																																				
計																																																																																																																																								
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																																																					
高 圧 洗 浄 機	工専用・ガソリンエンジン駆動 吐出量35~70 ℓ/min 圧力14.7MPa	機-24	燃料消費量→28 機械損料数量→1.61																																																																																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																				
土木一般世話役		人	(10/D) × 1	表3.1, 表3.2																																																																																																																																				
特殊作業員		"	(10/D) × 2	"																																																																																																																																				
普通作業員		"	(10/D) × 1	"																																																																																																																																				
諸 雑 費		式	1	表3.3																																																																																																																																				
計																																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																				
土木一般世話役		人	0.43	表3.4																																																																																																																																				
と び 工		"	0.72	"																																																																																																																																				
普通作業員		"	0.51	"																																																																																																																																				
諸 雑 費		式	1	"																																																																																																																																				
計																																																																																																																																								

(10-④-3)

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																							
トンネル 照明器具清掃 工	<p>① トンネル照明器具清掃工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、トンネル照明器具の清掃作業に適用する。</p> <p>2. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機械施工</td> <td>表面清掃</td> <td>トンネル清掃車</td> <td>回転ブラシ式 灯具清掃装置付</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">人力施工</td> <td>表面清掃</td> <td rowspan="2">高所作業車</td> <td>トラック架装・垂直昇降・ プラットフォーム型・ 作業床高13.2m・ 積載荷重1,000kg</td> <td>＃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>表面及び内面清掃</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械施工の表面清掃とは、機械による灯具表面のみの清掃をいう。 2. 人力施工の表面清掃とは、入力による灯具表面のみの清掃をいう。 3. 人力施工の表面及び内面清掃とは、入力による灯具表面と灯具カバーを開いて行うランプ及び反射板の清掃をいう。 4. 上表により難い場合は、別途考慮する。</p> <p>3. 清掃作業歩掛 清掃作業歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機械施工清掃作業歩掛 (トンネル延長100m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>表面清掃</th> <th>表面及び内面清掃</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.02</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>＃</td> <td>0.03</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>＃</td> <td>0.01</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トンネル清掃車運転</td> <td>回転ブラシ式 灯具清掃装置付</td> <td>h</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td></td> <td>%</td> <td>8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、洗剤、ウエス等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 清掃用ブラシは、官側からの支給品とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 人力施工清掃作業歩掛 (照明灯100灯当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>表面清掃</th> <th>表面及び内面清掃</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.4</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>＃</td> <td>1.4</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>高所作業車運転</td> <td>トラック架装・垂直昇降・ プラットフォーム型・ 作業床高13.2m・ 積載荷重1,000kg</td> <td>h</td> <td>4.5</td> <td>9.1</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td></td> <td>%</td> <td>0.7</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、洗剤、ウエス、ブラシ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	作業種別	機械名	規 格	単位	数量	摘 要	機械施工	表面清掃	トンネル清掃車	回転ブラシ式 灯具清掃装置付	台	1	人力施工	表面清掃	高所作業車	トラック架装・垂直昇降・ プラットフォーム型・ 作業床高13.2m・ 積載荷重1,000kg	＃	1	表面及び内面清掃				名 称	規 格	単位	表面清掃	表面及び内面清掃	土木一般世話役		人	0.02		特殊作業員		＃	0.03		普通作業員		＃	0.01		トンネル清掃車運転	回転ブラシ式 灯具清掃装置付	h	0.2		諸雑費率		%	8		名 称	規 格	単位	表面清掃	表面及び内面清掃	土木一般世話役		人	0.4	0.5	普通作業員		＃	1.4	2.4	高所作業車運転	トラック架装・垂直昇降・ プラットフォーム型・ 作業床高13.2m・ 積載荷重1,000kg	h	4.5	9.1	諸雑費率		%	0.7	1	<p>① トンネル照明器具清掃工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、トンネル照明器具の高所作業車を用いた清掃作業に適用する。</p> <p>2. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表面清掃</td> <td rowspan="2">高所作業車</td> <td>トラック架装・伸縮ブーム・ プラットフォーム型・ 作業床高9.9m・ 積載荷重1,000kg</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>表面及び内面清掃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 表面清掃とは、灯具表面のみの清掃をいう。 2. 表面及び内面清掃とは、灯具表面と灯具カバーを開いて行うランプ及び反射板の清掃をいう。</p> <p>3. 清掃作業歩掛 清掃作業歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 清掃作業歩掛 (照明灯100灯当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>表面清掃</th> <th>表面及び内面清掃</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>＃</td> <td>1.4</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>高所作業車運転</td> <td>トラック架装・伸縮ブーム・ プラットフォーム型・ 作業床高9.9m・ 積載荷重1,000kg</td> <td>h</td> <td>1.1</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td></td> <td>%</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、洗剤、ウエス、ブラシ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 高所作業車は、賃料とする。</p>	作業種別	機械名	規 格	単位	数量	摘 要	表面清掃	高所作業車	トラック架装・伸縮ブーム・ プラットフォーム型・ 作業床高9.9m・ 積載荷重1,000kg	台	1		表面及び内面清掃					名 称	規 格	単位	表面清掃	表面及び内面清掃	土木一般世話役		人	0.4	0.6	普通作業員		＃	1.4	2.2	高所作業車運転	トラック架装・伸縮ブーム・ プラットフォーム型・ 作業床高9.9m・ 積載荷重1,000kg	h	1.1	2.1	諸雑費率		%	5	5	
作業種別	機械名	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																					
機械施工	表面清掃	トンネル清掃車	回転ブラシ式 灯具清掃装置付	台	1																																																																																																																					
人力施工	表面清掃	高所作業車	トラック架装・垂直昇降・ プラットフォーム型・ 作業床高13.2m・ 積載荷重1,000kg	＃	1																																																																																																																					
	表面及び内面清掃																																																																																																																									
名 称	規 格	単位	表面清掃	表面及び内面清掃																																																																																																																						
土木一般世話役		人	0.02																																																																																																																							
特殊作業員		＃	0.03																																																																																																																							
普通作業員		＃	0.01																																																																																																																							
トンネル清掃車運転	回転ブラシ式 灯具清掃装置付	h	0.2																																																																																																																							
諸雑費率		%	8																																																																																																																							
名 称	規 格	単位	表面清掃	表面及び内面清掃																																																																																																																						
土木一般世話役		人	0.4	0.5																																																																																																																						
普通作業員		＃	1.4	2.4																																																																																																																						
高所作業車運転	トラック架装・垂直昇降・ プラットフォーム型・ 作業床高13.2m・ 積載荷重1,000kg	h	4.5	9.1																																																																																																																						
諸雑費率		%	0.7	1																																																																																																																						
作業種別	機械名	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																					
表面清掃	高所作業車	トラック架装・伸縮ブーム・ プラットフォーム型・ 作業床高9.9m・ 積載荷重1,000kg	台	1																																																																																																																						
表面及び内面清掃																																																																																																																										
名 称	規 格	単位	表面清掃	表面及び内面清掃																																																																																																																						
土木一般世話役		人	0.4	0.6																																																																																																																						
普通作業員		＃	1.4	2.2																																																																																																																						
高所作業車運転	トラック架装・伸縮ブーム・ プラットフォーム型・ 作業床高9.9m・ 積載荷重1,000kg	h	1.1	2.1																																																																																																																						
諸雑費率		%	5	5																																																																																																																						

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																																																																															
トンネル 照明器具清掃 工	<p>4. 単 価 表</p> <p>(1) 機械施工表面清掃 トンネル延長100m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 3.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トンネル清掃車運転</td> <td>回転ブラシ式 灯具清掃装置付</td> <td>h</td> <td></td> <td>表 3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 3.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 人力施工表面清掃 照明灯100灯当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 3.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>高所作業車運転</td> <td>トラック架装・垂直昇降・ プラットフォーム型・ 作業床高13.2m・ 積載荷重1,000kg</td> <td>h</td> <td></td> <td>表 3.2 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 3.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 人力施工表面及び内面清掃 照明灯100灯当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 3.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>高所作業車運転</td> <td>トラック架装・垂直昇降・ プラットフォーム型・ 作業床高13.2m・ 積載荷重1,000kg</td> <td>h</td> <td></td> <td>表 3.2 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 3.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル清掃車</td> <td>回転ブラシ式 灯具清掃装置付</td> <td>機-6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高 所 作 業 車</td> <td>トラック架装・垂直昇降・ プラットフォーム型・ 作業床高13.2m・ 積載荷重1,000kg</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土木一般世話役		人		表 3.1	特殊作業員		人		〃	普通作業員		人		〃	トンネル清掃車運転	回転ブラシ式 灯具清掃装置付	h		表 3.1 機械損料	諸 雑 費		式	1	表 3.1	計					名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土木一般世話役		人		表 3.2	普通作業員		人		〃	高所作業車運転	トラック架装・垂直昇降・ プラットフォーム型・ 作業床高13.2m・ 積載荷重1,000kg	h		表 3.2 機械損料	諸 雑 費		式	1	表 3.2	計					名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土木一般世話役		人		表 3.2	普通作業員		人		〃	高所作業車運転	トラック架装・垂直昇降・ プラットフォーム型・ 作業床高13.2m・ 積載荷重1,000kg	h		表 3.2 機械損料	諸 雑 費		式	1	表 3.2	計					機 械 名	規 格	適用単価表	摘 要	トンネル清掃車	回転ブラシ式 灯具清掃装置付	機-6		高 所 作 業 車	トラック架装・垂直昇降・ プラットフォーム型・ 作業床高13.2m・ 積載荷重1,000kg	機-1		<p>4. 単 価 表</p> <p>(1) 表面清掃 照明灯100灯当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 3.1</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>高所作業車運転</td> <td>トラック架装・伸縮ブーム・ プラットフォーム型・ 作業床高9.9m・ 積載荷重1,000kg</td> <td>日</td> <td></td> <td>表 3.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 3.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 表面及び内面清掃 照明灯100灯当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 3.1</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>高所作業車運転</td> <td>トラック架装・伸縮ブーム・ プラットフォーム型・ 作業床高9.9m・ 積載荷重1,000kg</td> <td>日</td> <td></td> <td>表 3.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 3.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高 所 作 業 車</td> <td>トラック架装・伸縮ブーム・ プラットフォーム型・ 作業床高9.9m・ 積載荷重1,000kg</td> <td>機-29</td> <td> 運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 (表面清掃) → 22 (表面及び内面清掃) → 23 機械賃料数量 → 1.42 </td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土木一般世話役		人		表 3.1	普通作業員		人		〃	高所作業車運転	トラック架装・伸縮ブーム・ プラットフォーム型・ 作業床高9.9m・ 積載荷重1,000kg	日		表 3.1 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表 3.1	計					名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土木一般世話役		人		表 3.1	普通作業員		人		〃	高所作業車運転	トラック架装・伸縮ブーム・ プラットフォーム型・ 作業床高9.9m・ 積載荷重1,000kg	日		表 3.1 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表 3.1	計					機 械 名	規 格	適用単価表	摘 要	高 所 作 業 車	トラック架装・伸縮ブーム・ プラットフォーム型・ 作業床高9.9m・ 積載荷重1,000kg	機-29	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 (表面清掃) → 22 (表面及び内面清掃) → 23 機械賃料数量 → 1.42	
	名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																													
	土木一般世話役		人		表 3.1																																																																																																																																																																													
	特殊作業員		人		〃																																																																																																																																																																													
普通作業員		人		〃																																																																																																																																																																														
トンネル清掃車運転	回転ブラシ式 灯具清掃装置付	h		表 3.1 機械損料																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1	表 3.1																																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																														
土木一般世話役		人		表 3.2																																																																																																																																																																														
普通作業員		人		〃																																																																																																																																																																														
高所作業車運転	トラック架装・垂直昇降・ プラットフォーム型・ 作業床高13.2m・ 積載荷重1,000kg	h		表 3.2 機械損料																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1	表 3.2																																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																														
土木一般世話役		人		表 3.2																																																																																																																																																																														
普通作業員		人		〃																																																																																																																																																																														
高所作業車運転	トラック架装・垂直昇降・ プラットフォーム型・ 作業床高13.2m・ 積載荷重1,000kg	h		表 3.2 機械損料																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1	表 3.2																																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																																		
機 械 名	規 格	適用単価表	摘 要																																																																																																																																																																															
トンネル清掃車	回転ブラシ式 灯具清掃装置付	機-6																																																																																																																																																																																
高 所 作 業 車	トラック架装・垂直昇降・ プラットフォーム型・ 作業床高13.2m・ 積載荷重1,000kg	機-1																																																																																																																																																																																
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																														
土木一般世話役		人		表 3.1																																																																																																																																																																														
普通作業員		人		〃																																																																																																																																																																														
高所作業車運転	トラック架装・伸縮ブーム・ プラットフォーム型・ 作業床高9.9m・ 積載荷重1,000kg	日		表 3.1 機械賃料																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1	表 3.1																																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																														
土木一般世話役		人		表 3.1																																																																																																																																																																														
普通作業員		人		〃																																																																																																																																																																														
高所作業車運転	トラック架装・伸縮ブーム・ プラットフォーム型・ 作業床高9.9m・ 積載荷重1,000kg	日		表 3.1 機械賃料																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1	表 3.1																																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																																		
機 械 名	規 格	適用単価表	摘 要																																																																																																																																																																															
高 所 作 業 車	トラック架装・伸縮ブーム・ プラットフォーム型・ 作業床高9.9m・ 積載荷重1,000kg	機-29	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 (表面清掃) → 22 (表面及び内面清掃) → 23 機械賃料数量 → 1.42																																																																																																																																																																															

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																				
舗装版削孔工 (アスファルト舗装版)		<p>②⑥ 舗装版削孔工(アスファルト舗装版)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、アスファルト舗装版の削孔（ガードレールの支柱建込用の孔あけ等）において、削孔径 60mm を超え 200mm 以下、削孔深 400mm 以下の場合に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分である。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> </div> <p>3. 機種の選定 機械・規格は次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.1 機種の選定</caption> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート穿孔機</td> <td>電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径 φ25cm</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 施工歩掛 (1) 施工歩掛は次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表4.1 削孔歩掛 (100孔当り)</caption> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンドビット</td> <td>各種</td> <td>個</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>コンクリート穿孔機</td> <td>電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径 φ25cm</td> <td>日</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>諸 種 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、チューブ、アダプター、電力に関する経費、集塵機、集水機等の費用であり、労務費、材料費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 足場が必要な場合、舗装版削孔時に発生する濁水の運搬及び処理費が必要な場合は別途計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径 φ25cm	台	1	名 称	規 格	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役		人	1.0	特 殊 作 業 員		人	2.0	普 通 作 業 員		人	2.0	ダイヤモンドビット	各種	個	2.0	コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径 φ25cm	日	2.6	諸 種 費 率		%	12	
名 称	規 格	単 位	数 量																																				
コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径 φ25cm	台	1																																				
名 称	規 格	単 位	数 量																																				
土 木 一 般 世 話 役		人	1.0																																				
特 殊 作 業 員		人	2.0																																				
普 通 作 業 員		人	2.0																																				
ダイヤモンドビット	各種	個	2.0																																				
コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径 φ25cm	日	2.6																																				
諸 種 費 率		%	12																																				

土木工事標準歩掛の改定

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																				
舗装版削孔工 (アスファルト舗装版)		<p>(2) 適用削孔径及び使用ビット径については次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 適用削孔径と使用ビット径 (mm)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>削孔径範囲 (mm)</td> <td>60を超え 64未満</td> <td>64以上 77未満</td> <td>77以上 90未満</td> <td>90以上 110未満</td> </tr> <tr> <td>使用ビット径</td> <td>64.7</td> <td>77.4</td> <td>90.8</td> <td>110.0</td> </tr> <tr> <td>削孔径範囲 (mm)</td> <td>110以上 128未満</td> <td>128以上 160未満</td> <td>160以上 180未満</td> <td>180以上 200以下</td> </tr> <tr> <td>使用ビット径</td> <td>128.5</td> <td>160.0</td> <td>180.0</td> <td>204.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 単 価 表</p> <p>(1) アスファルト削孔(コンクリート穿孔機) 100 孔当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 4.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>#</td> <td></td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>#</td> <td></td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>コンクリート穿孔機用ビット</td> <td>ダイヤモンドビット</td> <td>個</td> <td></td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>コンクリート穿孔機運転</td> <td>電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径φ25cm</td> <td>日</td> <td></td> <td># 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート穿孔機</td> <td>電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径φ25cm</td> <td>機-14</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	削孔径範囲 (mm)	60を超え 64未満	64以上 77未満	77以上 90未満	90以上 110未満	使用ビット径	64.7	77.4	90.8	110.0	削孔径範囲 (mm)	110以上 128未満	128以上 160未満	160以上 180未満	180以上 200以下	使用ビット径	128.5	160.0	180.0	204.0	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表 4.1	特 殊 作 業 員		#		#	普 通 作 業 員		#		#	コンクリート穿孔機用ビット	ダイヤモンドビット	個		#	コンクリート穿孔機運転	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径φ25cm	日		# 機械損料	諸 雑 費		式	1	#	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径φ25cm	機-14		
削孔径範囲 (mm)	60を超え 64未満	64以上 77未満	77以上 90未満	90以上 110未満																																																																			
使用ビット径	64.7	77.4	90.8	110.0																																																																			
削孔径範囲 (mm)	110以上 128未満	128以上 160未満	160以上 180未満	180以上 200以下																																																																			
使用ビット径	128.5	160.0	180.0	204.0																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																			
土 木 一 般 世 話 役		人		表 4.1																																																																			
特 殊 作 業 員		#		#																																																																			
普 通 作 業 員		#		#																																																																			
コンクリート穿孔機用ビット	ダイヤモンドビット	個		#																																																																			
コンクリート穿孔機運転	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径φ25cm	日		# 機械損料																																																																			
諸 雑 費		式	1	#																																																																			
計																																																																							
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																				
コンクリート穿孔機	電動式コアボーリングマシン・ 最大穿孔径φ25cm	機-14																																																																					